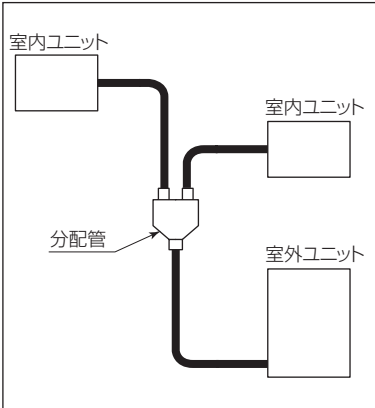


分配管 (同時ツイン用)

● MSDD-50SR2

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（ツイン：2台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力 (50 : 50)	室外ユニット	室内ユニット能力 (50 : 50)
80形	40形 + 40形	140形	71形 + 71形
112形	56形 + 56形	160形	80形 + 80形

注意

- ・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

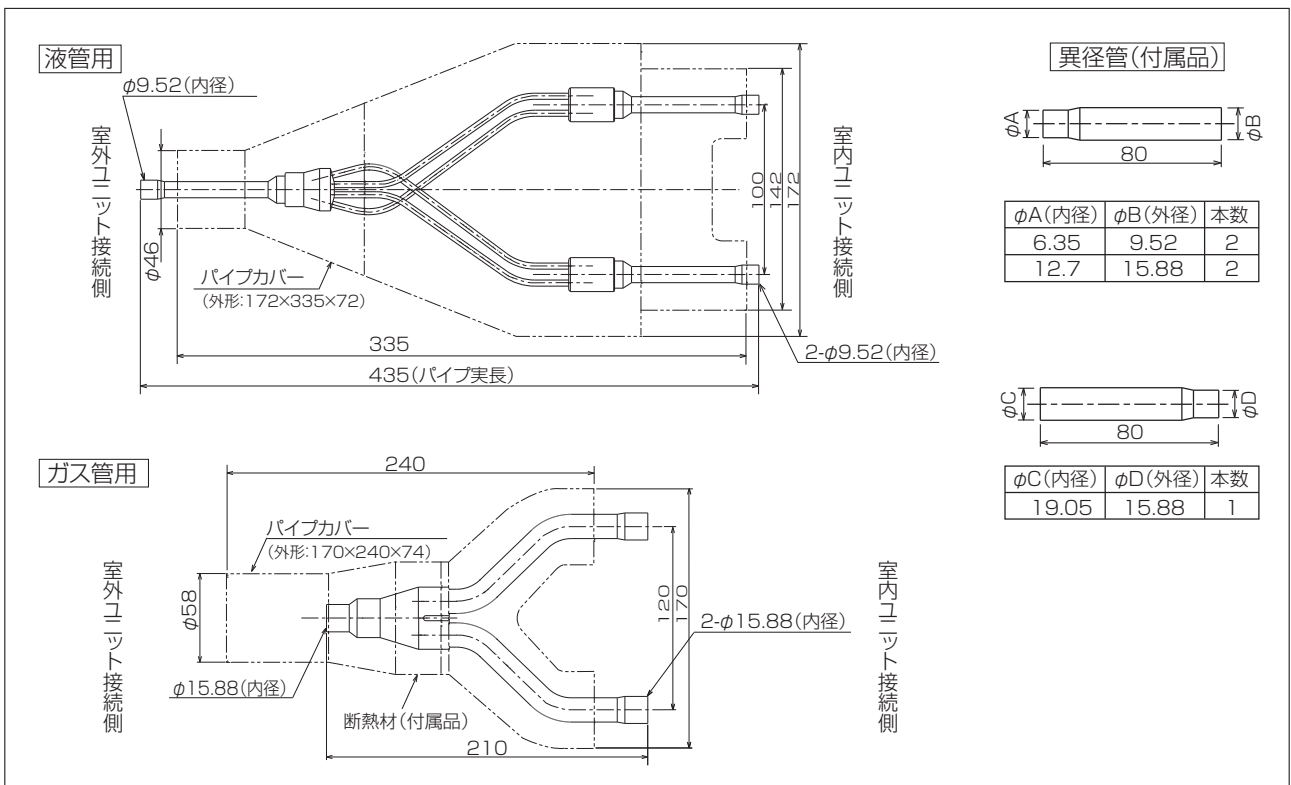
対象ユニット

- P80 ~ P160形
〈室内ユニット能力比 50 : 50〉

仕様

形名	MSDD-50SR2	
本体	分配比	室外ユニット容量を 50 : 50 に 2 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用 各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅 C1220T-OL (JIS H3300)
付属品	パイプカバー	発泡スチロール成型品 (液管・ガス管用 各 1 個)
	異径管	3 種類 5 本

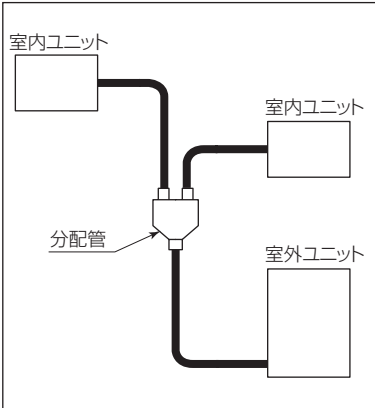
外形図 (単位 : mm)



分配管 (同時ツイン用)

● MSDD-50WR2

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（ツイン：2台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力 (50 : 50)
224形	112形 + 112形
280形	140形 + 140形

注意

- ・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

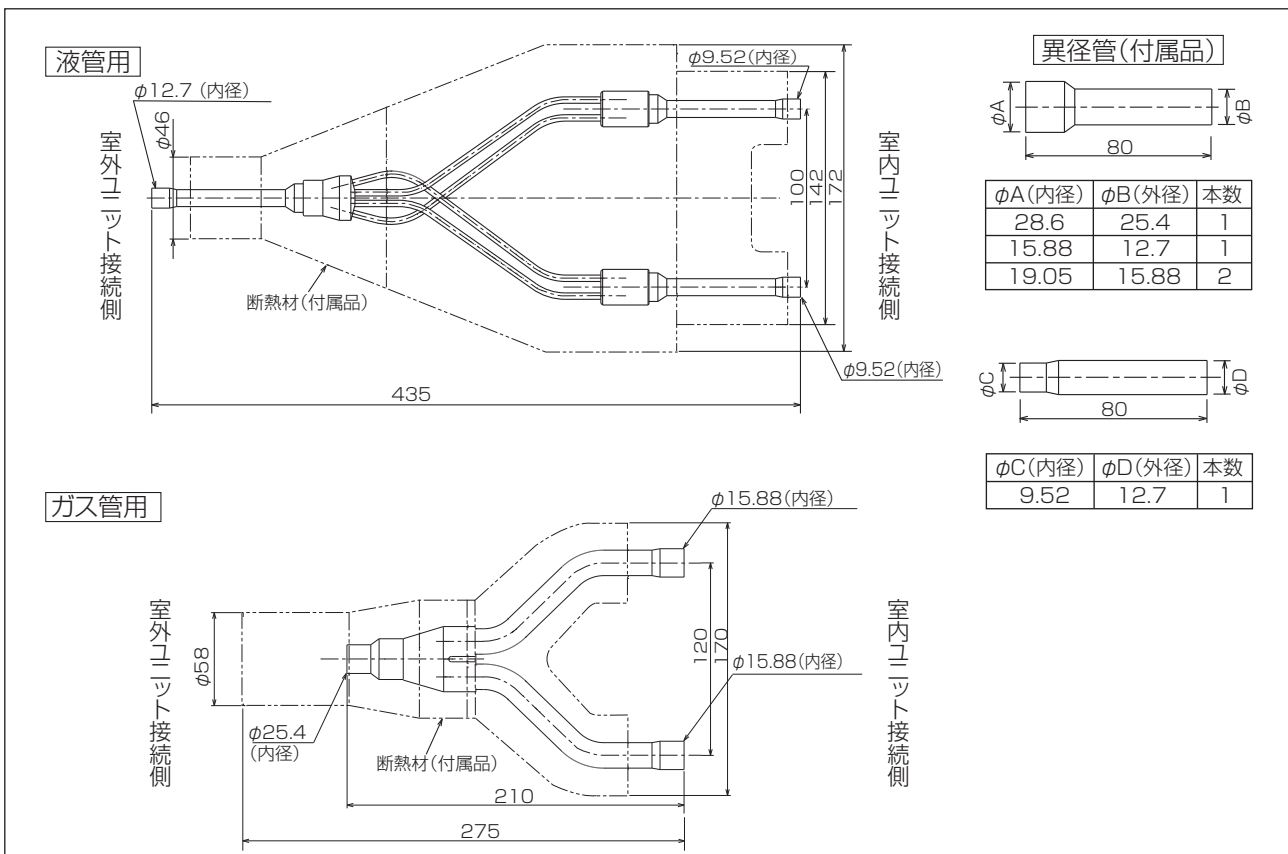
対象ユニット

- P224・P280形
〈室内ユニット能力比 50 : 50〉

仕様

形名		MSDD-50WR2
本体	分配比	室外ユニット容量を 50 : 50 に 2 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用 各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅 C1220T-0L (JIS H3300)
付属品	パイプカバー	発泡スチロール成型品 (液管・ガス管用 各 1 個)
	異径管	4 種類 5 本

外形図 (単位: mm)



MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン別売部品

RG79N495H03

同時ツイン分配管取付説明書

MSDD-50SR2形 [室内ユニット同容量ツイン 50:50] … 室外ユニット 80形~160形 (R410Aインバーター・一定速機)
MSDD-50WR2形 [室内ユニット同容量ツイン 50:50] … 室外ユニット 224形・280形 (R410Aインバーター・一定速機)

安全のために必ず守ること ※取付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

- 取付は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。
- この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	警告	設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。 冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
警告	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなす。 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	注意	ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息の原因になります。
警告	作業中に冷媒ガスが洩れた場合は、換気する。 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。	注意	冷媒配管は、JIS H 3300「銅及び銅合金継ぎ目無管」のC1220のりん脱酸銅を使用し、配管接続を確実にこなす。 配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因となります。
警告	据付工事は、冷媒R410A用に製造された専用ツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実にこなす。 使用しているHFC系R410A冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付に不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。	注意	冷媒配管の断熱は結露しないように確実にこなす。 不完全な断熱工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因となります。

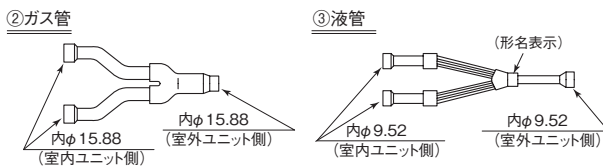
1 箱の中には次のものが入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書 本紙 1枚	②ガス管 1ヶ	③液管 1ヶ	④パイプカバー ガス管用 1ヶ	⑤パイプカバー 液管用 1ヶ
⑥ジョイント				
50SR2 ㉗ 外φ 9.52→内φ 6.35 … 2ヶ ㉘ 外φ 15.88→内φ 12.7 … 2ヶ ㉙ 外φ 15.88→内φ 19.05 … 1ヶ		50WR2 ㉑ 外φ 12.7→内φ 9.52 … 1ヶ ㉒ 外φ 12.7→内φ 15.88 … 1ヶ ㉓ 外φ 15.88→内φ 19.05 … 2ヶ ㉔ 外φ 25.4→内φ 28.6 … 1ヶ		

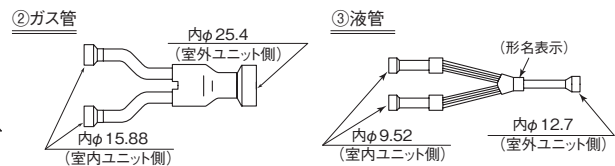
※本品以外に次のものを現地で手配してください。
㉚ 断熱材シール用テープ
㉛ 冷媒配管用延長パイプ

●ガス管②、液管③の仕様は下図のとおりです。

■MSDD-50SR2 (室外ユニット80形~160形の場合)



■MSDD-50WR2 (室外ユニット224形・280形の場合)



2 配管サイズ・冷媒配管の制限

- ・室外ユニットにより冷媒配管長さ、室内ユニットの高低差の制限が異なりますのでご注意ください。
- ・室内外ユニットの高低差は、室内ユニットが室外ユニットに対し上でも下でも同じです。
- ・チャージレス配管長、冷媒追加チャージ量の詳細は本体製品付属の据付説明書に従ってください。
- ・英記号は (図1) と対応しています。

●インバーター機の場合

(表1-1)

室外ユニット能力	配管サイズ (mm)				配管実長 (m)			高低差 (m)		バンド数
	ガス管側		液管側		室内~室外	室内~室内	分岐後実長 (m) B, C	室内~室外	室内~室内	
80形	φ15.88 (5/8)	40~56形	φ9.52 (3/8)	40~56形	—	50m以下	B-C = 8m以下	H=30m以下	h=1m以下	15以内
112~160形		φ12.7 (1/2)		φ6.35 (1/4)						
224形	φ25.4 (1)	71~140形	φ12.7 (1/2)	71~140形	A+B=A+C=100m以下	120m以下	—	H=40m以下	—	—
280形		φ15.88 (5/8)		φ9.52 (3/8)						

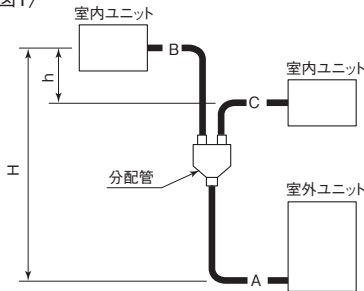
●一定速機の場合

〈表1-2〉

室外ユニット能力	配管サイズ (mm)				配管実長 (m)				高低差 (m)		ベンド数
	ガス管側		液管側		室内～室外	A+B+C	室内～室内	分岐後実長 (m) B, C	室内～室外	室内～室内	
	室外ユニット側	室内ユニット側	室外ユニット側	室内ユニット側							
80形	φ15.88 (5/8)	40～56形	φ9.52 (3/8)	40～56形	—	50m以下	B-C = 8m以下	20m以下	H=30m以下	h=1m以下	15以内
112～160形		φ12.7(1/2)		φ6.35(1/4)							
224形	φ25.4 (1)	71～140形	φ12.7 (1/2)	71～140形	A+B= A+C= 100m以下	120m以下	30m以下	H=40m以下			
280形		φ15.88(5/8)		φ9.52(3/8)							

注1. 冷媒配管ベンド数制限は、〈A+B〉〈A+C〉の範囲でそれぞれ8ヶ所以内とさせていただきます。

〈図1〉



●室外ユニット組合せパターンと使用ジョイント

〈表2〉

分配管形名	室外ユニット側	室内ユニット側	室内ユニット
MSDD-50SR2	80形	40形×2	㊦ 外φ9.52→内φ6.35〔室内液管側〕×2
	112形	56形×2	㊧ 外φ15.88→内φ12.7〔室内ガス管側〕×2
	140形	71形×2	ジョイントは不要です。
	160形	80形×2	ジョイントは不要です。
MSDD-50WR2	224形	112形×2	㊨ 外φ12.7→内φ9.52〔室外液管側〕×1
	280形	140形×2	ジョイントは不要です。

※〔 〕内は取付位置を示す

3 配管接続

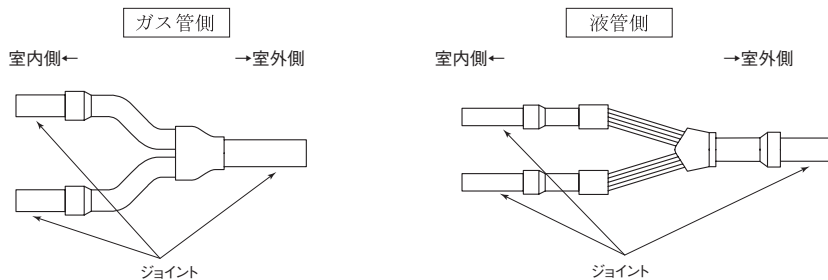
1. 下記のことにご注意して作業を行ってください。

- ・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント (表2) の確認を必ず行ってください。
- ・冷媒配管長制限とそのベンド数制限 (表1) を必ず守ってください。
- ・冷媒配管 (現地手配) とジョイント⑥は分配管 (本品) の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付けにて接続してください。
- ・分配管 (本品) の取付時における方向についての制約はありません。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

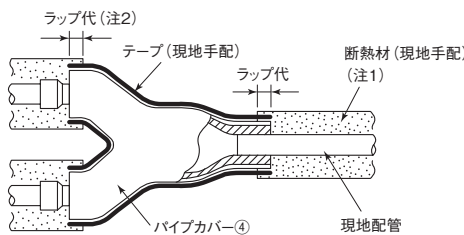
2. 配管接続

- ・使用機種能力によっては、付属のジョイント⑥が必要となりますので、〈表2〉を参照して準備し〈図2〉のように接続してください。
- ・分配管 (液管) を曲げたり、広げたりしないでください。

〈図2〉



4 断熱工事



注1. 冷媒配管 (現地手配) には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材 (厚さ12mm以上) を使用してください。

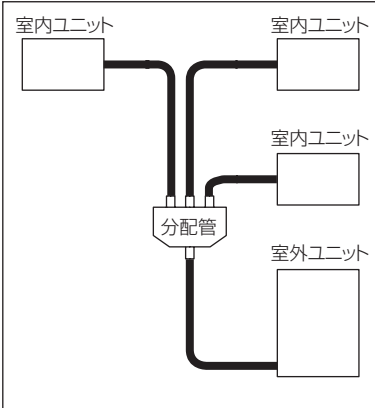
注2. パイプカバー④、⑤は高温にて若干収縮しますので、断熱材はラップ代を設けて施工してください。

- ・ガス管②にパイプカバー④を合わせるように取付けてください。パイプカバー④の合わせ部は断熱材シール用テープ (現地手配) にてシールしてください。
- ・液管③もパイプカバー⑤を使用し、同様に処理してください。

分配管 (同時トリプル用)

● MSDT-111R2

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（トリプル：3台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力 (33 : 33 : 33)
160形	56形 + 56形 + 56形
224形	80形 + 80形 + 80形

注意

- ・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

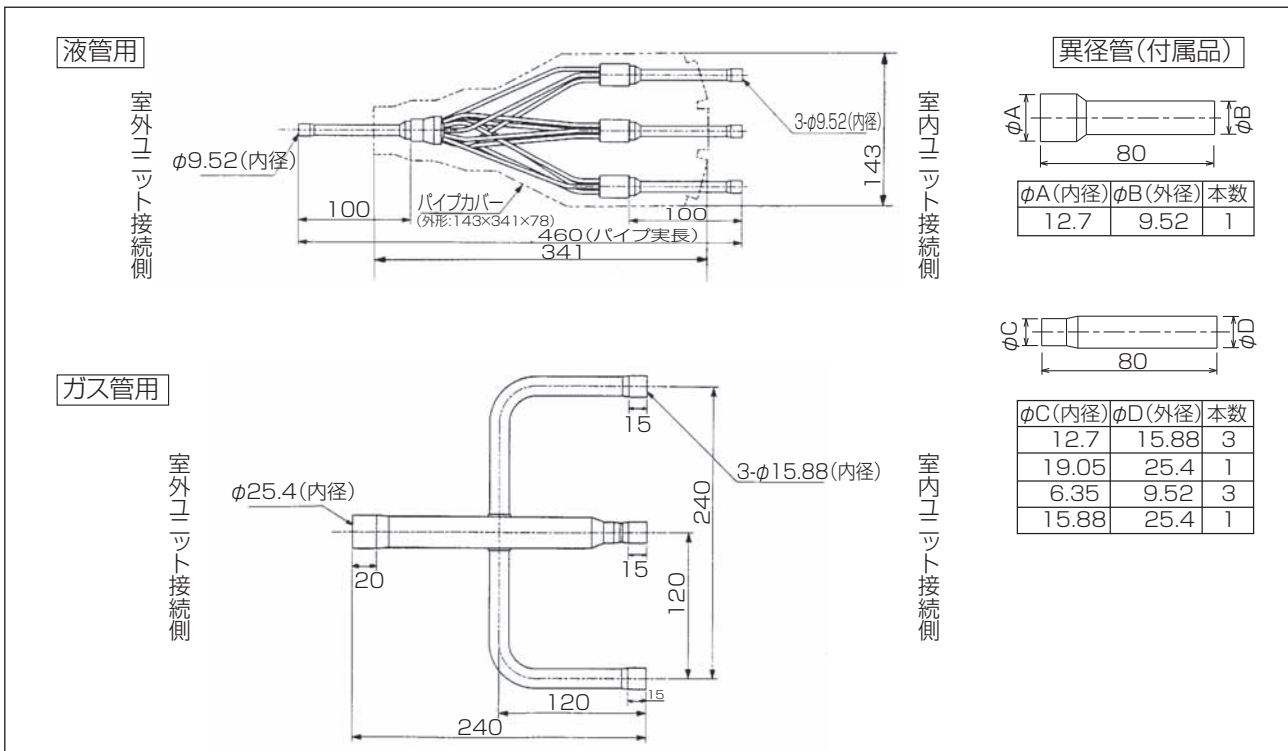
対象ユニット

- P160・P224形
〈室内ユニット能力比 33 : 33 : 33〉

仕様

形名	MSDT-111R2	
本体	分配比	室外ユニット容量を 33 : 33 : 33 に 3 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用 各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅 C1220T-OL (JIS H3300)
付属品	パイプカバー	発泡ポリエチレン成型品（液管）・EPT スポンジゴムタイプ（ガス管用）
	異径管	5 種類 9 本

外形図 (単位 : mm)





三菱電機パッケージエアコン別売部品 同時トリプル分配管取付説明書

RG79N496H03

MSDT-111R2 [室内ユニット同容量トリプル 33:33:33] … 室外ユニット 160形・224形 (R410Aインバーター・一定速機)
 MSDT-112R2 [室内ユニット異容量トリプル 25:25:50] … 室外ユニット 160形～280形 (R410A一定速機)
 MSDT-122R2 [室外ユニット異容量トリプル 20:40:40] … 室外ユニット 280形 (R410A一定速機)

安全のために必ず守ること

※取付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

- 取付は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。

警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

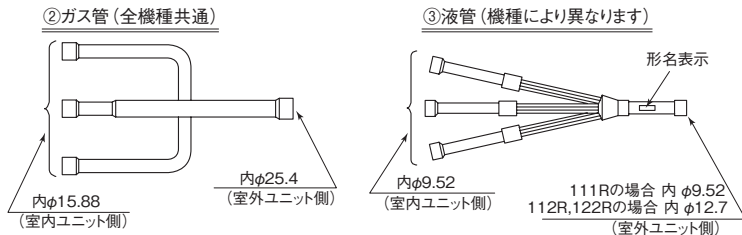
- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。
- この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	警告	設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。 冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
警告	取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	注意	ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
警告	作業中に冷媒ガスが洩れた場合は、換気する。 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。	注意	冷媒配管は、JIS H 3300「銅及び銅合金継目無管」のC1220のりん脱炭銅を使用し、配管接続を確実に行う。 配管接続に不備があると、アース接続が不十分となり感電の原因となります。
警告	据付工事は、冷媒R410A用に製造された専用ツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実に行なう。 使用しているHFC系R410A冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付に不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。	注意	冷媒配管の断熱は結露しないように確実に行なう。 不完全な断熱工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因となります。

1 箱の中には下記のものが入っています。作業を始める前にご確認ください。

①説明書 本紙1枚	②ガス管 1ヶ	③液管 1ヶ	④パイプカバー (ガス管) Vカット付 1ヶ	⑤⑥パイプカバー (ガス管) ⑤外φ50×250L — 1ヶ ⑥外φ43×350L — 2ヶ	⑦パイプカバー (液管) 2ヶ
⑧⑨パイプカバー ⑧外φ42×180L — 1ヶ ⑨外φ38×200L — 3ヶ	⑩バンド 8ヶ	⑪ジョイント 〈表1〉参照	※本品以外に次のものを現地にて手配してください。 (a)断熱材シール用テープ (b)冷媒配管用延長パイプ		

●ガス管②、液管③の仕様は下図のとおりです。



●ジョイント仕様と付属個数 (表1)

ジョイント管端サイズ ()	MSDT-111R2	MSDT-112R2	MSDT-122R2
㉗ 外φ9.52→内φ6.35	3	2	1
㉘ 外φ15.88→内φ12.7	3	2	1
㉙ 外φ12.7→内φ9.52		1	
㉚ 外φ12.7→内φ15.88		1	1
㉛ 外φ15.88→内φ19.05		1	2
㉜ 外φ25.4→内φ28.6		1	1
㉝ 外φ25.4→内φ15.88	1	1	
㉞ 外φ25.4→内φ19.05	1	1	
㉟ 外φ9.52→内φ12.7	1		

〔ジョイントは旧配管サイズにも対応できるように多くの種類を付属しています。〕

2 配管サイズ・冷媒配管の制限

- ・室外ユニットにより冷媒配管長さ、室内ユニットの高低差の制限が異なりますのでご注意ください。
- ・室内外ユニットの高低差は、室内ユニットが室外ユニットに対し上でも下でも同じです。
- ・チャージレス配管長、冷媒追加チャージ量の詳細は本体製品付属の据付説明書に従ってください。
- ・英記号は (図1) と対応しています。

●インバーター機の場合

(表2-1)

室外ユニット能力	配管サイズ (mm)				配管実長 (m)			高低差 (m)		バンド数	
	ガス管側		液管側		室内～室外	A+B+C+D	室内～室内	分岐後実長 (m) B, C, D	室内～室外		室内～室内
	室外ユニット側	室内ユニット側	室外ユニット側	室内ユニット側							
160形	φ15.88 (5/8)	56形 φ12.7 (1/2)	φ9.52 (3/8)	56形 φ6.35 (1/4)	—	75m以下	B-C = B-D = C-D =	20m以下	H=30m以下	h=1m以下	15以内
224形	φ25.4 (1)	80形 φ15.88 (5/8)	80形 φ9.52 (3/8)	80形 φ9.52 (3/8)	A+B= A+C= A+D= 100m以下	120m以下	8m以下	30m以下	H=40m以下		

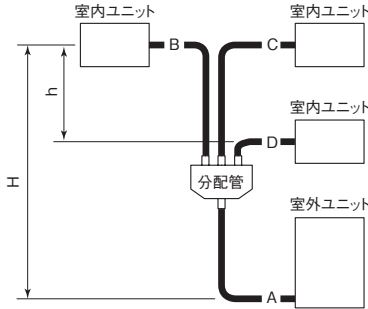
●一定速機の場合

(表2-1)

室外ユニット能力	配管サイズ (mm)				配管実長 (m)				高低差 (m)		バンド数
	ガス管側		液管側		室内～室外	A+B+C+D	室内～室内	分岐後実長 (m) B, C, D	室内～室外	室内～室内	
	室外ユニット側	室内ユニット側	室外ユニット側	室内ユニット側							
160形	φ15.88 (5/8)	40～56形 φ12.7(1/2)	φ9.52 (3/8)	40～56形 φ6.35(1/4)	—	50m以下	B-C = B-D =	20m以下	H=30m以下	h=1m以下	15以内
224形	φ25.4 (1)	71～140形 φ15.88(5/8)	φ12.7 (1/2)	71～140形 φ9.52(3/8)	A+B=	120m以下	C-D =	30m以下	H=40m以下		
280形					A+C=		A+D=				

注1. 冷媒配管バンド数制限は、(A+B) (A+C) (A+D)の範囲でそれぞれ8ヶ所以内としてください。

(図1)



■室外ユニット組合せパターンと使用ジョイント

(表3)

分配管形名	室外ユニット側	室内ユニット側	使用ジョイント
MSDT-111R2	160形	56形×3	⑦外φ9.52→内φ6.35 [室内液管側] × 3 ①外φ15.88→内φ12.7 [室内ガス管側] × 3 ②外φ25.4→内φ15.88 [室外ガス管側] × 1
	224形	80形×3	ジョイントは不要です。
MSDT-112R2	160形	40形×2+80形	⑦外φ9.52→内φ6.35 [室内液管側] × 2 ①外φ15.88→内φ12.7 [室内ガス管側] × 2 ①外φ12.7→内φ9.52 [室外液管側] × 1 ②外φ25.4→内φ15.88 [室外ガス管側] × 1
	224形	56形×2+112形	⑦外φ9.52→内φ6.35 [室内液管側] × 2 ①外φ15.88→内φ12.7 [室内ガス管側] × 2 ①外φ12.7→内φ9.52 [室外液管側] × 1
	280形	71形×2+140形	ジョイントは不要です。
MSDT-122R2	280形	56形+112形×2	⑦外φ9.52→内φ6.35 [室内液管側] × 1 ①外φ15.88→内φ12.7 [室内ガス管側] × 1

※ []内は取付位置を示す。

3 配管接続

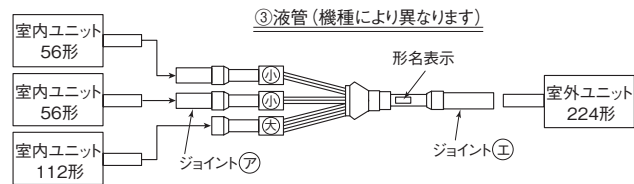
1. 下記のことに注意して作業を行なってください。

- ・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント (表3)、配管サイズ (表2) 及び使用するジョイントの確認を必ず行ってください。
- ・冷媒配管長制限とそのバンド数制限 (表2) を必ず守ってください。
- ・冷媒配管 (現地手配) とジョイントは分配管 (本品) の拡張部に止まるまで挿入し、無酸化ワウ付けにて接続してください。
- ・分配管 (本品) の取付時における方向についての制限はありません。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

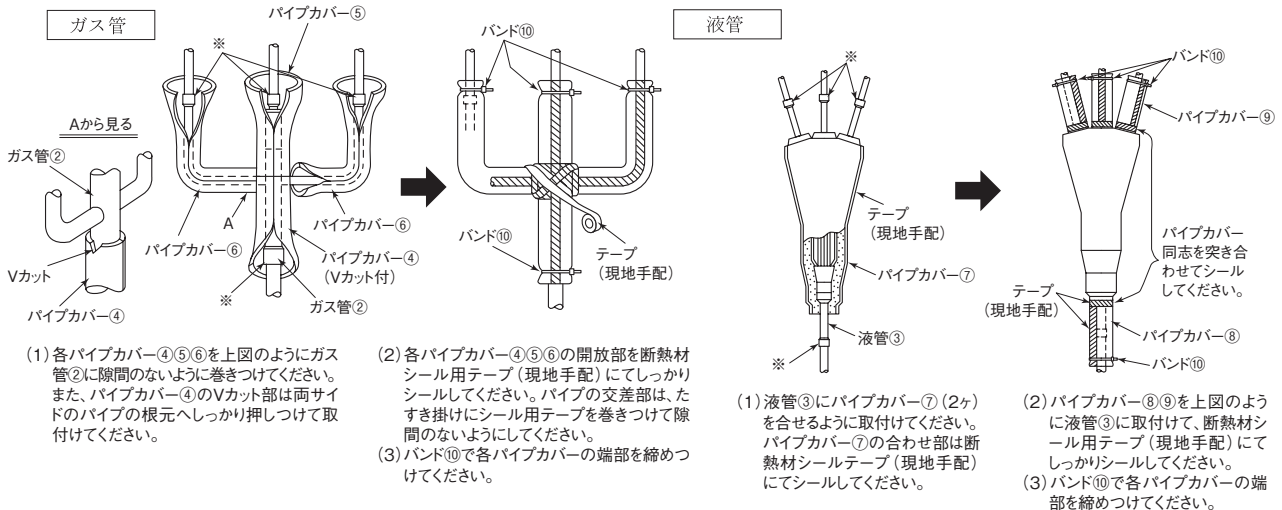
2. 配管接続

- ・使用機種能力によって、付属のジョイント①の使用数が異なりますので (表3) を参照して選定し、冷媒配管を接続してください。
- ・分配管 (液管) を曲げたり、広げたりしないでください。
- ・組合せにより、室内ユニットの能力が異なっても配管サイズが同一の場合があります。この場合右図に従って分配が正しくなされるよう接続して下さい。(液管側)
- ・室内ユニットの能力の大きい方は、液管③の大的表示側に接続。
- ・室内ユニットの能力の小さい方は、液管③の小的表示側に接続。

(例) MSDT-112R2の場合



4 断熱工事



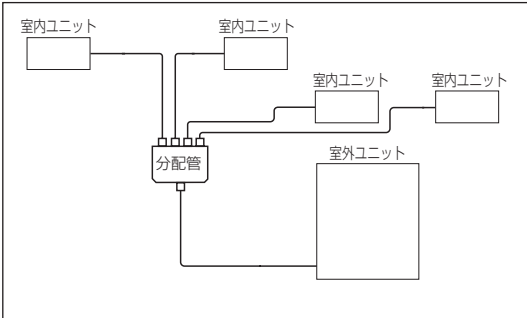
注1. 各パイプカバーの余分な長さは切断して使用してください。

- 冷媒配管 (現地手配) とガス管②及び液管③の接続部 (※部) は各パイプカバーで確実に覆ってください。
- 冷媒配管 (現地手配) には全て断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材 (厚さ12mm以上) を使用してください。

分配管 (同時フォー用)

● MSDF-1111R2

使用目的 / 用途



●“分配管”は、室内ユニットを同時運転タイプ（フォー：4台）組み合わせ時に使用する分岐管です。

室外ユニット	室内ユニット能力 (25 : 25 : 25 : 25)
224 形	56 形 + 56 形 + 56 形 + 56 形
280 形	71 形 + 71 形 + 71 形 + 71 形

注意

- ・冷媒配管（現地手配）とジョイントは分岐管（本品）の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付にて接続してください。
- ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。

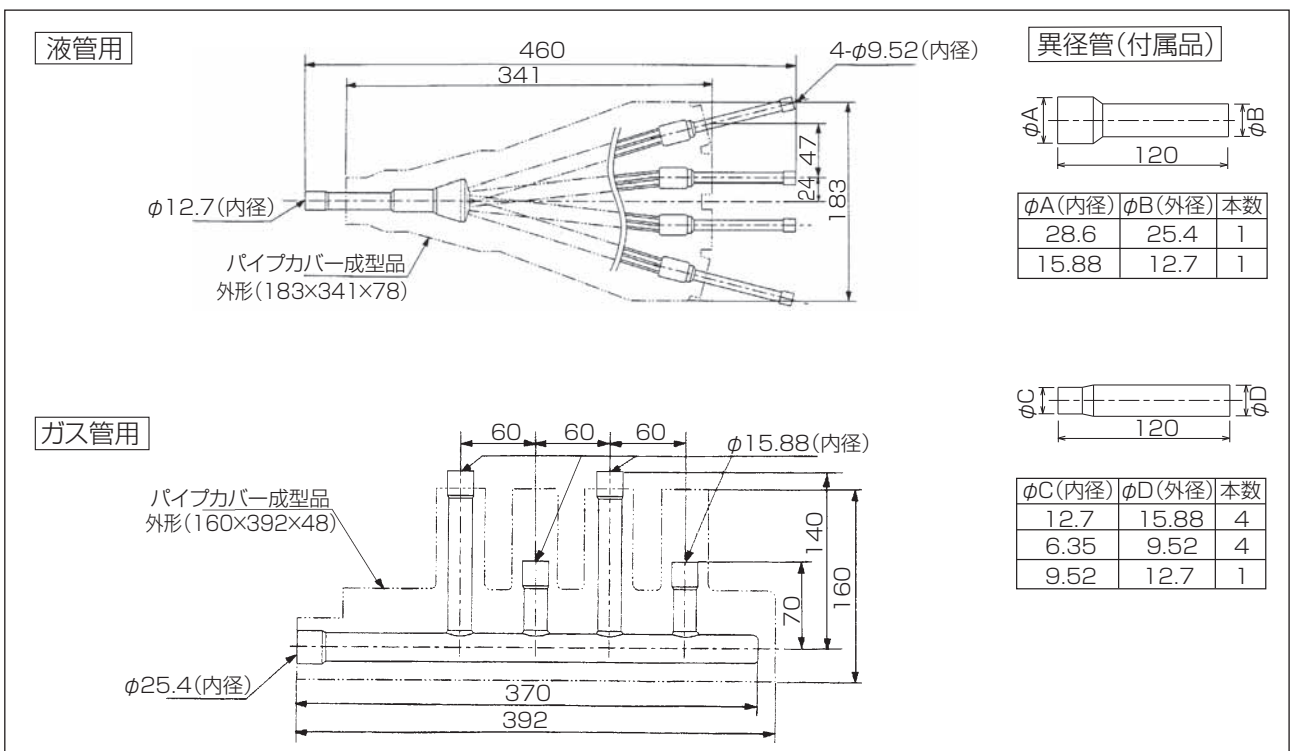
対象ユニット

- P224・P280 形
〈室内ユニット能力比 25 : 25 : 25 : 25〉

仕様

形 名		MSDF-1111R2
本 体	分 配 比	室外ユニット容量を 25 : 25 : 25 : 25 に 4 分配
	分配管本数	液管用・ガス管用 各 1 本
	パイプ材質	リン脱酸銅 C1220T-OL (JIS H3300)
付属品	パイプカバー	発泡ポリエチレン成型品 (液管・ガス管用 各 1 本)・EPT スポンジゴムタイプ (液管・ガス管用 各 4 本)
	異 径 管	5 種類 11 本
	バ ン ド	7 本

外形図 (単位：mm)



MITSUBISHI

RG79N497H03

三菱電機パッケージエアコン別売部品 同時フォー分配管取付説明書

MSDF-1111R2 形 [室内ユニット同容量フォー 25:25:25:25] … 室外ユニット 224形・280形 (R410Aインバーター…一定速機)

安全のために必ず守ること ※取付け前に本説明書と室内ユニット、室外ユニットの据付工事説明書をよくお読みください。

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区別して説明しています。


警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

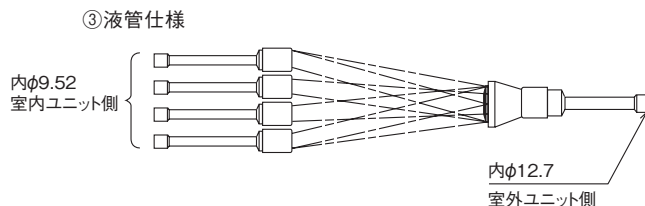
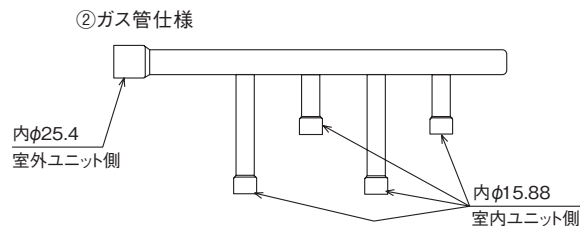
- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、お客様に「安全のために必ず守ること」や使用方法、お手入れの仕方等を説明し、本書をお渡しください。
- この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	警告	設置工事終了後、冷媒が洩れていないことを確認する。 冷媒が室内に洩れ、ファンヒーター、ストーブ、コンロなどの火気に触れると有毒ガスが発生する原因になります。
警告	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなう。 取付けに不備があると、水漏れや感電・火災等の原因になります。	注意	ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。
警告	作業中に冷媒ガスが洩れた場合は、換気する。 冷媒ガスが火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。	注意	冷媒配管は、JIS H 3300銅及び銅合金継ぎ目無管のC1220のりん脱酸銅を使用し、配管接続を確実にこなう。 配管接続に不備があると、アース接続が不充分となり感電の原因となります。
警告	据付工事は、冷媒R410A用に製造された専用ツール・配管部材を使用し、この据付工事説明書に従って確実にこなう。 使用しているHFC系R410A冷媒は、従来の冷媒に比べ圧力が約1.6倍高くなります。専用の配管部材を使用しなかったり、据付に不備があると破裂・けがの原因になり、また水漏れや感電・火災の原因になります。	注意	冷媒配管の断熱は結露しないように確実にこなう。 不完全な断熱工事を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床・その他、大切なものを濡らす原因となります。

1 付属部品の確認

※下記部品が付属されておりますので、取付け前に確認してください。

① 説明書 本紙 1枚	② ガス管 1ヶ	③ 液管 1ヶ	④ パイプカバー (ガス管) 1ヶ	⑤ パイプカバー (液管) 2ヶ	⑥⑦ パイプカバー ⑥ 外φ42×180L 1ヶ ⑦ 外φ38×200L 4ヶ	⑧ バンド 7ヶ
⑨ ジョイント  <ul style="list-style-type: none"> ㉗ 外φ9.52→内φ.35 ……4ヶ ㉘ 外φ12.7→内φ.52 ……1ヶ ㉙ 外φ12.7→内φ15.88 ……1ヶ ㉚ 外φ15.88→内φ12.7 ……4ヶ ㉛ 外φ25.4→内φ28.6 ……1ヶ (ジョイントは旧配管サイズにも対応できるように、多くの種類を付属しております。)				※本品以外に次のものを現地で手配してください。 ㉜ 断熱材シール用テープ ㉝ 冷媒配管用延長パイプ		



2 配管サイズ・冷媒配管制限

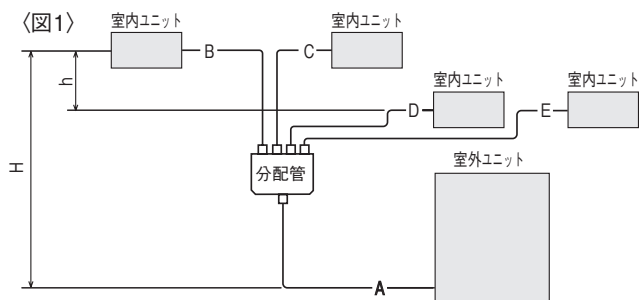
- ・室外ユニットにより冷媒配管長さ、室内ユニットの高低差の制限が異なりますので注意ください。
- ・室内外ユニットの高低差は、室内ユニットが室外ユニットに対し上でも下でも同じです。
- ・英記号は〈図1〉と対応しています。

〈表1〉

室外ユニット能力	配管サイズ (mm)				配管実長 (m)			高低差 (m)		バンド数
	ガス管側		液管側		室内～室外	室内～室内	分岐後実長 (m) B,C,D,E	室内～室外	室内～室内	
224形	φ25.4 (1)	56形	φ9.52 (3/8)	56形	A+B=C+D+E 120m以下	B-C = B-D = B-E = C-D = C-E = E-D = 8m以下	H=40m以下	h=1m以下	15以内	
		φ12.7(1/2)	φ6.35(1/4)							
280形		71形 φ15.88(5/8)	φ12.7 (1/2)	71形 φ9.52(3/8)	100m以下					

※1. 冷媒配管バンド数制限は〈A+B〉〈A+C〉〈A+D〉〈A+E〉の範囲でそれぞれ8ヶ所以内、総数で15ヶ所以内としてください。

※2. A+B+C+D+E>30mの場合は追加チャージが必要です。



● 室外ユニット組合せパターンと使用ジョイント (表2)

室外ユニット側	室内ユニット側	使用ジョイント
224形	56形×4	⑦ 外φ9.52→内φ6.35 (室内液管側) ×4 ④ 外φ15.88→内φ12.7 (室内ガス管側) ×4 ① 外φ12.7→内φ9.52 (室外液管側) ×1
280形	71形×4	ジョイントは不要です

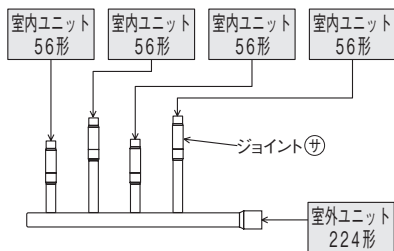
※ [] 内は取付位置を示す

3 配管接続

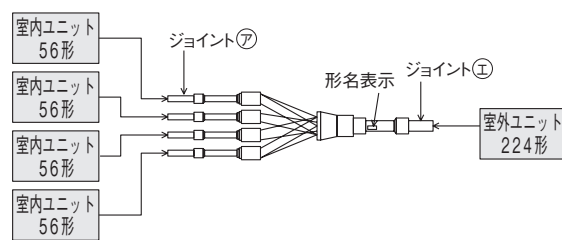
- 下記のことに注意して作業を行ってください。
 - ・室内外ユニット組合せパターンと使用ジョイント<表2>、配管サイズ<表1>及び使用するジョイント⑨の確認を必ず行ってください。
 - ・冷媒配管長制限とそのバンド数制限<表1>を必ず守ってください。
 - ・冷媒配管 (現地配管) とジョイント⑨は分配管 (本品) の拡管部に止まるまで挿入し、無酸化ロウ付けにて接続してください。
 - ・分配管 (本品) の取付時における方向についての制約はありません。
 - ・配管接続作業の際、配管内部にゴミ等の異物が入らないように注意してください。
- 配管接続
 - ・使用機種の能力によって、付属のジョイント⑨の使用数が異なりますので、<表2>を参照して選定し冷媒配管を接続してください。
 - ・分配管 (液管) を曲げたり、広げたりしないでください。

(接続例)
224形

② ガス管



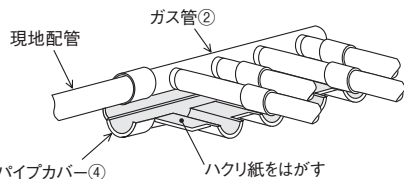
③ 液管



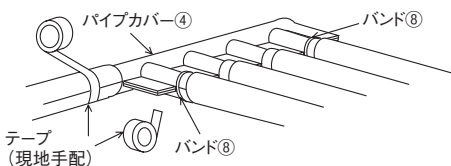
4 断熱工事

- 注1. 各パイプカバーの余りな長さは切断して使用してください。
- 冷媒配管 (現地手配) とガス管②及び液管③の接続部 (※部) は各パイプカバーで確実に覆ってください。
 - 冷媒配管 (現地手配) にはすべて断熱材を施工してください。また市販の断熱材を使用する場合は、耐熱性断熱材 (厚さ12mm以上) を使用してください。

[ガス管]

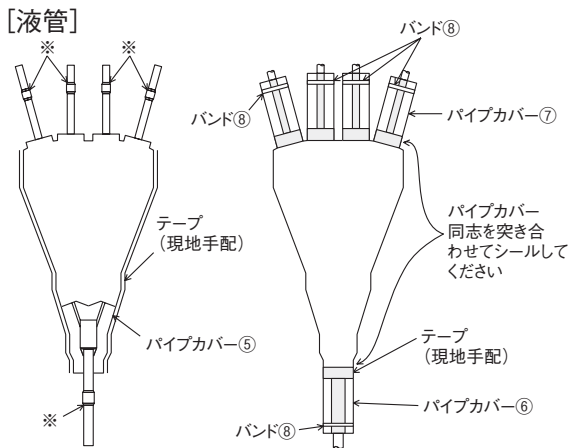


- ガス管②をパイプカバー④に取めた後、パイプカバー④の内面に張り付けてあるハクリ紙を剥がしガス管②をパイプカバー④ではさみ込むようにしてください。



- パイプカバー④の室内側分岐部の両端を上図に示すようにバンド⑧で締め付けてください。バンドの残分は切り取ってください。
- パイプカバー④の合わせ部分は断熱材シール用テープ (現地手配) にてしっかりシールしてください。(シールが不完全ですと露たれの原因となります)

[液管]

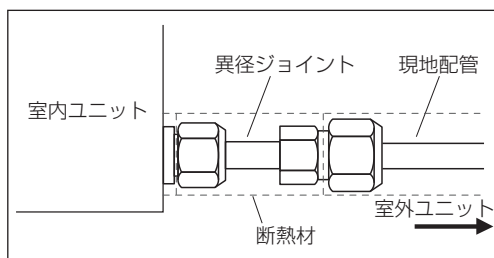


- 液管③にパイプカバー⑤ (2ヶ) を合わせるように取付けてください。パイプカバー⑤の合わせ部は断熱材シール用テープ (現地手配) にてシールしてください。
- パイプカバー⑥⑦を上図のように液管③に取付けて、断熱材シール用テープ (現地手配) にてしっかりシールしてください。
- バンド⑧で各パイプカバーの端部を締め付けてください。

リプレース異径ジョイント

- PAC-SG72RJ
- PAC-SG73RJ
- PAC-SG74RJ
- PAC-SG75RJ

使用目的 / 用途



●“リプレース異径ジョイント”は、異なるサイズの現地配管と室内外ユニットを接続するための部品です。

注意

・本品は断熱が必要です。(露たれ防止)
現地配管と同様に断熱材(現地手配)を巻き付けてください。

対象ユニット

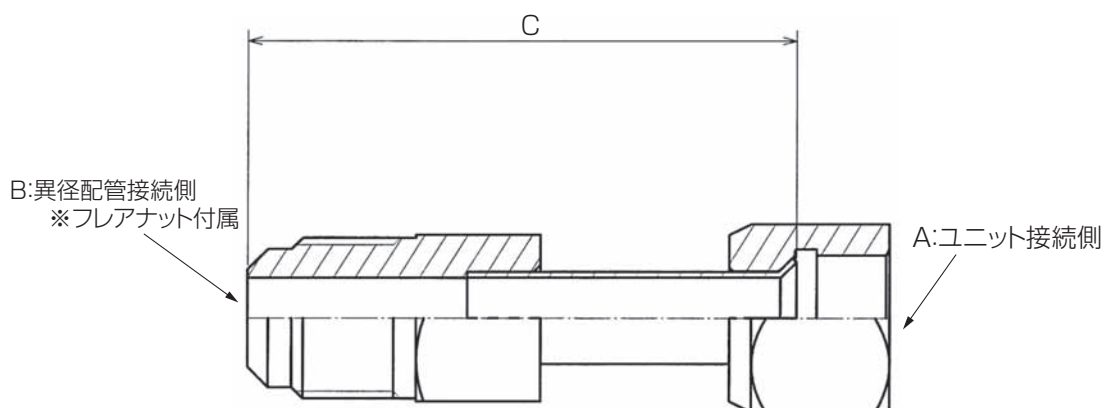
- PAC-SG72RJ → ユニット側：φ 6.35 - 現地配管側：φ 9.52
- PAC-SG73RJ → ユニット側：φ 9.52 - 現地配管側：φ 12.7
- PAC-SG74RJ → ユニット側：φ 12.7 - 現地配管側：φ 15.88
- PAC-SG75RJ → ユニット側：φ 15.88 - 現地配管側：φ 19.05

仕様

形名	PAC-SG72RJ	PAC-SG73RJ	PAC-SG74RJ	PAC-SG75RJ
配管径	φ 6.35	φ 9.52	φ 12.7	φ 15.88
パイプ材質	リン脱酸銅 C1220T-OL			

外形図 (単位：mm)

形名	A	B	C
PAC-SG72RJ	1/4" φ6.35	3/8" φ9.52	59.5
PAC-SG73RJ	3/8" φ9.52	1/2" φ12.7	66.5
PAC-SG74RJ	1/2" φ12.7	5/8" φ15.88	75
PAC-SG75RJ	5/8" φ15.88	3/4" φ19.05	78.5



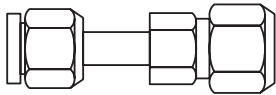
MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品 リプレース異径ジョイント取付説明書

PAC-SH40RJ
PAC-SG72・73・74・75RJ

この箱の中には、この説明書のほかに下記の部品が入っていますのでご確認ください。

リプレース異径ジョイント	
PAC-SG72RJ(ユニット側: φ 6.35 - 現地配管側: φ 9.52)	
PAC-SG73RJ(ユニット側: φ 9.52 - 現地配管側: φ12.70)	
PAC-SG74RJ(ユニット側: φ12.70 - 現地配管側: φ15.88)	
PAC-SG75RJ(ユニット側: φ15.88 - 現地配管側: φ19.05)	
PAC-SH40RJ(ユニット側: φ15.88 - 現地配管側: φ12.70)	

ユニット側		現地配管側
-------	---	-------

取付要領(下記の説明をよく読んで組み込んでください)

この別売部品は、異なるサイズの現地配管と、室内外ユニットを接続するための部品です。

※この別売部品を取り付ける際には、必ず**室外ユニット付属の据付工事説明書「冷媒配管の接続」**項に従ってください。

1) 現地配管は、右記表に従いR410A対応のフレア加工を新たに行ってください。

その際、フレアナットは本別売付属品を使用してください。

※現地(既設)配管の流用可否については、室外ユニット付属の据付工事説明書に従ってください。

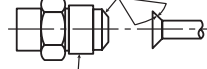
※φ19.05配管を利用する場合には必ず**室外ユニット制御基板上のSW8-1をON**にしてください。

銅管外径 (mm)	フレア部加工寸法φA(mm)	フレア形状
φ 6.35	8.7~9.1	
φ 9.52	12.8~13.2	
φ 12.70	16.2~16.6	
φ 15.88	19.3~19.7	
φ 19.05	23.6~24.0	

パイプ径 (mm)	B寸法 (mm)	
	R410Aフレアツール	R22・R407Cフレアツール
	クラッチ式	
φ 6.35 (1/4")	0~0.5	1.0~1.5
φ 9.52 (3/8")	0~0.5	1.0~1.5
φ12.70 (1/2")	0~0.5	1.0~1.5
φ15.88 (5/8")	0~0.5	1.0~1.5
φ19.05 (3/4")	0~0.5	1.0~1.5

※従来のツールを使って冷媒R410A用のフレア加工をする場合は、上表を参考に加工してください。出し代調整用の銅管ゲージを使用すれば、B寸法が確保できます。

2) 別売部品から異物混入防止キャップ(両端)を取り外し、フレアシート面に冷凍機油(現地手配)を薄く塗布してください。

冷凍機油 塗布位置 フレアシート面全周に冷凍機油を塗布  ※ネジ部分には塗布しないでください。(フレアナットがゆるみ易くなります。)
--

3) フレアナットの締付は、右記表に従いトルクレンチにて確実に行ってください。

(トルクレンチによる適正な締付力)	
銅管外径 (mm)	締付力N-m (kgf-cm)
φ 6.35	14~18 (140~180)
φ 9.52	34~42 (340~420)
φ 12.70	49~61 (490~610)
φ 15.88	68~82 (680~820)
φ 19.05	100~120(1000~1200)

4) 冷媒配管接続後に、必ず現地接続配管(本別売部品含む)と室内・室外ユニットのガス洩れ検査を行ってください。

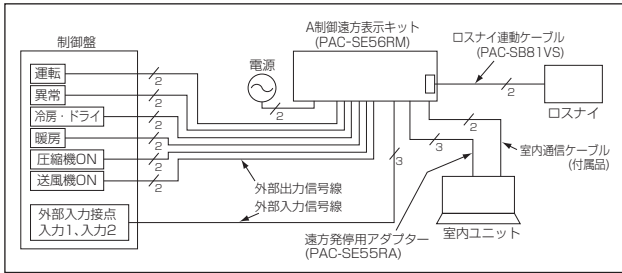
5) 本別売部品は断熱が必要です。(つゆ垂れ防止) 現地配管と同様に断熱材(現地手配)を巻き付けてください。

6) ユニットの据付工事説明書に従って試運転を行い、運転チェックを必ず実施してください。

A 制御遠方表示キット

● PAC-SE56RM

使用目的 / 用途



- “A 制御遠方表示キット” を使用して、離れた場所で運転・異常信号の取出しと外部信号による空調機の運転/停止が可能です。
- 離れた場所で運転・異常・冷房・暖房・ドライ・送風機 ON・圧縮機 ON の信号取出しができます。
- 外部入力機能を使用する場合、別売遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA) が必要です。

注意

- ・ロスナイと連動する場合、ロスナイ連動ケーブル (PAC-SB81VS) が必要です。

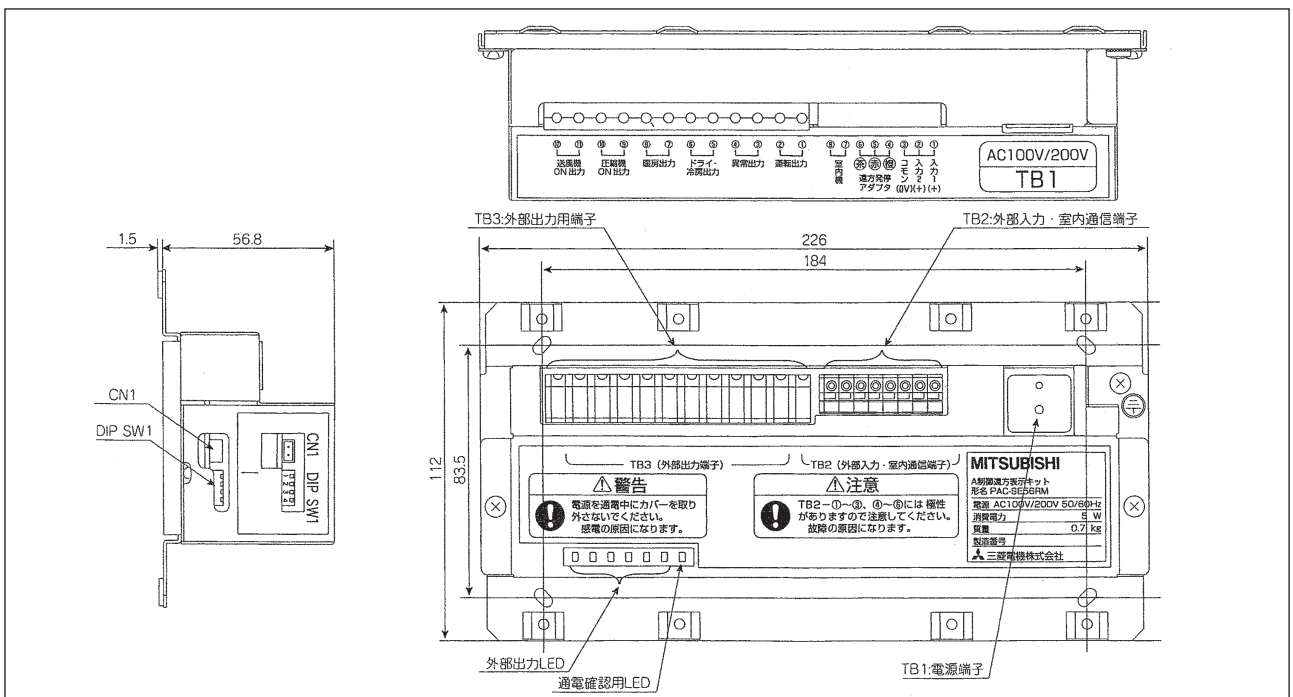
対象ユニット

- A 制御機種 (MPKH-RP・KAL3 除く)

仕様

形名	PAC-SE56RM	入力点数	2点
寸法	112(H) × 226(W) × 58.3(D)mm	入力信号	レベル/パルス (無電圧接点)
質量	0.7kg	パルス規格	
電源	AC100V 又は AC200V (50/60Hz)		
使用環境	温度：0～40℃、湿度：30～90% RH (結露なきこと)		
消費電力	5W	出力点数	6点 (運転/異常/冷房(ドライ)/暖房/圧縮機 ON/送風機 ON)
適合入出力	CV, CVS, CPEV	出力方式	リレー接点方式
伝送線サイズ	φ 0.4～1.2mm (単線)	出力接点定格電流	1A
室内ユニット 接続伝送線	ロスナイ連動ケーブル (PAC-SB81VS) 遠方発停用アダプター (PAC-SE55RA) 延長する場合は CVV, CVS, CPEV の 0.5～1.25mm ²	出力接点定格電圧	DC30V、AC240V
		出力接点最小適用負荷	10mA
据付方法	JISC8340 の 5 個用のスイッチボックスカバー付 (現地手配) へ取付	入力モード	ディップスイッチ設定により 5 パターンの入力モード設定可能
接続形態	1 冷媒系統に 1 台対応		

外形図 (単位: mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)

MITSUBISHI

三菱電機 ビル 空調管理システム

A 制御遠方表示キット

PAC-SE56RM 据付説明書

WT02690X02

1 安全のために必ず守ること

⚠ 注意

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃を越える場所、0℃未満の場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

2 部品確認

●箱の中には、この説明書の他に部品が入っていますのでご確認ください。

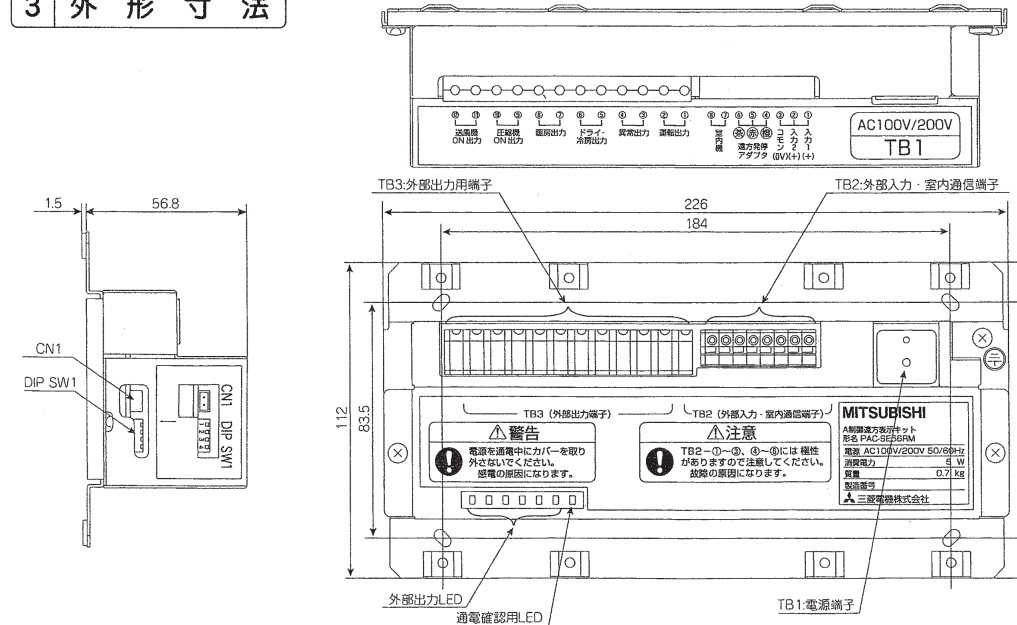
品名	個数
A制御遠方表示キット本体	1
M4トラスネジ (M4×20) 本体固定用	4
室内通信ケーブル (10m)	1

※上記部品以外に、使用する機能ごとで必要となる部品は現地手配となります。

項目	手配していただく部品名	形名
据付け	5個用スイッチボックス (カバー付き)	JIS-C 8340
	カバープレート	松下電工(株)WN7595、WN6595またはこれらに相当するもの。
	電源線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線サイズ・・・単線：φ1.6mm～φ2.0mm 燃線を使用の場合はJST製特殊形裸着端子TUB-1.25、TUB-2またはこれらに相当するもので加工し接続してください。
外部出力機能	外部出力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類・・・CV,CVS,CPEVまたはこれらに相当するもの。 電線サイズ・・・単線：φ0.65mm, φ0.9mm, φ1.2mm 燃線：0.5mm ² ～1.25mm ²
	リレー	外部出力端子の接点は以下の容量ですので、接点定格にあった負荷ならびに電源を用意してください。 AC200V (DC30V) / 1A 無電圧a接点
外部入力機能	遠方発停用アダプタ	PAC-SE55RA
	電線	外部入力機能を使用する場合または配線を延長する場合には、シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類・・・CV,CVS,CPEVまたはこれらに相当するもの。 電線サイズ・・・単線：φ0.65mm, φ0.9mm, φ1.2mm 燃線：0.3mm ² ～1.25mm ²
	中継用リレー	※ 外部入力を50m以上の延長時に使用します。(例) LY-1F (オムロン)
	スイッチ	※ 単極単投スイッチ
	外部タイマー	※ 無電圧接点出力タイマー (電源回路とスイッチ回路が別のもの) (例) TSQ-1DKP (三菱)、H2Eオールディタイマー (オムロン)

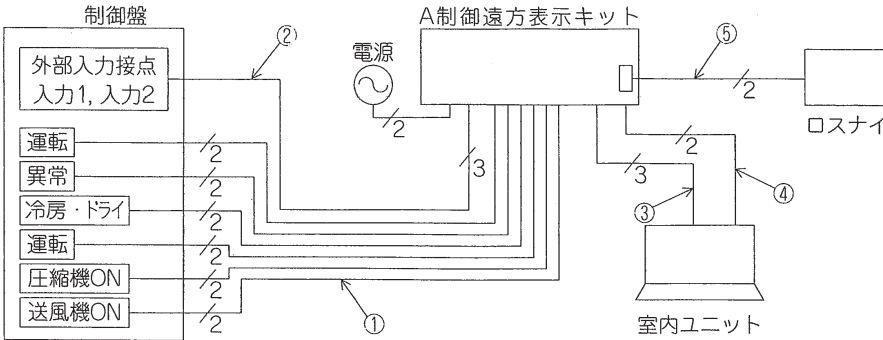
- ※ これらの部分はA制御遠方表示キット本体に組込めませんので、別置きになります。
- ※ 外部入力信号にパルスを使用する場合は、パルス幅が200ms以上になるように現地設計してください。

3 外形寸法



4 システム構成・配線図

1. システム構成

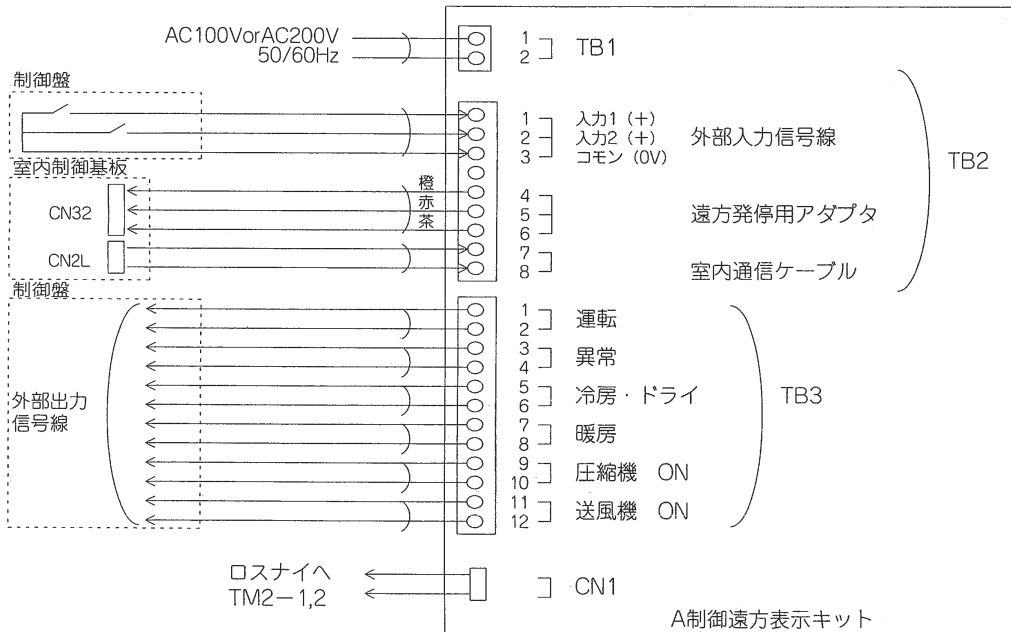


各信号線の配線長

番号	信号線	配線長
①	外部出力信号線	—
②	外部入力信号線	50m以内 (最大配線長)
③	遠方発停用アダプタ (PAC-SE55RA)	10m以内 (最大配線長)
④	室内通信ケーブル (付属品)	10m以内 (最大配線長)
④+⑤	ロスナイ連動ケーブル (PAC-SB81VS)	50m以内 (総配線長)

※ 外部入力信号線を延長する場合には、中継用リレーをご使用ください。

2. 配線図



3. 室内ユニット側の接続

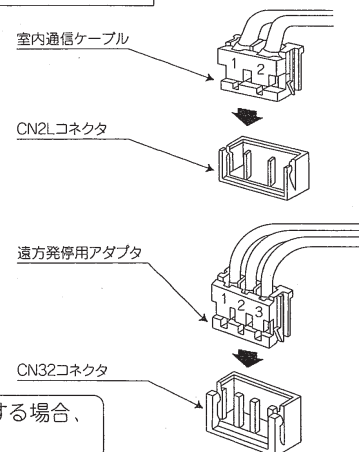
1. 外部出力機能を使用する場合

- ① 室内制御基板上のCN2Lに付属の室内通信ケーブルのコネクタ側を差し込みます。
- ② コネクタには方向性があり、逆差しはできませんのでご注意ください。

2. 外部入力機能を使用する場合

- ① 室内制御基板上のCN32に遠方発停用アダプタを差し込みます。
(遠方発停用アダプタは現地手配品です。)
- ② コネクタには方向性があり、逆差しはできませんのでご注意ください。

※ 詳細は室内ユニットの据付説明書をご覧ください。



お願い 空調機が複数台グルーピングされているシステムで本機の外部入力機能を使用する場合、必ず親機の室内制御基板上に接続してください。

<作業ポイント>

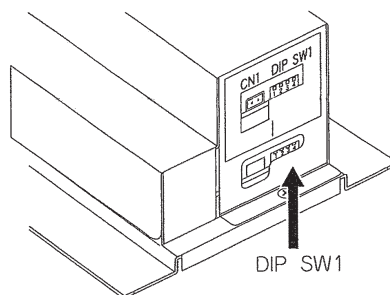
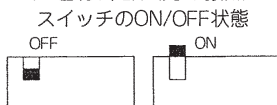
- ①電気配線後に、絶縁抵抗試験をされる場合は本機の電源端子台で、電源線を外して電源線とアース間で行ってください。電気サージなどの保護装置の作動により正しく計測できません。
- ②外部出力機能を使用しない場合は、室内通信ケーブルを接続しないようにしてください。試運転の為にだけに接続した場合は、一度本機の電源を落として室内通信ケーブルを外してから、本機の電源を再投入してください。

5 初期設定方法

以下の手順に従って初期設定を行ってください。

1.外部入力機能設定

- 外部入力機能設定は、本体に電源が投入されていない状態で行ってください。
- 本機の左側にあるDIP SW1（4極）で、外部入力の機能設定を行います。
- DIP SW1の4番は外部入力の接点レベル切替用です。



出荷時は全てOFF状態（モード0）に設定しています。

モード	DIP SW1の状態	信号状態 (SW1の4番がOFF時:a接点)		動作内容
		入力1(TB2-1)	入力2(TB2-2)	
0		運転パルス 閉 開	停止パルス 閉 開	<ul style="list-style-type: none"> ●常時、入力1、入力2のパルス信号で空調機の発停操作が行なえます。 ●また常に手元リモコンからの操作も有効です。
1		運転/停止 レベル 閉：運転 開：停止	遠方/手元 レベル 閉：遠方操作 開：手元操作	<ul style="list-style-type: none"> ●入力2の状態が遠方操作時のみ入力1の信号で発停操作が行なえます。この時手元リモコンからの操作は行なえません。 ●入力2の状態が手元操作時は、入力1の信号での発停操作はできません。手元リモコンからのみ操作が行なえます。
2		運転/停止 レベル 閉：運転 開：停止	手元禁止/許可 レベル 閉：手元禁止 開：手元許可	<ul style="list-style-type: none"> ●常時、入力1のレベル信号で空調機の発停操作が行なえます。 ●入力2のレベル信号で手元リモコンからの操作を禁止/許可できます。
3		レベル 閉：手元許可 開：停止・手元禁止	—	<ul style="list-style-type: none"> ●入力1の信号ONで手元操作許可となり、手元リモコンからの操作ができます。入力1の信号OFFで空調機停止、遠方状態になり、手元リモコンからの操作はできません。 ●カードリーダー等と連動するときに便利です。
4		レベル 閉：運転・手元許可 開：停止・手元禁止	—	<ul style="list-style-type: none"> ●入力1の信号ONで空調機運転、手元操作許可となり、手元リモコンからの操作ができます。入力1の信号OFFで空調機停止、遠方状態になり、手元リモコンからの操作はできません。 ●コインタイマー等と連動するときに便利です。

※ b接点使用により開閉の意味付けを逆にするには、DIP SW1の4番をONにしてください。

- お願い
- ①モード2において空調機の運転状態と外部入力からの操作状態が異なることがあります。そのような場合は、一度空調機の運転状態に操作状態を合わせてから操作してください。
 - ②モード0,2において外部から操作を行なったとき、手元リモコンの液晶上に「集中管理中」の文字が一瞬表示されることがあります。これは本機が一時的に行なっている現象で、手元リモコンの故障ではありません。

6 据付方法

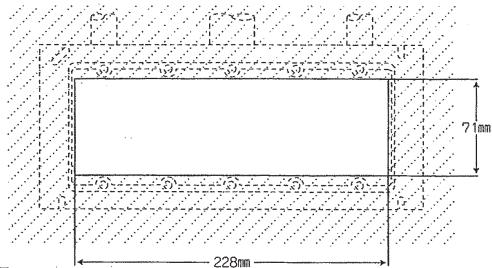
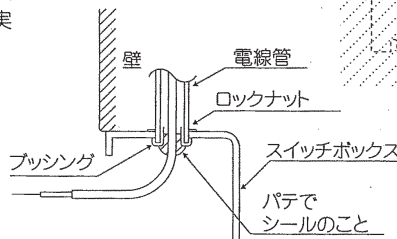
- 本機の据付は5個用スイッチボックスを使用してください。
- スイッチボックス側でD種接地工事を行なってください。
- 天井裏などに設置する場合、必ず本機を固定してください。固定時の取付ピッチは **3 外形寸法** を参考に行なってください。

1. 現地手配部品

- ① 5個用スイッチボックス（カバー付）（JIS-C8340）をご用意ください。
- ② 5個用カバープレートをご用意ください。
- ③ 電線管に合うロックナット、プッシングをご用意ください。

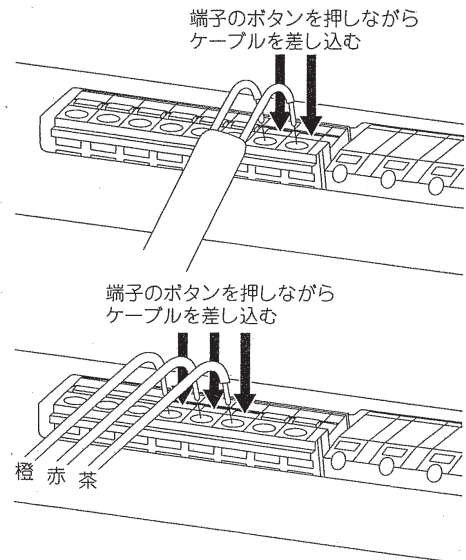
2. スwitchボックスの設置

- ① 壁に71mm×228mmの穴を開け、5個用スイッチボックスを設置します。
- ② 露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のため配線引込口をパテで確実にシールしてください。



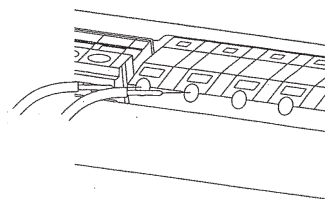
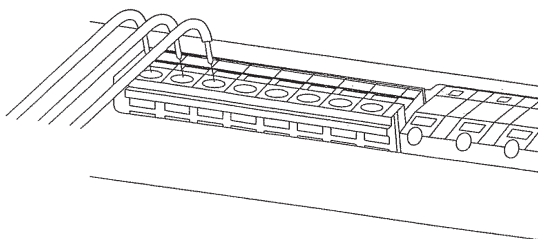
3. 取付方法

- ① 外部出力機能を使用する場合、本機の室内通信端子（TB2-7,8）に室内通信ケーブルを接続します。このとき室内通信ケーブルの被覆を剥いて、端子のボタンを押しながら差し込んでください。
電線サイズ： $\phi 0.65\text{mm} \sim \phi 1.2\text{mm}$ （単線） $0.5\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ （撚線）
標準むき線長さ：11mm
- ② ロスナイを連動するときは、本機のCN1にロスナイ連動ケーブルのコネクタ側を接続します。なお、このときロスナイ連動ケーブルは別途手配してください。
ロスナイ連動ケーブル：PAC-SB81VS
- ③ 外部入力機能を使用する場合は、本機の遠方発停用アダプタ端子（TB2-4~6）に遠方発停用アダプタを接続します。このとき遠方発停用アダプタの被覆を剥いて、端子のボタンを押しながら差し込んでください。なお、遠方発停用アダプタは別途手配してください。
遠方発停用アダプタ：PAC-SE55RA
標準むき線長さ：11mm
遠方発停用アダプタを延長するときは、シース付ビニルコードまたはケーブルをご使用ください。
電線サイズ： $\phi 0.65\text{mm} \sim \phi 1.2\text{mm}$ （単線） $0.3\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ （撚線）
標準むき線長さ：11mm



お願い 配線の延長は10m以内としてください。

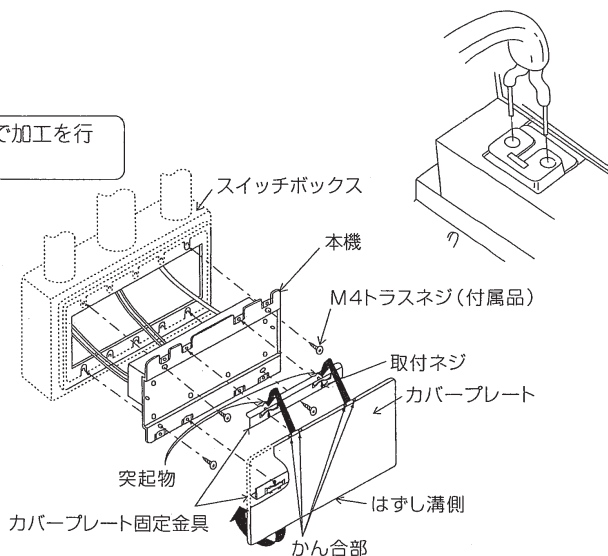
- ④ 本機の外部入力端子（TB2-1~3）または外部出力端子（TB3）に、使用用途に合わせてそれぞれの信号線を接続します。このとき各信号線の被覆を剥いて端子に差し込んでください。
電線サイズ：TB2-1~3 $\phi 0.65\text{mm} \sim \phi 1.2\text{mm}$ （単線） $0.3\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ （撚線） TB3-1~12 $\phi 0.65\text{mm} \sim \phi 1.2\text{mm}$ （単線） $0.5\text{mm}^2 \sim 1.25\text{mm}^2$ （撚線）
標準むき線長さ：11mm 標準むき線長さ：10mm



- ⑤ 本機の電源端子 (TB1) に電源線を接続します。
電線サイズ：φ 1.6mm～φ 2.0mm (単線)
標準むき線長さ：12mm

お願い 撚線を使用する場合には、特殊形裸圧着端子で加工を行なってから使用してください。

- ⑥ 本機を5個用スイッチボックスへ取付ける。
- ⑦ カバープレート固定金具を本機に取付ける。
- ⑧ カバープレート固定金具上部の突起部にカバープレートのかん合部を合わせて引っ掛ける。
- ⑨ カバープレート下部のはずし溝とツメ部を合わせてカバープレートを押し込む。



7 試運転

- 本機、ならびに空調機の電源を投入し、下記の試運転を行なってください。
- 外部出力機能のみを使用する場合は手順1、2、3を、外部入力機能のみを使用する場合は手順1、4の確認を行なってください。

手順	項目	作業内容	確認内容	処理内容 (確認内容のようにならない場合)
1	通電チェック	本機ならびに空調機の電源を投入する。	①本機の通電確認用LEDが点灯する。 ②空調機が運転、もしくは停止する。	→電源線にAC100Vもしくは200Vが通電されているか確認。 →室外機ならびに室内機の電源電圧の確認。
2	外部出力機能チェック	リモコンから空調機を運転させる。	運転出力端子に接続した機器が反応する。	→室内通信ケーブルの接続状況、または運転出力端子の接続を確認。
3	外部出力機能チェック	リモコンから空調機の運転状態を変える。	各出力端子に接続した機器が反応する。	→手順2が正常に動作し手順3が正常でない場合、各外部出力端子の接続の確認。
4	外部入力機能チェック	外部入力から操作する。	手元リモコンの表示が変化する。	→遠方発停用アダプタの接続状況、また外部入力線の接続状況の確認。

<作業ポイント>

- ①電気配線後に、絶縁抵抗試験をされる場合は本機の電源端子台で、電源線を外して電源線とアース間で行ってください。電気サージなどの保護装置の作動により正しく計測できません。
- ②外部出力機能を使用しない場合は、室内通信ケーブルを接続しないようにしてください。試運転の為にだけに接続した場合は、一度本機の電源を落として室内通信ケーブルを外してから、本機の電源を再投入してください。

8 製品仕様

●仕様表

項目	内容
寸法	112 (H) × 226 (W) × 58.3 (D) mm
質量	0.7kg
電源	AC100VまたはAC200V (50/60Hz)
使用環境	温度 0～40℃ 湿度 85%RH以下
消費電力	5W
適合入出力伝送線サイズ	CV, CVS, CPEVまたは、これらに相当するもの 単線：φ 0.65mm, φ 0.9mm, φ 1.2mm 撚線：0.3mm ² ～1.25mm ²
室内ユニット	室内通信ケーブル (付属品)
接続伝送線	遠方発停用アダプタ (現地手配部品) PAC-SE56RA
据付方法	JISC8340の5個用スイッチボックス カバー付き (現地手配品) へ取付け
接続形態	1冷媒系統に1台対応

●入力仕様

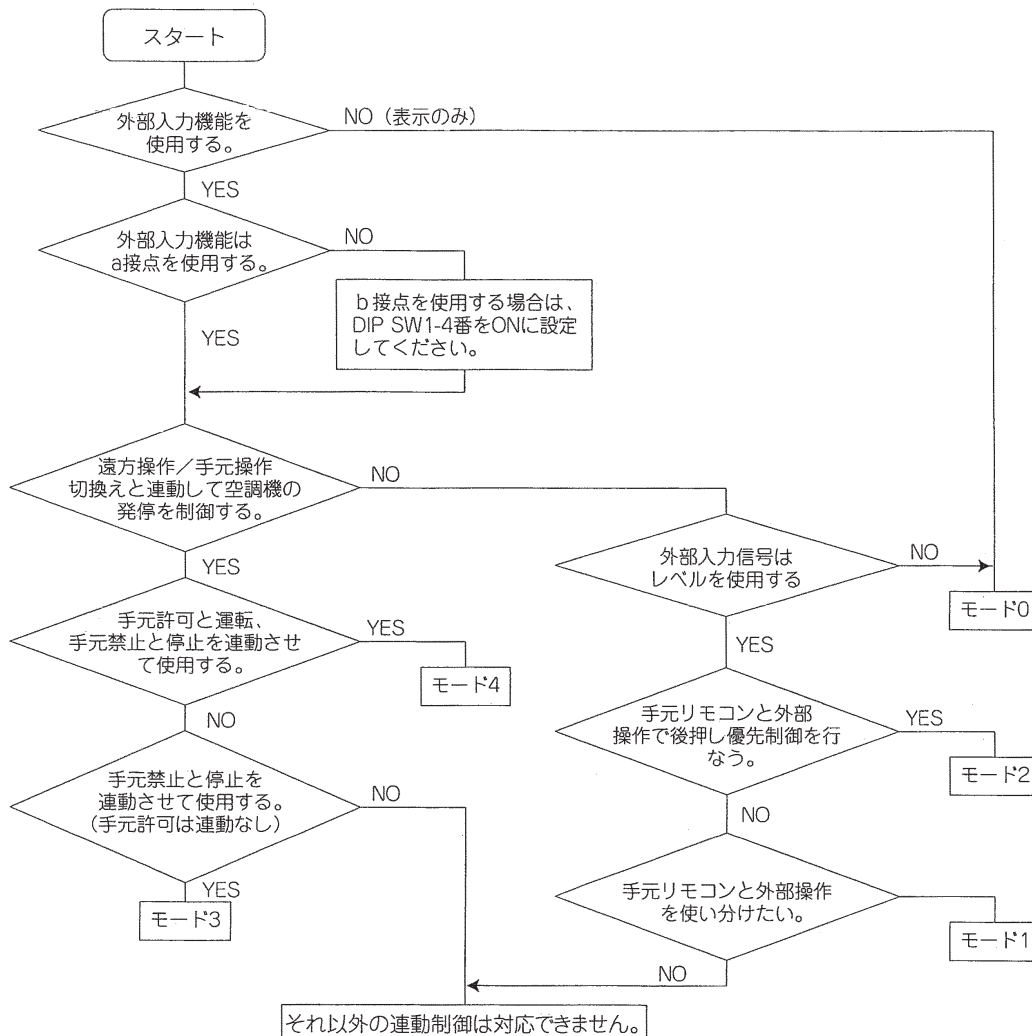
項目	内容
入力点数	2点
入力信号	パルス/レベル (無電圧接点)
パルス規格 接点/信号	

●出力仕様

項目	内容
出力点数	6点 (運転/異常/冷房(ドライ)/暖房/圧縮機 ON/送風機 ON)
出力方式	リレー接点方式
出力接点定格電流	5A
出力接点定格電圧	DC 30V, AC200V
出力接点最小適用負荷	10mA

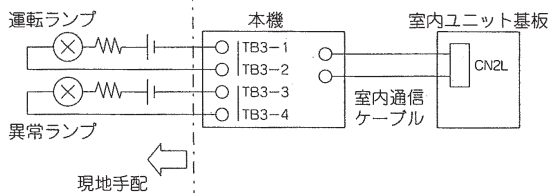
9 システム使用例

1.モード設定フローチャート



2.外部出力機能

- 本機の外部出力端子 (TB3) から、空調機状態の接点信号が出力されます。使用用途に応じて対応の接点に負荷を接続します。
- ※外部出力機能のみの使用の場合はDIP SW1による設定の必要はありません。(工場出荷時はDIP SW1はすべてOFF)

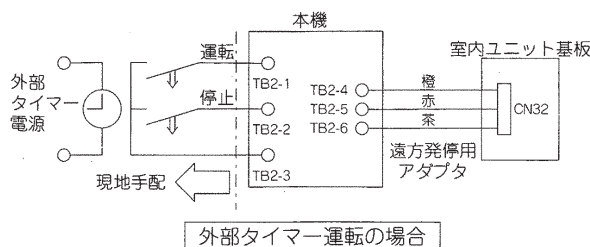
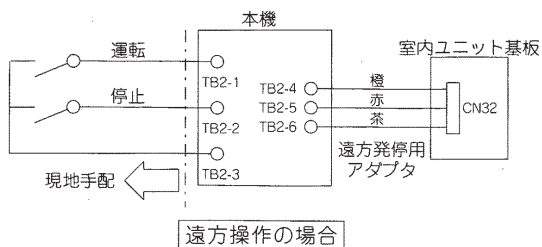


お願い TB3の接点定格は以下の通りですので、定格にあった電源と抵抗を現地に手配してください。
接点定格電圧：AC200V (DC30V) / 1A

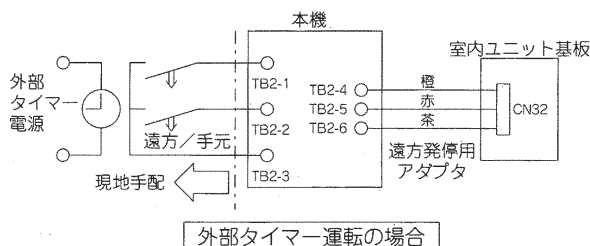
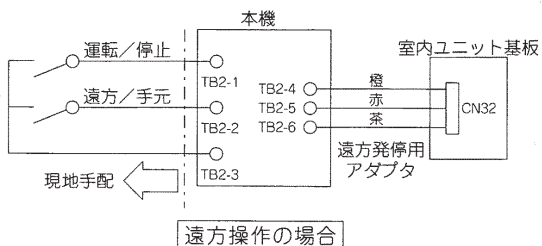
3.外部入力機能

- 本機の外部入力端子 (TB2-1~3) から空調機の運転/停止や遠方操作/手元操作の切換え制御などが行なえます。
- 行ないたい制御内容によって、DIP SW1の設定が必要となりますので、5 初期設定方法 の項を参照に設定してください。
- 各モードにおいて、外部入力指令が出力されてから室内ユニットの状態が変化し、本機の接点信号が出力されるまでに2~3秒の時間の遅れがあります。

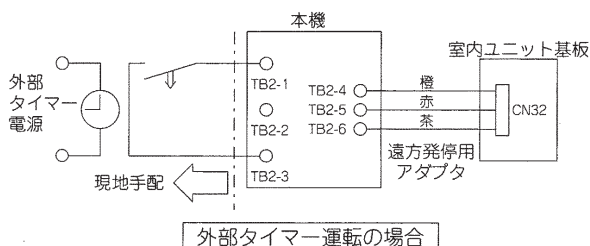
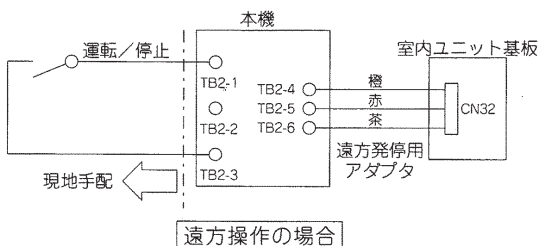
- ① 常時、遠方操作または外部タイマーからの運転/停止を行ないたい場合。DIP SW1はモード0に設定します。
(5 初期設定方法 参照)



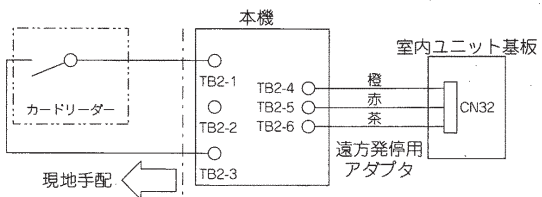
- ② 遠方操作または外部タイマーからの運転/停止と、手元リモコンからの運転/停止を使い分ける場合。
DIP SW1はモード1に設定します。(5 初期設定方法 参照)



- ③ 遠方操作または外部タイマーと手元リモコンを併用して、発停操作を後押優先で行ないたい場合。
DIP SW1はモード2に設定します。(5 初期設定方法 参照)



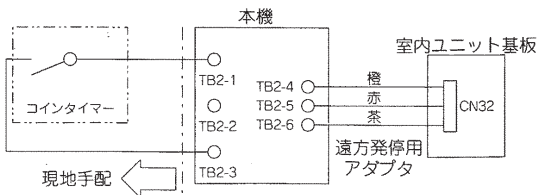
- ④ カードリーダーと連動させたい場合。DIP SW1はモード3に設定します。(5 初期設定方法 参照)



カードリーダーがONすると、空調機の手元リモコン操作許可状態になり、OFFすると空調機停止で、手元リモコン操作禁止状態になります。

お願い カードリーダーの接点は無電圧a接点を使用してください。また、カードリーダー用の電源は別途設けてください。

- ⑤ コインタイマーと連動させたい場合。DIP SW1はモード4に設定します。(5 初期設定方法 参照)



コインタイマーがONすると、空調機運転で手元リモコン操作許可状態になり、OFFすると空調機停止で、手元リモコン操作禁止状態になります。

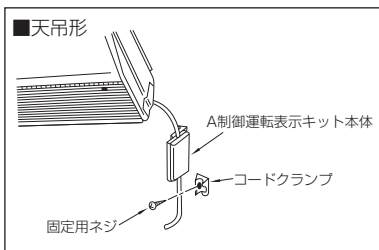
お願い コインタイマーの接点は無電圧a接点を使用してください。また、コインタイマー用の電源は別途設けてください。



A 制御運転表示キット

● PAC-SF40RM

使用目的 / 用途



- “A 制御運転表示キット” を使用して、離れた場所で運転・異常信号の取出しと外部信号による運転／停止が可能です。
- 本表示キットはワイヤレスリモコンとの併用はできません。

注意

・A 制御運転キット内の接点入力専用端子には、電圧は投入しないでください。

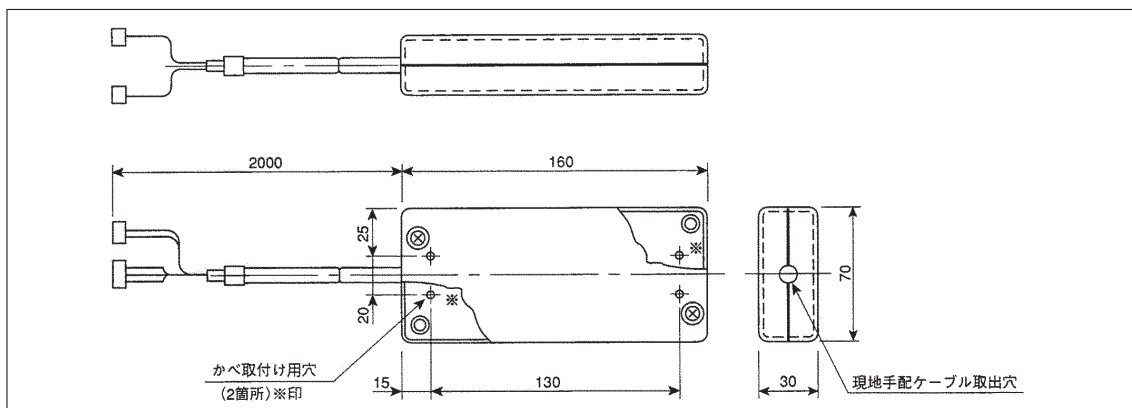
対象ユニット

- A 制御機種 (MPKH-RP・KAL3 を除く)

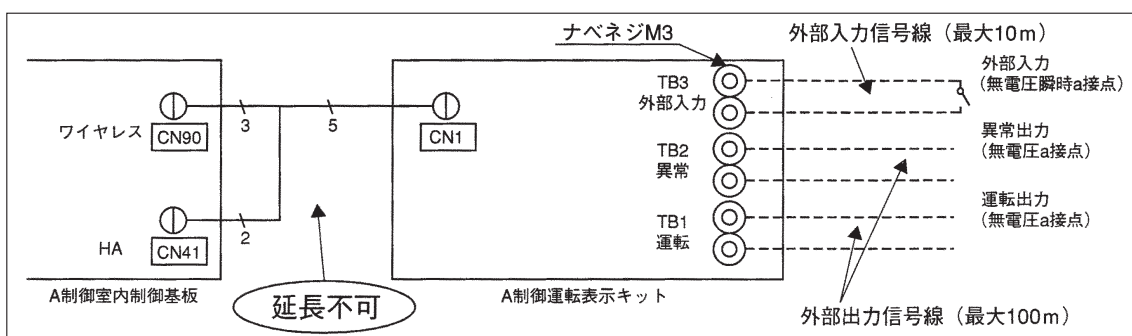
仕様

形名	PAC-SF40RM		出力信号	無電圧 a 接点 (リレー接点方式)
電源	室内ユニットから受電		接点点数	2 点 (運転・異常)
外形寸法	160 × 70 × 30mm		接点容量	AC200V (DC30V) ・ 1A 以下
外装	材質	ABS 樹脂	接点最小負荷	10mA
	色	グレー	入力信号	パルス (無電圧瞬時 a 接点) 信号、パルス幅: 200ms 以上
	マンセルNo	3.07Y6.16/0.33	接点点数	1 点 (発停)
質量	200g		線種	CV、CVS またはこれら相当のシース付ビニルコード・ケーブル
使用環境条件	温度	屋内専用: 0 ~ 40℃		線径
	湿度	屋内専用: 35 ~ 85% RH (結露なきこと)	配線距離	出力信号線: 最大 100m 入力信号線: 最大 10m (10m を超える場合は中継用リレーを使用してください)
室内ユニット接続線	コネクタ付 (9 極・4 極) の 5 芯 (3 芯 + 2 芯ケーブル)		入力信号	パルス (無電圧瞬時 a 接点) 信号、パルス幅: 200ms 以上

外形図 (単位: mm)



電気配線図



MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン A制御運転表示キット PAC-SF40RM 据付説明書

適用

- ・本表示キットはパッケージエアコンA制御機種用です。
- ・本表示キットはワイヤレスリモコンとの併用はできません。
- ・本表示キットはPDH機種等での漏水異常は表示できません。

1. 安全のために必ず守ること

⚠ 注意

本機を据付ける付近の温度が40℃を越える場所、0℃未満の場所、または直射日光の当たる場所には据付けない。変形、故障の原因になることがあります。

浴室など大量の湯気が発生するところには据付けない。水のかかる場所、結露する場所には据付けないください。感電、故障の原因になることがあります。

2. 部品の確認

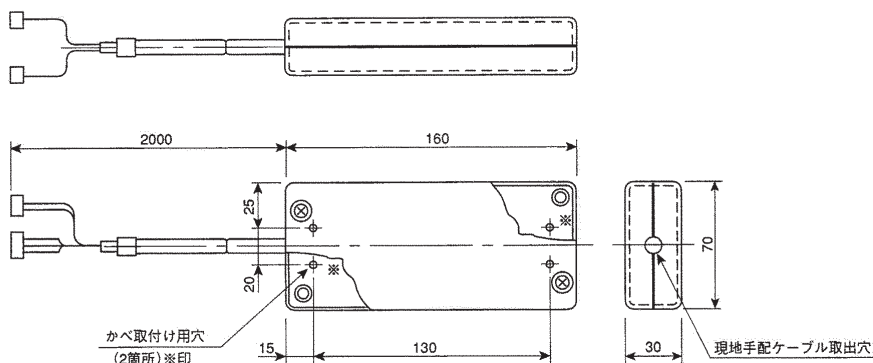
(1) 付属部品

構成部品	数量	構成部品	数量	構成部品	数量
① 運転表示キット本体 (室内ユニット接続線2m付き)	1	④ ③の固定用ネジ 3.5×12 (黒)	4	⑦ コードクランプ	5
② コードクランプ (現地手配ケーブルが太く、本体内のクランプが小さい場合、ご使用ください。)	1	⑤ クッション材 (両面粘着剤付き)	1	⑧ ⑦の固定用ネジ 3.5×12 (黒)	5
③ 壁面固定用金具	1	⑥ ファスナー (リード線まとめ用)	5	⑨ 本体固定用ネジ 3.5×12 (黒)	2

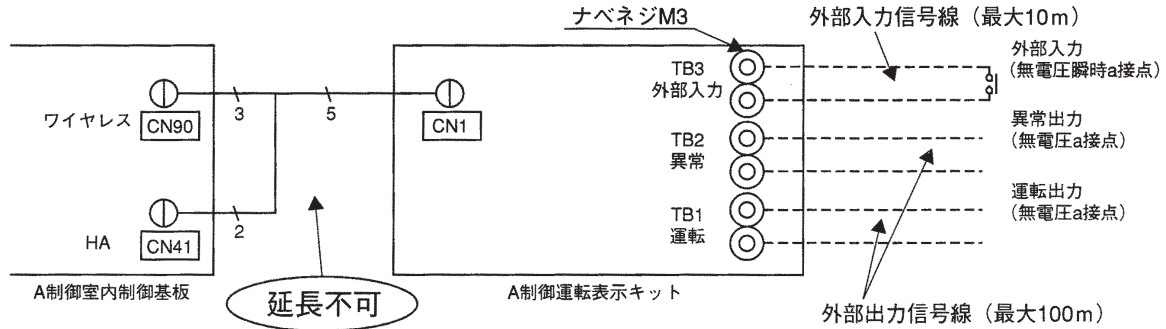
(2) 現地手配部品

項目	品名	形名・仕様
外部出力機能	外部出力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類 CV, CVSまたはこれらに相当するもの 電線サイズ 燃線0.5mm ² ~1.25mm ² 単線φ0.65mm~φ1.2mm
	表示ランプ等	無電圧a接点AC200V(DC30V), 1A以下
外部入力機能	外部入力信号線	シース付きビニルコードまたはケーブルをご使用ください。 電線の種類 CV, CVSまたはこれらに相当するもの 電線サイズ 燃線0.5mm ² ~1.25mm ² 単線φ0.65mm~φ1.2mm
	スイッチ	無電圧瞬時a接点 (200ms以上のパルスを入力することにより、運転⇄停止が切り替わります。)

3. 外形寸法図



4. 配線方法



△注意

- 1) TB3は接点入力専用端子です。電圧は投入しないでください。室内制御基板の故障の原因となります。
- 2) 室内機との接続ケーブルは必ず付属の接続ケーブルを用い、延長などの改造は絶対に行わないようにしてください。外来ノイズ等の影響を受けやすく、誤動作する可能性があります。延長が必要な場合は、6.製品の仕様に記載の仕様表に従って外部信号線を延長してください。

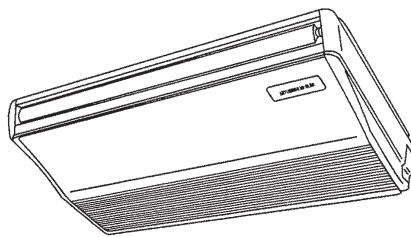
《室内ユニット側の接続》

- ① 外部出力機能を使用する場合・・・室内制御基板上のCN90に、付属のケーブルの9極コネクタ（3芯）側を差し込みます。
 - ② 外部入力機能を使用する場合・・・室内制御基板上のCN41に、付属のケーブルの4極コネクタ（2芯）側を差し込みます。
- ※コネクタには方向性があります。ご確認の上間違いのないよう正しく差し込んでください。
決して無理に押し込まないでください。破損等の原因となります。

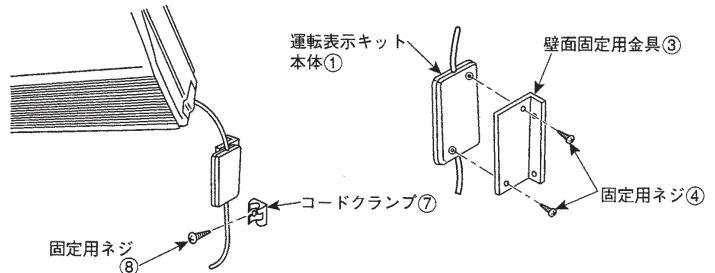
5. 据付方法

運転表示キット本体の取付けは①固定用金具を用いる、②直接取付ける、③クッション材を用いる、の3通りがあります。

(1) 据付け例1〔天吊り型〕



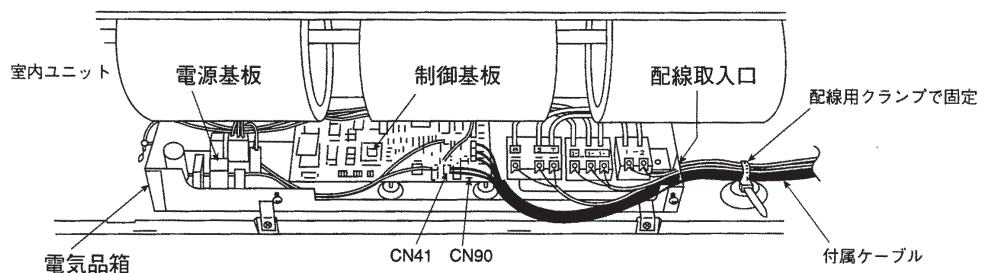
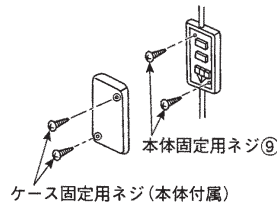
① 壁面固定用金具にて取付ける場合



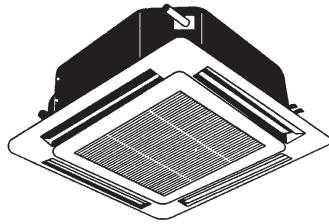
△注意

- 1) 運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁等に固定金具を使って固定してください。
- 2) 取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑥によりとりまとめてください。

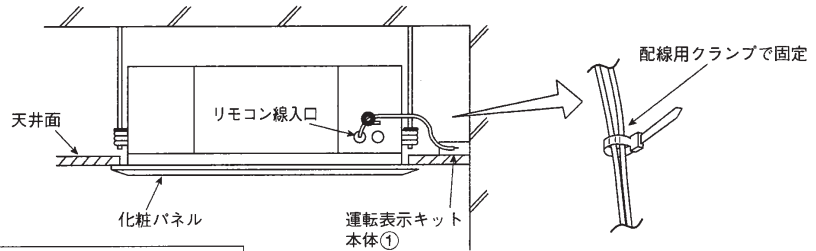
② 壁面に直接取付ける場合



(2) 据付け例2〔カセット型〕



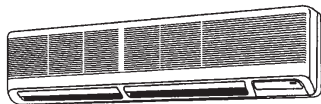
① 天井面内に取り付ける場合



⚠ 注意

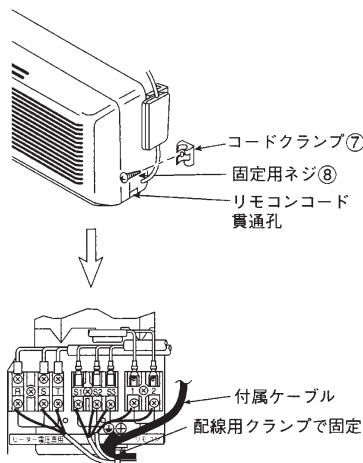
- 1) 運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて天井面内に固定してください。
- 2) 取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑥によりとりまとめてください。

(3) 据付け例3〔壁掛け型〕

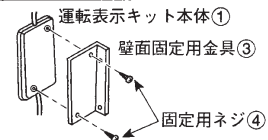


⚠ 注意

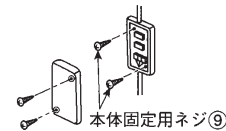
- 1) 運転表示キット本体を取付ける場合には、サービスできるように点検口を設けて柱・壁等に固定してください。
- 2) 取回しにより、たるみが生じたリード線はファスナー⑥によりとりまとめてください。



① 壁面固定用金具にて取付ける場合



② 壁面に直接取付ける場合



③ クッション材にて取付ける場合



6. 製品の仕様

・仕様表

項目	仕様
電源	パッケージエアコン室内機から受電
外形寸法〔長さ×奥行き×高さ〕	160×70×30 (mm)
使用環境条件	0~40℃ 35~85%RH (保存は30~90%RH) 屋内専用
信号線	燃線0.5mm ² ~1.25mm ² 単線φ0.65mm~φ1.2mm
信号線配線距離	外部出力: max100m 外部入力: max10m (10mを越える場合は、中継用リレーを使用してください。)
室内ユニット接続線	5芯 (3芯+2芯)
製品質量	200 g

・入力仕様

項目	内容
入力点数	1点
入力信号	パルス (無電圧接点)
パルス規格	<p>閉</p> <p>開</p>

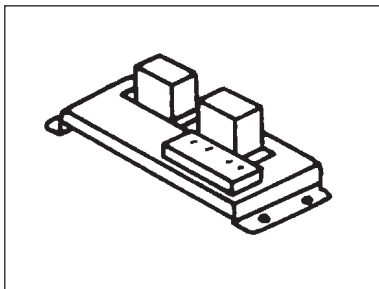
・出力仕様

項目	内容
出力点数	2点
出力方式	リレー接点方式
出力接点 定格	電圧 DC30V, AC200V 電流 1A
出力接点 最小負荷	10mA

遠方表示リレーキット

● PAC-SA86SK

使用目的 / 用途



- “遠方表示リレーキット” は、遠方より各空調機の一括運転・停止操作及び各空調機のリモコン操作への切換え等をする為の部品です。
- 本部品は遠方表示リレーキット (PAC-SA85HK) の機能増設部品です。遠方表示リレーキット (PAC-SA85HK) と併用となります。

注意

- ・ 遠方表示用アダプターは室内制御基板より最長 2m です。

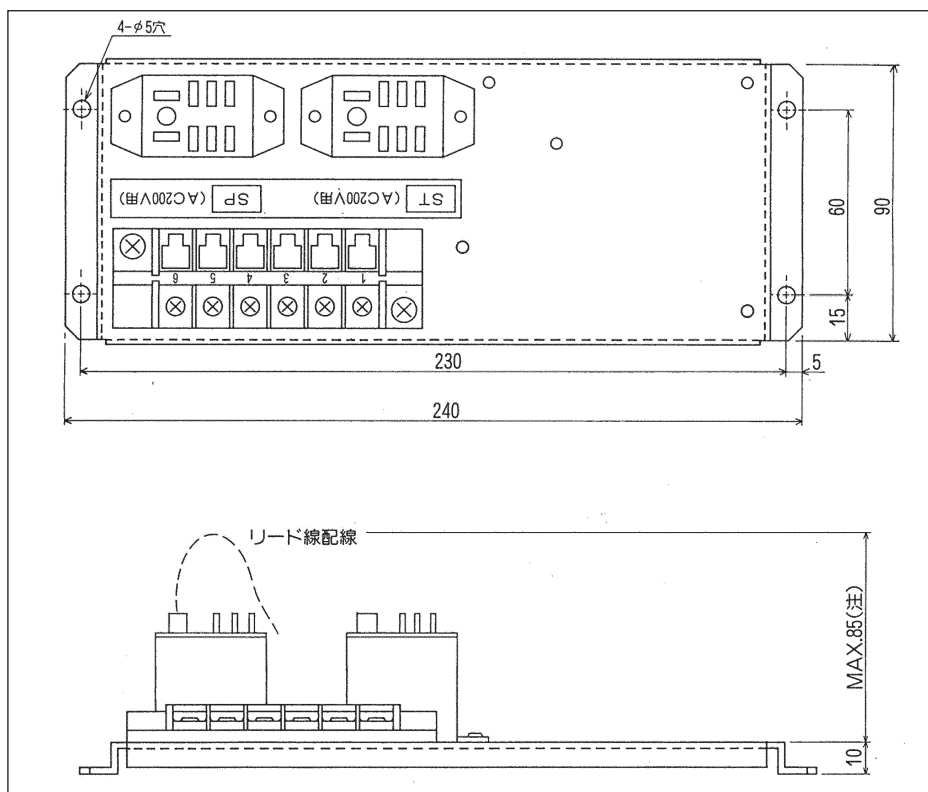
対象ユニット

- A/K 制御機種 (MPKH-RP・KAL3 を除く)

仕様

形名	PAC-SA86SK
機能	遠方より各ユニットの一括 ON/OFF 操作及び、各ユニットのリモコン操作への切替え機能を持ちます。

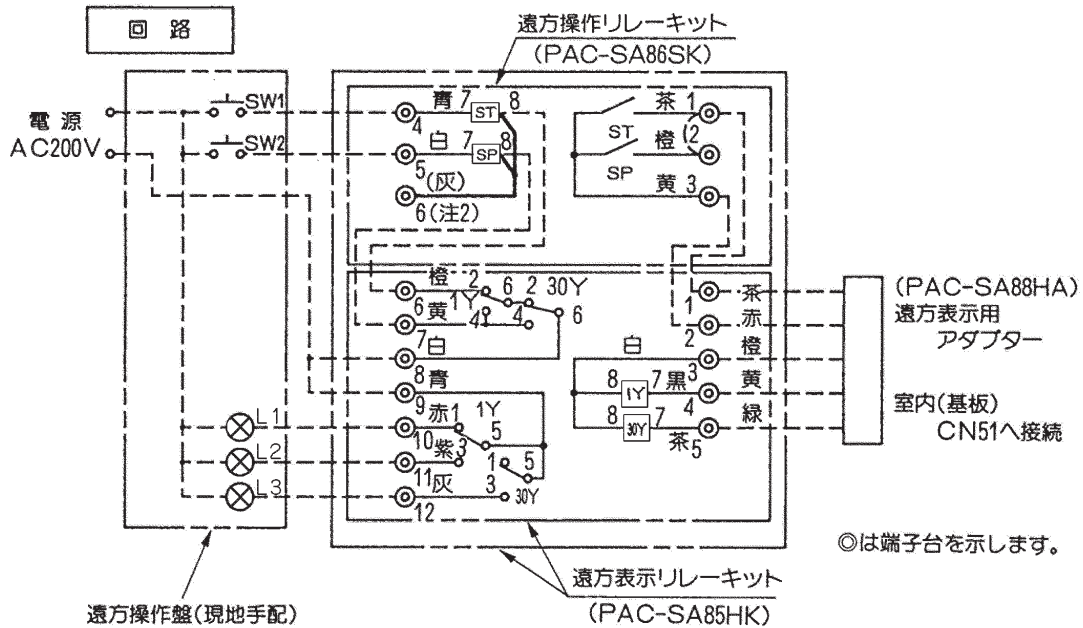
外形図 (単位: mm)



遠方表示リレーキット

● PAC-SA86SK

電気配線図



記号説明

記号欄の〈 〉は現地手配部品

記号	名称	記号	名称
ST	補助継電器 (AC200V)	30Y	補助継電器 (DC12V)
SP	補助継電器 (AC200V)	〈L1〉	表示灯 (停止)
〈SW1〉	スイッチ (運転)	〈L2〉	表示灯 (運転)
〈SW2〉	スイッチ (停止)	〈L3〉	表示灯 (点検)
1Y	補助継電器 (DC12V)		

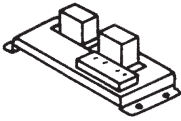


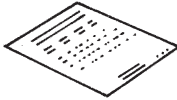
- 注1. 遠方操作リレーキットを使用する場合、遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)が、必要となります。(その他の部品は、現地手配部品となります。)
2. 上記回路は、遠方操作リレーキットと遠方表示リレーキットの両方の機能を使用される場合の配線です。(この場合、——(太実線)部の配線は、取外してください。)
3. - - - (破線)部は、現地での配線となります。
4. 遠方表示用アダプターは、室内(基板)より最長2mです。延長すると誤動作すると誤動作することがありますので、延長はしないでください。

MITSUBISHI

三菱空調管理システム 別売部品
取付説明書

形名 PAC-SA86SK : 遠方操作リレーキット

1 この箱の中には、この説明書の他に下記部品が入っていますので、ご確認ください。

① 基板	② タッピンネジ	③ 配線図(ラベル)	④ 取扱説明書
			[参考用] 
1セット	(4×12) 4本	1枚	(A2版) 1枚

2 この部品は、機能増設用部品です。

遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)に増設し、ご使用ください。

なお、取付要領等は、付属の取扱説明書④をご参照ください。

3 機能説明

(1) PAC-SA86SK……遠方より各ユニットの一括ON・OFF操作及び、各ユニットのリモコン操作への切替え機能を持ちます。

4 ・「PAC-SA85HK」に上記機能を組合せて、さらに多機能な制御システムとして、ご使用ください。

・組合わせ配線図及びシステム例は、付属の取扱説明書④に記載してありますので、そちらをご参照ください。

※取付け完了後、配線ラベル③をPAC-SA85HKのカバー(板金)の裏面に貼付けてください。

 三菱電機株式会社

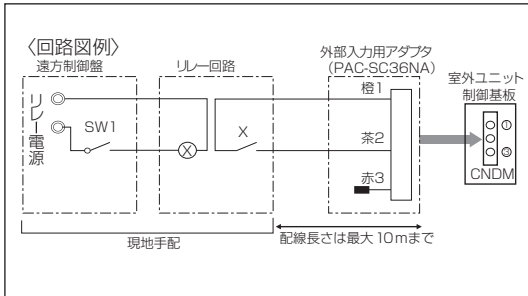
KA79C029H01

(本マニュアル用に変更・修正しています)

外部入力用アダプター

● PAC-SC36NA

使用目的 / 用途



- 本品は外部入力により低騒音優先モード・デマンド制御を行う場合にリレー回路と室外ユニット制御基板を接続するためのアダプターです。
- 接続用電線以外の部品（タイマー、スイッチ、リレー等）はすべて現地手配となります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板からの配線の長さは 10m 以内としてください。

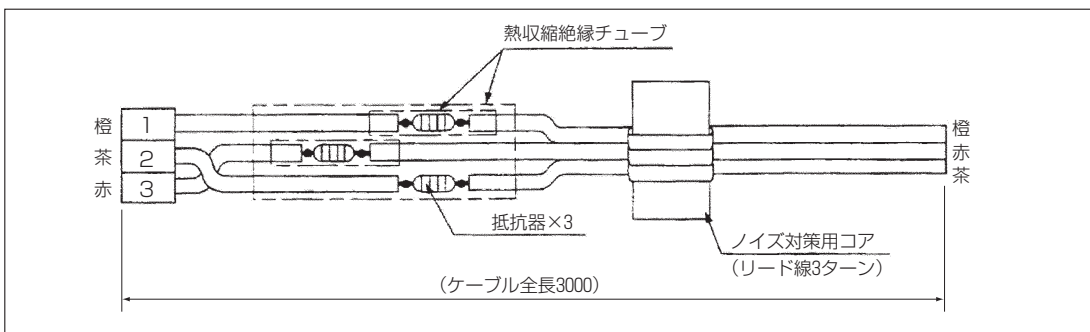
対象ユニット

- MPUZ-ERP40 ~ 112HA7
- MPUZ-ERP140 ~ 280KA
- MPUZ-HRP80 ~ 160HA7
- MPU(Z)-RP40 ~ 280HA7

仕様

品名	PAC-SC36NA
機能	デマンド制御、低騒音優先の信号を室外ユニット制御基板へ入力
入力信号	無電圧接点 (ON/OFF レベル信号)
コネクタ	3P (室外ユニット制御基板 CNDM、CN3D、CN3S コネクタへ接続)
線種	3 芯ケーブル (配線を延長する場合： シース付ビニルコードまたはケーブル 0.5 ~ 1.25mm ²)
線長	3 m (現地配線延長により最長 10 m)

外形図 (単位: mm)



電気配線図

低騒音優先モード・デマンド機能(現地工事)

市販のタイマー、またはON-OFF 切替スイッチの接点入力を室外制御基板上のCNDM コネクタ(別売接点デマンド入力)に追加することにより、低騒音優先モードおよびデマンド機能を設定できます。

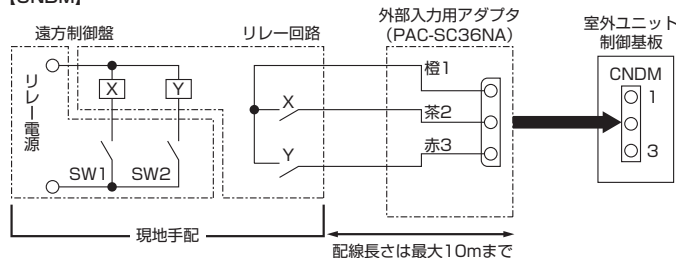
・低騒音優先モードに設定することで、室外ユニットの運転音が通常時より約3~4dB低減します。

※外気温度条件等によっては能力が不足することがあります。

・デマンド機能を設定することで、消費電力を通常の0 ~ 100% の範囲で低減します。

〈回路図例〉

[CNDM]



SW1: 下表による
SW2: 下表による
X, Y: リレー (接点定格 DC15V 0.1A以上)
(最小適用不可 DC5V 1mA以下)

- ①別売「外部入力用アダプター(PAC-SC36NA)」を使用し、上図のような回路を組みます。
- ②室外制御基板SW7-1の切替により、低騒音優先モードとデマンドを選択します。
- ③デマンド機能は下表の組合せて消費電力(定格比)に制限を設定することができます。

	室外制御基板SW7-1	SW1	SW2	機能
低騒音優先モード	OFF	ON	—	低騒音優先モード作動
		OFF	OFF	100% (通常)
デマンド	ON	ON	OFF	75%
		ON	ON	50%
		OFF	ON	0% (停止)

MITSUBISHI

三菱電機ビル空調管理システム 別売部品 形名 PAC-SC36NA

外部入力用アダプター説明書

1. 概要

この部品はエアコンをデマンド運転、サイレントモード・ナイトモード運転、スノーセンサ等に取り付けるタイマー回路またはスイッチ回路と、室外マルチボードまたは室外制御基板とを接続するためのアダプターです。外部回路(現地配線)の接続方法により、いろいろな運転形式がとれます。〔アダプターの線長は3mです。〕

適用機種

MPUZ-ERP40~112(S)HA7、140~280KA
MPUZ-RP40~280(S)HA7
MPUZ-HRP80~160HA7 以降

2. 現地手配部品

接続用電線以外の部品(タイマー、スイッチ、リレー等)はすべて現地手配となります。

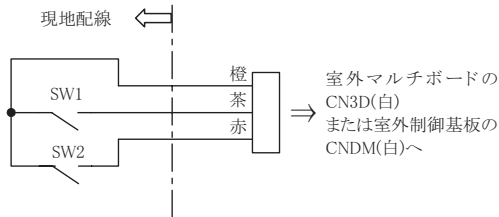
- 部品仕様 (1)タイマー.....無電圧接点出力タイマー(電源回路とスイッチ回路が別回路のもの)
(例)TSQ-1DKP(三菱)、H2E デイリータイマー(オムロン)
(2)スイッチ.....単極単投スイッチ (注)タイマー及びスイッチの接点にはDC5V、1mA程度の負荷しかかかりません。できる限り微小電流用接点のものを選定してください。
(3)中継用リレー.....(例)MY-2Z(オムロン) (注)4項「配線上の注意」による配線工事のとき使用します。

3. 現地配線方法

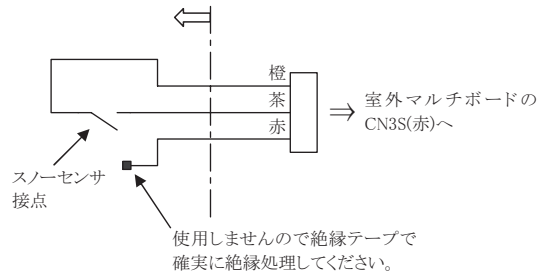
基本的な接続方法と動作

この外部入力用アダプターは現地配線側の接続回路方法により、デマンド運転、サイレントモード・ナイトモード運転、スノーセンサ等の運転操作ができます。

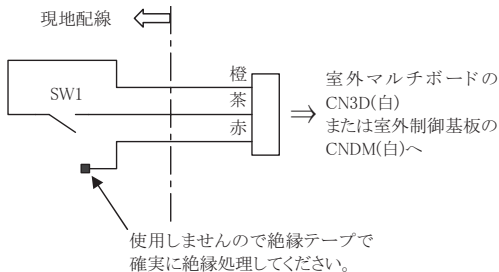
(1)デマンド運転をする場合



(3)スノーセンサを取り込む場合(****のみ)



(2)サイレントモード・ナイトモード運転をする場合

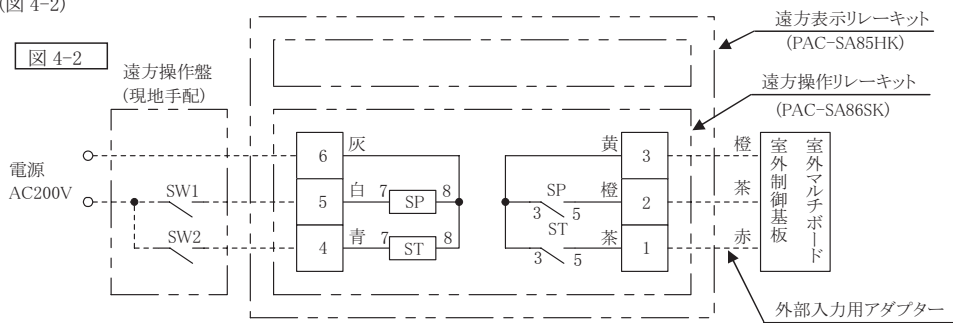
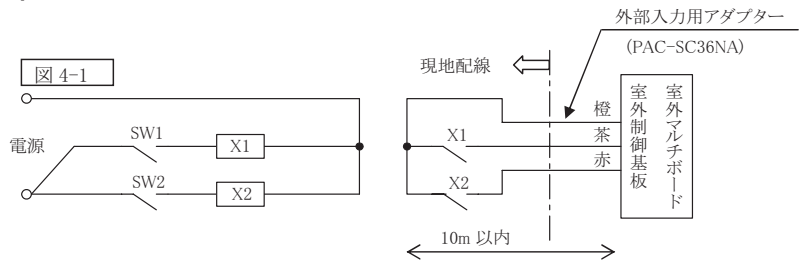


	室外マルチボード* SW8-1 または室外制御基板 SW7-1	SW1	SW2	機能
デマンド制御	ON	OFF	OFF	100%(通常)
		ON	OFF	75%
		ON	ON	50%
		OFF	ON	0%(停止)
サイレントモード ナイトモード	OFF	ON	-	サイレントモード作動

4. 配線上の注意

室外マルチボードまたは室外制御基板からの配線の長さは10m以内としてください。特に遠方操作等で配線を延長する場合は中継用リレーを使用してください。(図4-1)

なお、中継用リレーの代わりに遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)および遠方操作リレーキット(PAC-SA86SK)の使用が可能です。(図4-2)



注. 詳細は、遠方表示リレーキット(PAC-SA85HK)、遠方操作リレーキット(PAC-SA86SK)の取扱説明書を御覧下さい。

WT02681X01

A 制御サービス点検キット

● PAC-SG50ST

使用目的 / 用途



- “A 制御サービス点検キット” は、デジタル表示 LED に 2 桁の数値及び記号で、運転状態及び点検コードの内容を確認することができる部品です。
- 室外制御基板上のコネクタ CNM に本品を接続します。
- 本品内のディップスイッチ SW2 を操作し、表示内容を切り替えます。

注意

- ・通信異常が発生している場合には、ワイヤーリモコンと本品の表示が一致しない（またはリモコン表示しない）場合があります。

対象ユニット

- MPUZ-ERP40 ~ 112HA7
- MPUZ-ERP140 ~ 280KA
- MPUZ-HRP80 ~ 160HA7
- MPU(Z)-RP40 ~ 280HA7

仕様

品名	PAC-SG50ST
電源	DC5V（室外制御基板より供給）
使用環境条件	温度 -20 ~ 60℃、湿度 90% RH 以下（結露なきこと）
外形寸法	69(W) × 91(H) × 27(D)mm ※リード線は除く
質量	0.05kg

取扱説明

<表示ツール取付説明>

BG79P264H02

※表示ツールの脱着は、必ず電源を切って行なってください。

①.本表示ツールのコネクタを室外制御基板上のコネクタ「CNM」に接続します。

②.表示ツール上のディップスイッチSW2を操作することにより、デジタル表示発光ダイオードLED1に 2 桁の数値及び記号で運転状態及び点検コードの内容を知ることができます。

③.ご使用の後は、忘れずに表示ツールを室外制御基板から取り外してください。

※表示ツールのコネクタはロック機構付となっております。

コネクタの脱着時には、コネクタのロックングレバーを指で押した状態で行なってください。

SW2 設定	表示内容	SW2 設定	表示内容
123456		123456	
000000	運転モード / 異常コード	001100	異常時の吐出温度
100000	配管温度 (TH3)	101100	異常時の圧縮機運転電流
010000	吐出温度 (TH4)		
110000	FAN ステップ	011100	異常コード履歴 (1) 最新
001000	圧縮機 ON/OFF 回数	111100	異常コード履歴 (2)
101000	圧縮機運転積算時間	001010	室内 1 配管温度
011000	圧縮機運転電流	101010	室内 2 配管温度
100100	異常猶予コード	011010	室内 3 配管温度
010100	異常時の運転モード	111010	室内 4 配管温度
110100	異常時の配管温度		

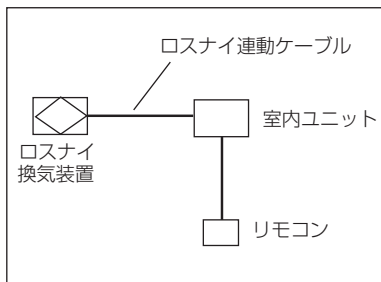
※ SW2 の設定は 0 : OFF、1 : ON を表しています。

※ ON/OFF 回数は 125 回、積算時間は 10h 単位となります。

ロスナイ連動ケーブル

● PAC-SB81VS

使用目的 / 用途



- “ロスナイ連動ケーブル” は、室内ユニットとロスナイを連動する際に使用する部品です。
- ロスナイ換気装置の連動・単独運転・風量切換ができます。
※接続可能なロスナイは、マイコンタイプに限ります。

注意

- ・ロスナイと連動する場合、リモコンから機能選択が必要です。
- ・ロスナイ連動ケーブルは最大 500m まで延長可能です。

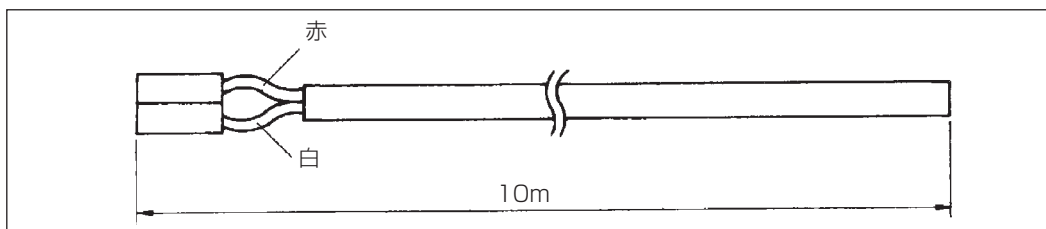
対象ユニット

- A 制御機種 (MPKH-RP・KAL3 を除く)

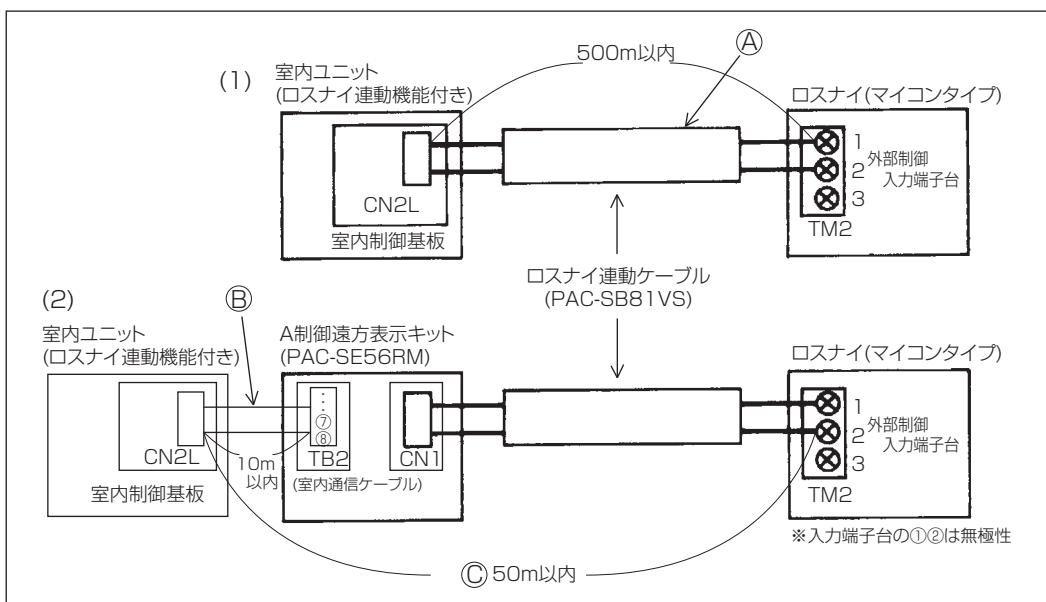
仕様

品名	PAC-SB81VS	
線種	2 芯シース付ビニールケーブル 2P コネクタ付	
線長	10 m	
最大延長	①	500 m以内 (延長ケーブル仕様: シース付ビニールコード、またはケーブル 0.5 ~ 0.75mm ²)
	②	10 m以内 (室内通信ケーブル PAC-SE56RM 付属品)
	③	50 m以内

外形図



電気配線図



ロスナイ連動ケーブル用配線要領書

1.配線要領

(1)室内ユニット（または遠方表示キット）との接続

- ・ロスナイ連動ケーブルのコネクタ側をスリムK制御室内基板（ロスナイ連動機能付き）、またはスリムA制御室内制御基板のCN2Lに接続します。
- ・A制御遠方表示キット(PAC-SE56RM)と接続する場合は、A制御遠方表示キットのCN1にコネクタ側を接続します。

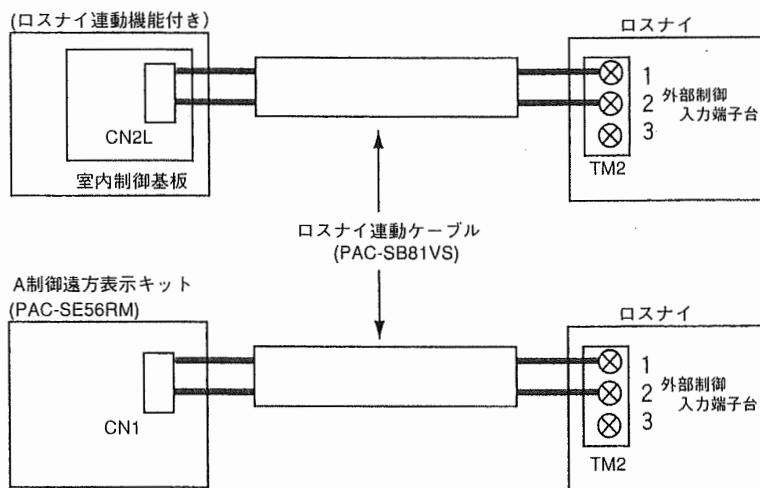
お知らせ 同時ツイン・トリプルの場合は必ず主機（1号機）と接続してください。
また、新ワイドリモコンが必要となります。

(2)ロスナイ（マイコンPタイプ）との接続

- ・ロスナイ連動ケーブルのリード線側をロスナイ外部制御入力端子台1・2に接続します。
（このとき、入力端子台の1・2は無極性）

お知らせ マイコンPタイプ以外のロスナイとは接続できません。

室内ユニット（スリムK制御、スリムA制御）



2.配線上の注意

- ・本品は10mです。
- ・ロスナイ連動ケーブルの延長
ロスナイ連動ケーブルを延長する場合は、確実に接続し接続部の絶縁処理をおこなってください。
（延長ケーブルの仕様：シース付ビニールコード、またはケーブル0.5~0.75mm²）
- ・ロスナイ連動ケーブルの延長制限
スリムK制御の場合：500m
スリムA制御の場合：50m
- ・A制御遠方表示キットを接続する時の、ケーブルの総延長制限
室内ユニット① A制御遠方表示キット② ロスナイ：①+② ≤50m
- ・ロスナイ連動ケーブルと電源線（100V,200V系）は、誤動作防止のため接触させないように配線してください。（5cm以上離して配線します。）

*配線は、「電気設備技術基準」・「内線規程」などに基づき法令の規程に合った正しい工事をする事。

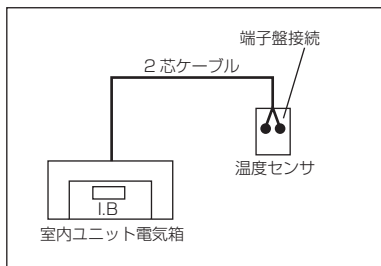
3.ディップスイッチ、機能選択の設定

- ・A制御機種の場合
リモコン(PAR-S25A)にて機種設定が必要です。内容はリモコンの据付工事説明書をご参照ください。
- ・K制御機種の場合
室内ユニットとダクト接続する場合は、室内ユニット制御基板上のディップスイッチSW5の4番をONとしてください。

温度センサ

● PAC-SE40TS

使用目的 / 用途



- “温度センサ” を室内ユニットの吸込口センサと差し替えて外付けとし、室温検知位置を変更することができます。
- 室内ユニット基板上的コネクタ (CN20) と接続します。

注意

- ・本品を設置した場合、リモコンの機能選択で暖房時設定温度 4deg アップ設定を解除してください。

対象ユニット

- A/K/M-NET 制御機種 (MPKH-RP・KAL3 を除く)

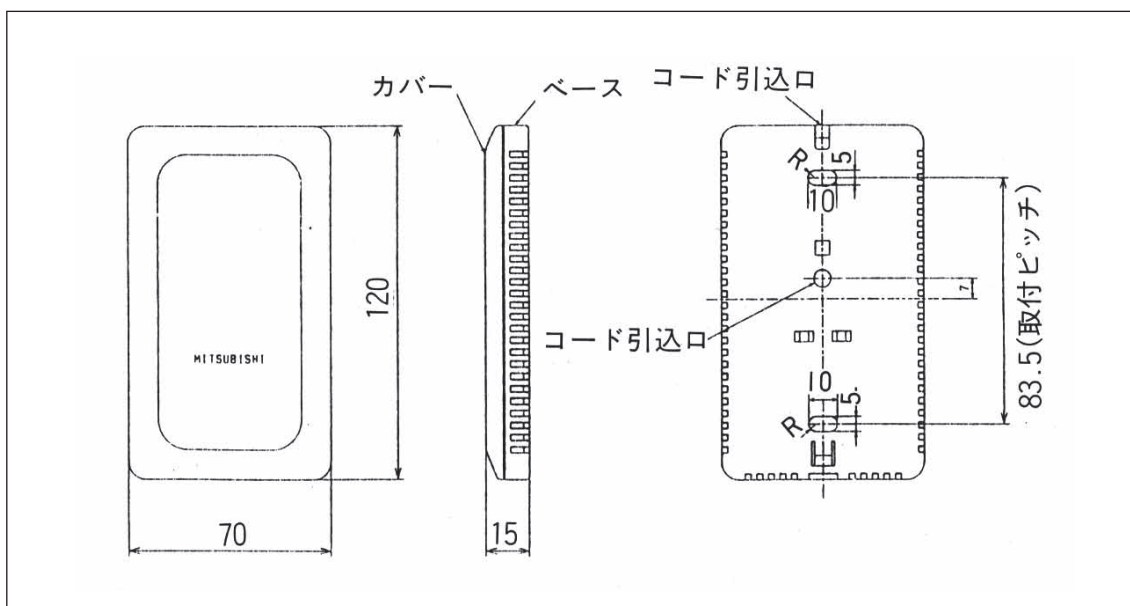
仕様

品名	PAC-SE40TS	外形寸法	120(H) × 70(W) × 15(D)mm
外装	色	ホワイトグレー	環境使用条件
	マンセルNo	4.48 Y 7.92/0.66	温度 - 20 ~ 65℃、湿度 30 ~ 90% RH (結露なきこと)
	材質	ABS樹脂	据付方法
		付属品	1 個用スイッチボックス (JISC8340) に取付、または壁に直付 2 芯ケーブル 12 m・接続用ポスト付コネクタ・取付ネジ 2 本

環境用計測コントローラーとの組み合わせの場合

温度計測範囲	- 20 ~ 65℃		
計測分解能	10 ~ 35℃	0.1℃単位	左記以外 0.5℃単位

外形図 (単位: mm)



MITSUBISHI

三菱電機 **ビル** 空調管理システム

KG79C394H03

温度センサ PAC-SE40TS 取付説明書

1 安全のために必ず守ること

△注意

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

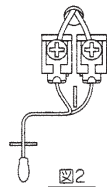
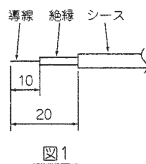
2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

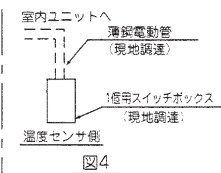
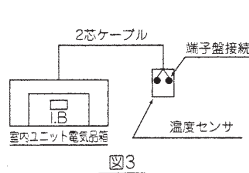
- (1) 温度センサ本体 1
- (2) 2芯ケーブル (12m) 1
- (3) 木ネジ 4.1×16 2
- (4) 接続用ホスト付きコネクタ 2

3 据付方法

- (1) 温度センサ (スイッチボックス) の据付位置を決めてください。但し、下記の事項を必ず守ってください。
 - ① 温度センサは、部屋の平均的な温度を検知できる場所で直射日光や熱源、エアコンの吹出空気が直接当たらない所をお選びください。
 - ② 付属ケーブル (12m) 以内で設置してください。(延長はできません。ノイズによる誤動作の原因になります。)
 - ③ 下記の部品は、現地にて調達してください。
 - 十字穴付ナベネジ M4.....2本
 - 1個用スイッチボックス (JIS C8336)
 - 薄壁電線管 (JIS C8305)
 - ロックナット・プッシング (JIS C8340)
- (2) ケーブルを接続します。
 - 2芯ケーブルを下ケースの端子台に接続します。
 - 2芯ケーブルは図1のように被覆をはがし、図2を参照して正しく配線してください。



- 室内ユニットの電気品箱と温度センサとの配線は、図3の様になります。2芯ケーブルの電気品箱への接続には、3種類あります。
 - ① 2芯ケーブルの端についているコネクタをそのまま使用する場合
 - ② 2芯ケーブルの端についているコネクタを切断して、IB (インポートボード) 内の端子台に接続する場合
 - ③ 付属の接続用ホスト付コネクタを使用する場合
 上記3種類を使用する室内ユニットに応じて使い分けて使用してください。また、2芯ケーブルを壁埋込にする場合は図4の様になります。



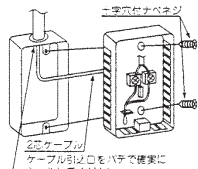
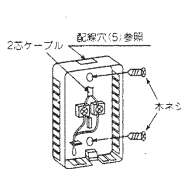
- (3) 下ケースを壁またはスイッチボックスの取付けます。

△注意

- ネジを締めすぎると、ケースの割れ・変形の原因になります。

お知らせ

- 2芯ケーブルを端子台に付ける時の推奨締めトルクは12kg・cmです。



壁に取付ける場合

スイッチボックスに取付ける場合

△注意

平らな壁に据付けてください。凹凸のある壁に取付けますと、ケース割れや故障の原因になります。

- (4) 上ケースにはめ込みます。

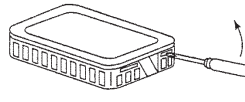


上部爪 (2ヶ所) を先に掛けて、左図にはめ込みます。

△注意

“パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

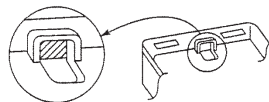
- (5) ケースを外したい場合、下図の様にマイナスドライバーを爪部分にはめ込み、矢印で示す方向に動かしてください。



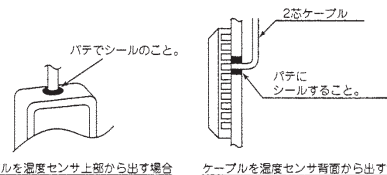
△注意

ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

- (6) 壁などに直接据付ける場合の配線穴
下ケースの薄肉部 (斜線部) をナイフ・ニッパーなどで切取ってください。端子台に接続した2芯ケーブルをここから出します。

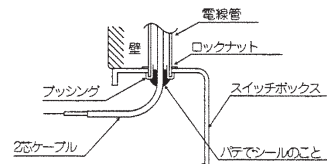


- (6) 露、水滴、ゴミ、虫等の侵入防止のためケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。
 - 壁に直接取付けた場合は下ケースの切取った部分をパテでシールします。
 - また、壁に穴をあけてケーブルを通す場合 (ケーブルを温度センサ背面から出す場合) その穴も同様にシールしてください。
 - スwitchボックスに取付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



ケーブルを温度センサ上部から出す場合 ケーブルを温度センサ背面から出す場合

壁に直接取付ける場合



スイッチボックスを使用する場合

4 室内ユニット設定

室内ユニットに温度センサを接続し、室温検知位置を変更した場合、下記のように室内ユニットの暖房時設定温度4degアップ設定を解除してください。

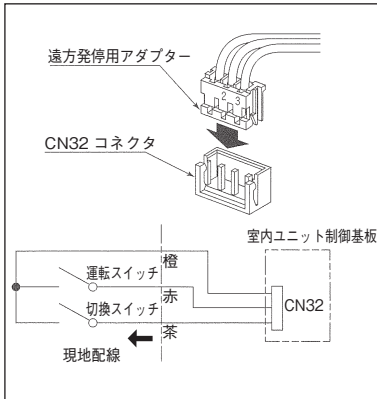
- ① K制御機種 : 室内ユニット制御基板内のディップスイッチSW1-6番 ON
- ② M-NET制御機種 : 室内ユニット制御基板内のディップスイッチSW3-8番 ON
- ③ A制御機種 : 本体IMのリモコンの機種選択で設定して下さい。

三菱電機株式会社

遠方発停用アダプター

● PAC-SE55RA

使用目的 / 用途



- “遠方発停用アダプター” は、外部回路（現地手配）によりエアコンを運転させる場合、外部回路と室内ユニット制御基板とを接続する為の配線部品です。
- 遠方からエアコンの運転 / 停止及びリモコンによる運転 / 停止操作の禁止・許可、市販タイマーとの発停をする場合にご使用ください。

注意

- ・ 室内ユニット制御基板からの配線の長さは 10m 以内にしてください。

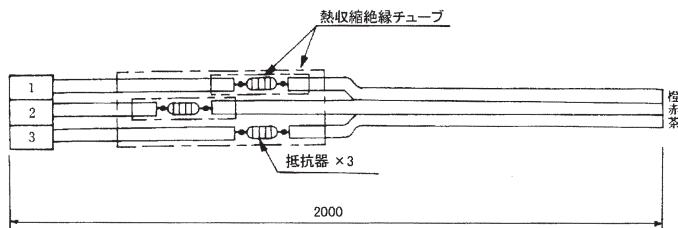
対象ユニット

- A 制御 / M-NET 制御機種（MPKH-RP・KAL3 を除く）

仕様

形名	PAC-SE55RA
機能	外部信号による ON/OFF 外部信号有効（リモコン運転禁止） / 外部信号無効（リモコン運転許可）の切換
入力信号	無電圧接点（ON/OFF レベル信号）
コネクタ	3P（室内ユニット制御基板 CN32 へ接続）
線種	3 芯ケーブル 配線を延長する場合：シース付ビニルコードまたはケーブル 0.5 ~ 1.25mm ²
線長	2 m（現地配線延長により最長 10 m）

外形図（単位：mm） / 電気配線図



		茶-橙 間 外部信号有効(リモコン禁止)/外部信号無効(リモコン許可) 切換	
		ON(外部信号有効)	OFF(外部信号無効)
赤-橙 間 外部信号による運転/停止	ON	ユニット運転 リモコンでの運転/停止操作のみ禁止	リモコンの操作で運転/停止
	OFF	ユニット停止 リモコンでの運転/停止操作禁止	

基本的な接続方法

SW1.....運転スイッチ

室内ユニットの運転/停止を行いません

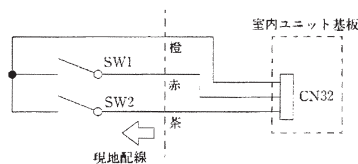
SW2.....切換スイッチ

運転/停止を外部回路で行なうかリモコン(*)

で行なうか切換します。

(*)システムコントローラ(集中コントローラ)

も含まれます。



スイッチの内容

SW2 : ONの場合

- リモコンから運転/停止はできません。
- 他操作(温度設定、風速切換等)はできます。

- SW1で運転/停止ができます。

SW2 : OFFの場合

- リモコンから運転操作ができます。

- SW1で運転/停止はできません。

MITSUBISHI

三菱電機 [ビル空調] フリープランシステム

遠方発停用アダプター PAC-SE55RA

取扱説明書

この部品は、外部回路（現地手配）によりエアコンを運転させる場合、外部回路と室内ユニット基板とを接続する為の配線部品です。外部回路との接続方法によりいろいろな運転形式がとれます。

例) タイマー運転、遠方操作運転等

また、安全のため、下記 (1) 安全のために必ず守ることをよくお読みのうえ、作業を行なってください。

1 安全のために必ず守ること

● 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付くもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財等の損害に結び付くもの。

● お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。移設・修理の時は工事される方にお渡しください。

⚠警告	
据付け、配線は販売店または専門業者に依頼する。 配線に不備があると、感電、火災等の原因となります。	電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」及び取扱説明書に従い施工する。 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因となります。
据付、配線工事は取扱説明書に従い行なう。 据付け、配線に不備があると、感電、火災等の原因となります。	お客様自身で移設しない。 据付け、配線に不備があると、感電、火災等の原因となります。 お買い上げの販売店または専門業者にご依頼ください。
配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する。 接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因となります。	異常時は運転を停止する。 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災等の原因となります。 異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。
改造、修理は絶対しない。 修理に不備があると、感電、火災等の原因となります。また、修理はお買い上げの販売店にご相談ください。	

⚠注意	
病院、通信事業者などで使用する場合は、ノイズに対する備えを充分に行なってから施工する。 外部回路からのノイズにより医療機器あるいは通信機へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの原因となることがあります。	付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光の当たる場所に据付け、配線は行なわない。 変形、故障の原因となることがあります。
可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への据付け、配線は行なわない。 ガスが漏れて本機の周囲に溜り発火の原因となることがあります。	浴室、厨房などの大量の湯気が発生する所に据付け、配線は行なわない。 壁が結露するような場所は避けてください。故障の原因となることがあります。
特殊環境には使用しない。 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能が著しく低下したり、部品が破損したりすることがあります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するとこへ据付け、配線は行なわない。 変形、故障の原因となることがあります。
配線は、電流容量、規格品の配線にて工事を行なう。 漏電や発熱、火災の原因となることがあります。	特殊用途に使用しない。 この製品は、三菱電機ビル空調フリープランシステム用です。他の空調管理あるいは別の用途には使用しないでください。誤動作の原因となることがあります。

2 部品確認

- 箱の中には、この説明書のほかに遠方発停用アダプター1本（2m）が入っていますのでご確認ください。
- 遠方発停用アダプター（PAC-SE55RA）以外の部品はすべて現地手配となります。

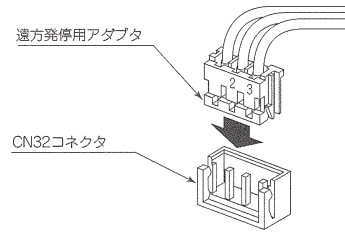
- ① 外部タイマー・・・無電圧接点出力タイマー（電源回路とスイッチ回路が別のもの）
（例）TSQ-1DKP（三菱）
H2Eオールディタイマー（オムロン）
- ② スイッチ・・・単極単投スイッチ

⚠注意 微小電流用接点の部品を選定すること。
タイマーおよびスイッチの接点にはDC5Vまたは12V、1mA程度の負荷しかかかりませんので、動作しなくなることがあります。

- ③ 中継用リレー・・・（例）LY-1F（オムロン）
(6) 配線上の制限による配線工事の時使用します。
- ④ 電線・・・遠方発停用アダプターの電線の長さは2mです。
配線を延長する場合、シース付ビニルコードまたはケーブルをご使用ください。
電線の種類・・・CVV,CVS,CPEV,またこれらに相当するもの
電線サイズ・・・0.5mm²～1.25mm²
お願い：配線の延長は10m以内としてください。

3 室内ユニット側の接続

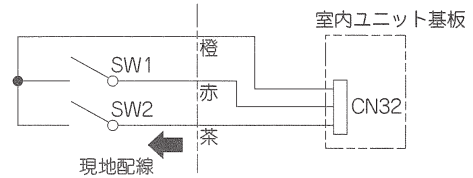
1. 室内ユニット基板上的コネクタCN32に接続します。
2. 遠方発停用アダプタのコネクタ側を差し込みます。
コネクタには方向性があり逆差し込みはできませんのでご注意ください。



4 現地配線方法

この遠方発停用アダプタは現地側の回路によりいろいろな運転操作ができます。
(例) 外部タイマー運転
遠方操作運転

1. 基本的な接続方法
SW1・・・運転スイッチ
室内ユニットの運転/停止を行ないます。
SW2・・・切換スイッチ
運転/停止を外部回路で行なうかリモコン(*)
で行なうか選択します。
(*) システムコントローラ(集中コントローラ)も含まれます。



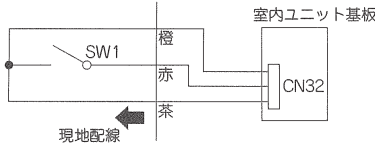
2. 各スイッチ内容(詳細は右表を参照ください)
SW2: ONの場合
●リモコンから運転/停止はできません。
他の操作(温度設定, 風速切換等)はできます。
●SW1で運転/停止ができます。
SW2: OFFの場合
●リモコンから運転操作ができます。
●SW1で運転/停止はできません。

		SW2	
		ON	OFF
リモコン	ON	運転/停止はできません	運転操作ができます
	OFF	運転	運転/停止はできません

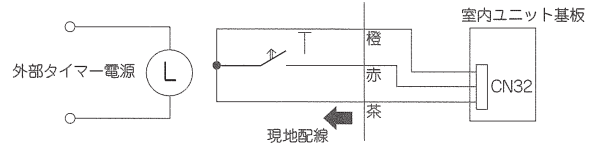
5 使用例

いずれの場合も運転指令が出てからユニットが運転するまで、5~6秒の時間の遅れがあります。

1. 遠方操作または外部タイマーのみで運転/停止を行ない、リモコンからの運転/停止を禁止したい場合。

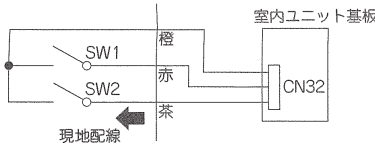


遠方操作の場合

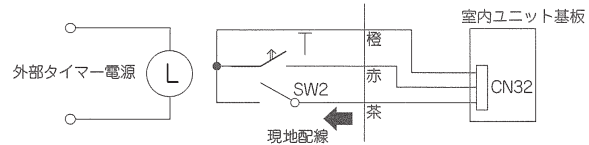


外部タイマー運転の場合

2. 遠方操作または外部タイマーによる運転/停止と、リモコンからの運転/停止を使い分ける場合。

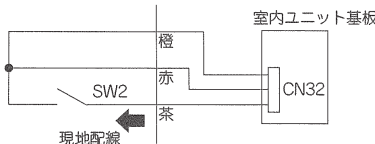


遠方操作の場合



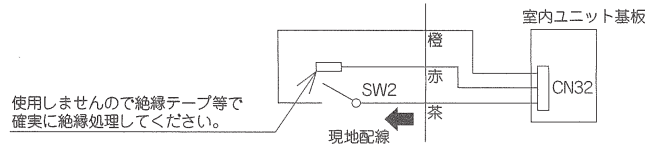
外部タイマー運転の場合

3. 遠方操作により運転を開始させ、以後はリモコンでの操作を自由に行ないたい場合。



SW2はモーメンタリースイッチ(手動操作自動復帰スイッチ)をご使用ください。
SW2を押すと(1秒以上)運転を開始します。その後はリモコンによる操作が行なえます。

4. リモコンでの運転の許可/禁止を外部回路で行なう場合。

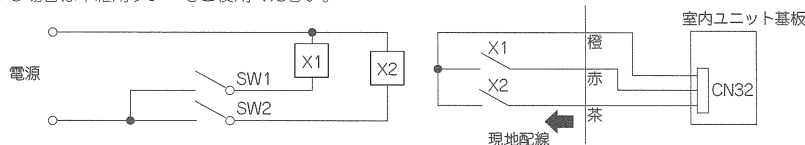


SW2がONであればリモコンでの運転はできません。
SW2がOFFであれば許可となります。

6 配線上の制限

室内ユニット基板からの配線の長さは10m以内にしてください。
正常に動作しなくなることがあります。

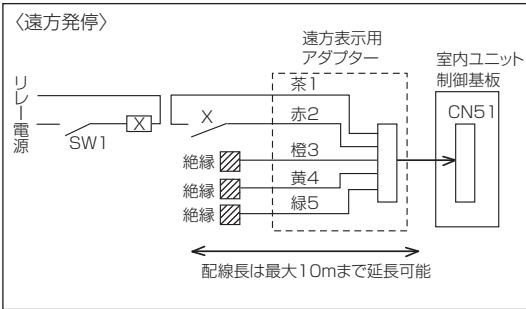
遠方配線等で配線を延長する場合は中継リレーをご使用ください。



遠方表示用アダプター

● PAC-SA88HA

使用目的 / 用途



● “遠方表示用アダプター”を利用してエアコンの運転・異常信号（DC12V 有電圧接点信号）の取出しと、外部信号による空調機の運転 / 停止ができます。

● リレー、表示ランプ等は現地手配となります。

注意

- ・コネクタには極性があり、逆取付けはできませんので、注意してください。
- ・室内制御基板からの配線の長さは 10m 以内にしてください。

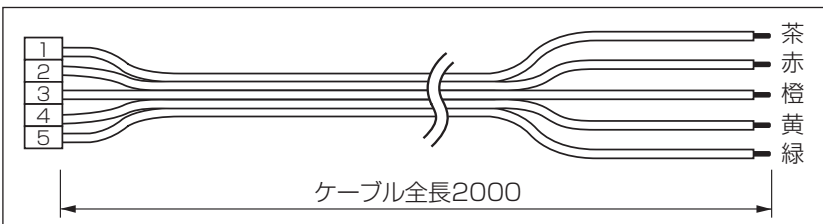
対象ユニット

- K/M-NET 制御機種
- A 制御 CT シリーズ (MPL-RP・LA3 形、MPKH-RP・KAL3 形を除く)

仕様

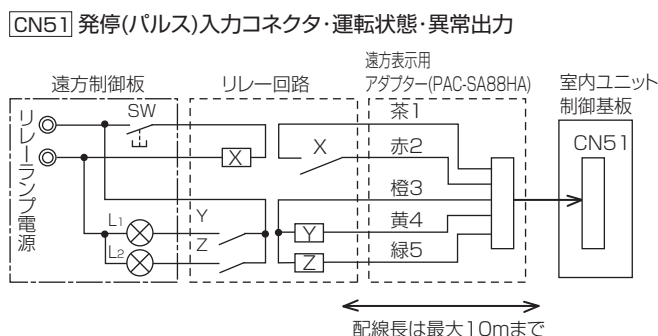
形名	PAC-SA88HA	
機能	エアコンの状態信号の出力・外部信号（パルス信号）による発停を行うための接続ケーブル	
入力信号	パルス（無電圧瞬時 a 接点）信号	パルス幅 200ms 以上
コネクタ	5P（室内ユニットの CN51 または CN52 に接続）	
線種	5 芯ビニルケーブル	配線を延長する場合：シース付ビニルコードまたはケーブル 0.5 ~ 1.25mm ²
線長	2 m（現地配線延長により最長 10 m）	
出力容量	DC12V 75mA（0.9W 以下）	

外形図（単位：mm）



電気配線図

・室内ユニット制御基板CN51に接続する場合



SW：遠方発停スイッチ（モーメンタリースイッチ）
 L1：状態表示ランプ
 L2：異常表示ランプ
 X：リレー（接点定格DC1mA）
 Y,Z：リレー（DC12V用コイル定格0.9W以下）

信号	電位	被覆色
入力	発停 ⊕	茶
	⊖	赤
出力	COM ⊕	橙
	運転 ⊖	黄
	異常 ⊖	緑

MITSUBISHI

三菱空調管理システム 別売部品

形名 PAC-SA88HA

遠方表示用アダプター説明書

1. 概要

この部品は、エアコンの運転、点検のモニターを遠方で行うための表示出力をエアコン本体より取出すための中継アダプターとなります。また、別売部品のモニターキット(形名:PAC-SA73MK)から操作盤にエアコンの運転、点検のモニターまたはエアコンへのON/OFF指令入力の接点を取出すための中継アダプターとなります。

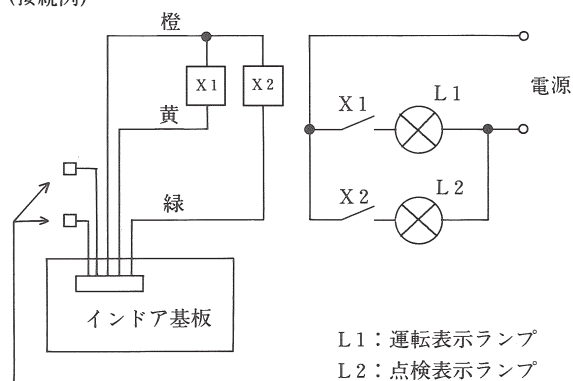
2. 使用方法

- a) 遠方表示用アダプターとして使用する場合
エアコンの室内制御基板(インドアボード)上のコネクタ(CN51)に出力される信号を受けて、リレーを駆動させるための中継アダプターとなります。

● PAC-SA88HAの接続線の色

信号	電位	被覆色	線径
制御信号	⊕	茶	0.4mm以上
	⊖	赤	
運転モニター信号	⊕	橙	
	⊖	黄	
点検モニター信号	⊖	緑	

(接続例)



使用しませんので
絶縁テープ等で確
実に絶縁処理し
てください。

L1: 運転表示ランプ
L2: 点検表示ランプ
X1, X2, L1, L2は現地手配

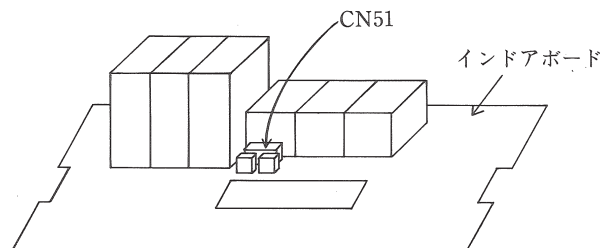
- 注1) X1, X2のコイル側はDC12Vのものを手配してください。
- 注2) 電源はAC200V以下でDC電源でもかまいません。

- b) モニターキット用アダプターとして使用する場合
モニターキットの制御用基板上のコネクタポストからエアコンの運転・点検のモニター出力およびエアコンへのON/OFF指令入力の接点を操作盤上の表示器または操作スイッチに取出すための中継アダプターにもなります。

注) 接続はモニターキット取付・取扱説明書にしたがって配線してください。

3. 取付方法

PAC-SA88HAのコネクタ(メス)を室内制御基板(インドアボード)上のコネクタ(オス,CN51)に接続します。コネクタには極性があり、逆取付けはできませんので、ご注意ください。また、モニターキット用アダプターとして使用する場合はモニターキット取付・取扱説明書にしたがって取付けてください。



MA スマートリモコン

● PAR-30MA

使用目的 / 用途



- 本品はスリムエアコン A 制御機種共通のワイヤードリモコンです。

対象ユニット

- A 制御機種

仕様

形名	PAR-30MA
外形寸法	H120 × W120 × D19mm
質量	0.25kg
電源	DC12V 室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度：0～40℃、湿度 30～90% RH（結露なきこと）
材質	PC + ABS（意匠面は PMMA）
外観色	クリアホワイト（マンセルNo.1.0Y9.2/0.2）
据付方法	JIS C8340 の 2 個用スイッチボックス（現地手配）へ取付け、または、壁に直付け。 MA リモコン線は、無極性 2 線で MA リモコン専用端子に接続。 別売品 リモコンケーブル：PAC-YT81HC/10m ：PAC-YT82HC/20m

機能表

〈操作 / 表示〉

項目	設定	表示	内容
運転 / 停止	○	○	運転 / 停止の切換が可能
運転モード切換	○	○	冷房 / ドライ / 自動 / 送風 / 暖房の切換が可能
室温設定	○	○	※室内ユニットの機種により温度範囲が異なります。（下記は標準機種の場合です） 冷房・ドライ：19～30℃ / 暖房：17～28℃ / 自動：19～28℃
風速設定	○	○	風速の切換ができます。 ※ユニットにより選択可能な風速は異なります。
風向設定	○	○	風向の切換ができます。 ※ユニットにより選択可能な風向は異なります。
ルーバー設定	○	○	ルーバーの運転 / 停止切換が可能 ※機能に対応しているユニットのみ可能です。
換気機器操作	○	○	マルチエアコン接続時 マルチエアコン用ロスナイの連動設定及び連動運転設定ができます。 換気連動機器の停止 / 弱 / 強の切換可能 スリムエアコン接続時（A 制御） マイコンタイプロスナイの連動運転操作ができます。 換気連動機器の弱 / 強の切換可能
ハイパワー運転 ※ 1	○	○	最大 30 分間、能力を上げて冷房または暖房運転します。
自動昇降パネル操作 ※ 1	○	○	自動昇降パネルの上昇 / 下降操作ができます。
自動清掃 設定 / 操作 ※ 1	○	○	自動清掃を行う時間帯を設定できます。また、手動による自動清掃が行えます。
バックライト	×	○	ボタン操作によりバックライトが点灯します。操作後 30 秒で消灯します。
リモコン名称	○	○	メイン画面にリモコン名称を表示できます。
メイン画面切換え機能	○	○	メイン画面表示を「詳細画面」、「簡易画面」から選択できます。
時刻設定 ※ 2	○	○	年月日、時間、分を設定できます。設定した時刻はメイン画面に表示されます（曜日も表示されます）。メイン画面に時刻を表示しない設定も可能です。
時計表示形式切換え機能	○	○	時計表示を 12 時間表示（時刻の前に AM/PM 表示、時刻の後に AM/PM 表示）、24 時間表示から選択できます。
室温表示	—	○	運転時、温度を表示します。（詳細画面のみ）

MA スマートリモコン

● PAR-30MA

項目	設定	表示	内容
異常表示	-	○	現在発生している異常内容を、アドレスとともに表示します。携帯電話点検コード検索サービスサイトの QR コード、URL も表示します。また異常発生時に、空調ユニットの形名や製造番号、連絡先の電話番号を表示させることが可能です（事前入力が必要）。※異常内容によりアドレスが表示されない場合もあります。
フィルター情報	-	○	フィルターの清掃またはダストボックスのごみ捨て時期になるとフィルターサインを表示します。（詳細画面のみ）

〈スケジュールタイマー〉

項目	設定	表示	内容
タイマー運転	○	○	オン / オフタイマー：オン / オフを行うタイマー ・ 5 分単位で時刻を設定 ・ オン時刻、またはオフ時刻のみの設定も可能 ・ 動作は 1 回のみと、繰返しを選択可能 消忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると停止するタイマー ・ 運転時間を 30 分～240 分 / 10 分単位で設定可能
週間スケジュール	○	○	曜日ごとに ON/OFF、温度設定を行うタイマー ・ 曜日ごとに 5 分単位で 8 回まで設定可能 ※オン / オフタイマーが有効中は動作しません。
室外サイレントモード ※ 1	○	○	静音性を優先して運転する時間帯を曜日ごと ・ 5 分単位で開始時刻と終了時刻 ・ 静音レベルを標準、中、静から設定します設定できます。
省エネ運転スケジュール ※ 1	○	○	曜日ごとに省エネ運転開始時刻と停止時刻、及び能力セーブ値を設定できます（90～50%、0% / 10%単位）。（5 分単位で時刻を設定。1 日 4 パターンまで設定可能。）

〈制限設定〉

項目	設定	表示	内容
手元操作への禁止 / 許可	×	○	集中コントローラの設定により、運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセットの操作が禁止されます。※禁止中は対応するアイコンが点灯します（詳細画面のみ）
操作ロック	○	○	運転 / 停止、運転モード、設定温度、風向切換操作をそれぞれ操作禁止することができます。
設定温度範囲 制限機能	○	○	運転モードごとに室温設定の温度範囲を制限することができます。
設定温度 自動復帰	○	○	設定時間後に、設定した温度に戻ります。（10 分単位で 30～120 分まで設定可能です。） ※設定温度範囲制限中は動作しません。
パスワード	○	×	管理用パスワード（スケジュール等の設定に必要）、サービス用パスワード（試運転、機能選択等の操作に必要）が設定できます。

〈その他〉

項目	設定	表示	内容
Q&A	×	○	代表的なトラブルシューティング、メイン画面（詳細画面）に表示されるアイコン説明を参照することができます。
コントラスト調整	○	○	液晶のコントラスト（濃淡）を調整できます。
風向固定設定 ※ 1	○	×	吹出口ごとに角度の固定ができます。
冷風防止ベーン 設定 ※ 1	○	×	標準吹きよりも吹出口の角度を上向きに調節できます。
サービス機能 ※ 1	○	○	試運転、機能選択、冷媒量判定、スムーズメンテナンス、要求コード送信、異常履歴などに対応。
外部入力	×	×	外部入力はできません。
外部入力	×	×	外部入力はできません。

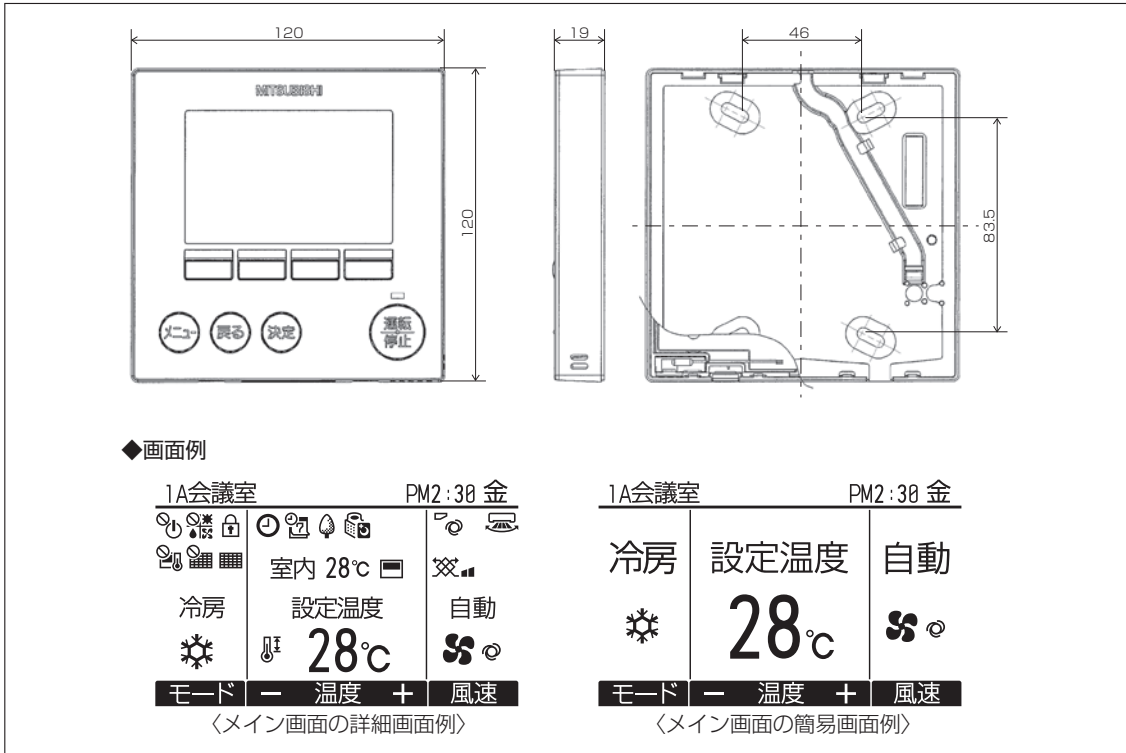
※ 1 機能に対応しているユニットに対してのみ可能です

※ 2 時計の精度は月差± 50 秒（25℃時）です。時計のバックアップ時間は 7 日です。

MA スマートリモコン


● PAR-30MA

外形図 (単位: mm)



WT05425X01(本マニュアル用に変更・修正してあります)


MITSUBISHI

三菱電機  空調管理システム
三菱電機スリムエアコン用共通

MA スマートリモコン PAR-30MA



据付工事説明書 (据付編)

販売店・工事店さま用

この説明書は共通MAリモコン (三菱電機  空調管理システム <直膨式マルチエアコン室内ユニット (Cタイプ以降)> 用と三菱電機スリムパッケージエアコン用の据付工事について記載しています。この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、据付けてください。リモコンの操作・設定方法に関しては据付工事説明書 (設定編)、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては空調機本体の据付工事説明書を参照ください。お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

- ここに記載した注意事項は、安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険の種類とその程度を次の分類で表示しています。

 警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度
 注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または、物的損害の発生が想定される危害・損害の程度

- 図記号の意味は次のとおりです。




- お使いになる方は、この据付工事説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事をされる方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

電気配線工事は「第二種電気工事士」の資格のある者が行うこと。


警告

◎据付工事をするときに


特殊環境では、使用しないこと。

- 油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス (アンモニア・硫黄化合物・酸など) の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電・故障・発煙・火災のおそれあり。
- 
- 使用禁止


可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへの設置はしないこと。

- 可燃性ガスがユニットの周囲にたまると、火災・爆発のおそれあり。
- 
- 据付禁止


大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには据付けないこと。

- 感電・火災・故障のおそれあり。
- 
- 据付禁止

据付工事説明書に従って、販売店または専門業者が据付工事を行うこと。

- 不備がある場合、感電・火災のおそれあり。
- 
- 指示を実行

病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。


- インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、リモコンの誤動作や故障のおそれあり。
 - リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じるおそれあり。
- 
- 指示を実行


◎配線工事をするときに


リモコンへの接続電圧は最大でDC12Vです。AC100V・AC200Vは接続しないこと。


- 破壊・発火・火災のおそれあり。
- 
- 接続禁止


リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。

- 露・水・ゴミ・虫などが侵入すると、感電・火災・故障のおそれあり。
- 
- 指示を実行


電流容量などに適合した規格品の配線を使用して電源配線工事をする事。
 ●漏電・発熱・火災のおそれあり。
 指示を実行


端子接続部に配線の外力や張力が伝わらないように固定すること。
 ●接続や固定に不備がある場合、断線・発熱・発煙・火災のおそれあり。
 指示を実行


第二種電気工事士の資格のある者が、「電気設備に関する技術基準」・「内線規程」および据付工事説明書に従って電気工事を行うこと。電気配線には所定の配線を用い専用回路を使用すること。
 ●電源回路容量不足や施工不備がある場合、感電・発煙・火災のおそれあり。
 指示を実行


リモコンケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。
 ●感電、故障のおそれあり。
 指示を実行


◎一般注意

先のとがった物でボタンを押さないこと。
 ●感電・故障のおそれあり。
 使用禁止


リモコンを水・液体などで洗わないこと。
 ●感電・火災・故障のおそれあり。
 水ぬれ禁止

濡れた手で電気部品に触れたり、ボタンを操作したりしないこと。
 ●感電・火災・故障のおそれあり。
 ぬれ手禁止

移設・修理をする場合、販売店または専門業者に依頼すること。
 分解・改造はしないこと。
 ●不備がある場合、けが・感電・火災のおそれあり。
 指示を実行

意匠カバーを取付けること。
 ●取付けていない場合、ほこり・水などによる感電・発煙・火災のおそれあり。
 指示を実行

 注意

質量に耐えられるところに据付けること。
 ●強度不足や取付けに不備がある場合、リモコンが落下するおそれあり。
 指示を実行

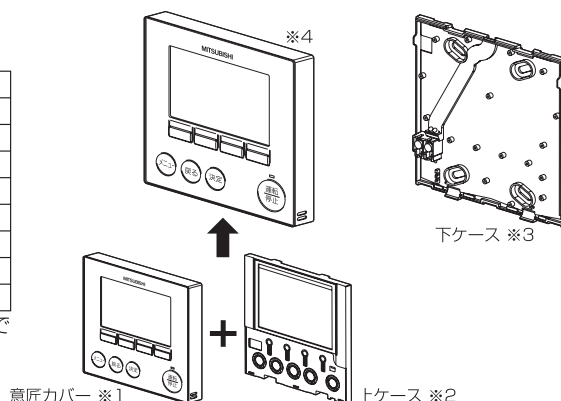
2 各部の名称と付属部品

箱の中には下記部品が入っています。

品名	個数(個)	外観
リモコン (意匠カバー)	1	右図※1
リモコン (上ケース)	1	右図※2
リモコン (下ケース)	1	右図※3
十字穴付きナベネジ M4×30	2	
木ネジ 4.1×16 (壁に直接取付ける時使用)	2	
据付工事説明書 (据付編) 本書	1	
据付工事説明書 (設定編)	1	
取扱説明書	1	

※4 意匠カバー (※1) と上ケース (※2) は、はめ込まれた状態で工場出荷されます。

※5 リモコンケーブルは付属していません。



3 現地手配部品・必要工具

(1) 現地手配部品

下記の部品は現地にて手配してください。

品名	所要量	備考
スイッチボックス: 2個用 (JIS C8340)	1	
薄鋼電線管 (JIS C8305)	必要量	壁面に直接据付ける場合は不要です
ロックナット、プッシング (JIS C8330)	必要量	
モール (JIS C8425)	必要量	リモコンケーブルを壁面に這わす場合に必要です
パテ	適量	
モリーアンカー	必要量	
リモコンケーブル 0.3mm ² シース付ケーブルをご使用ください。	必要量	以下の別売ケーブルも使用できます。 PAC-YT81HC(10m)、PAC-YT82HC(20m)

(2) 現地必要工具

- ・ マイナスドライバー (刃幅5mm)
- ・ ナイフまたはニッパー
- ・ その他一般工具

4 据付場所の選定

本リモコンは壁面に据付ける仕様となっています。「スイッチボックスを使用する」または「壁面に直接据付ける」が選択できます。「壁面に直接据付ける」場合、配線取出し方法を「背面取出し」または「上部取出し」から選択できます。

(1) 据付場所の選定

リモコン (スイッチボックス) を、以下の条件を満たす場所に据付けてください。

- フィルタの自動昇降機能付室内ユニットと接続される場合、操作する室内ユニットの昇降動作がリモコンを操作しながら確認できる所 (自動昇降の操作方法については室内ユニットの取扱説明書を参照してください。)
- 据付け面が平らな所
- リモコンが正確な室内温度を検知できる所
室内温度を検知する温度センサはリモコンと室内ユニットの両方に付いています。リモコンの温度センサを使用して室内温度を検知する場合は、主リモコンに設定したリモコンが室温を検知します。この場合、下記事項を守ってください。
 - ・ リモコンは、熱源の影響を受けない場所に据付けてください。
(直射日光やエアコンの吹き出し空気が直接あたる場合、リモコンが正確な室温を検知できません。)
 - ・ リモコンは、部屋の平均的な温度を検知できる場所に据付けてください。
 - ・ リモコンの温度センサ付近に他の配線が無い場所に据付けてください。
(配線がある場合、リモコンが正確な室温を検知できません。)

お願い

リモコン設置壁面の表面付近の温度と実際の室温と差が大きい場所に据付けしないでください。

- 検知した室温と実際の室温に差が出るおそれあり。

水のかかる場所・湿度が高く結露するような場所・腐食性ガスや油が多い場所に、据付けしないでください。

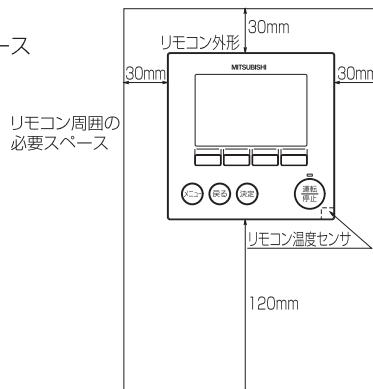
- 誤動作・故障のおそれあり。

直射日光のあたる場所、または周囲温度が40℃以上・0℃以下になる場所にリモコンを据付けないこと。

- 変形・故障のおそれあり。

(2) 据付スペース

リモコンをスイッチボックス・壁面のどちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。スペースが不足すると、リモコンを外しにくくなります。



5 据付・配線工事

(1) 据付工事

据付工事には「スイッチボックスを使用する場合」と「壁面に直接据付ける場合」があります。据付け方法に応じて工事を行ってください。

① 壁面に据付け用の穴を開ける

■スイッチボックスを使用する場合

- ・壁面に穴を開け、スイッチボックスを据付けてください。
- ・スイッチボックスと電線管を接合してください。

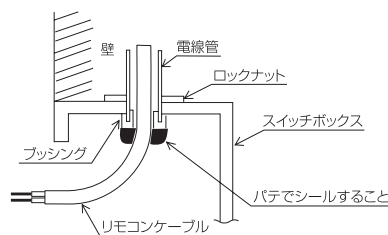
■壁面に直接据付ける場合

- ・壁に穴を開け、リモコンケーブルを通してください。

② リモコンケーブル引込口をシールする

■スイッチボックスを使用する場合

- ・スイッチボックスと電線管の結合部のリモコンケーブル引込口をパテでシールしてください。



リモコンケーブル引込口をパテでシールすること。

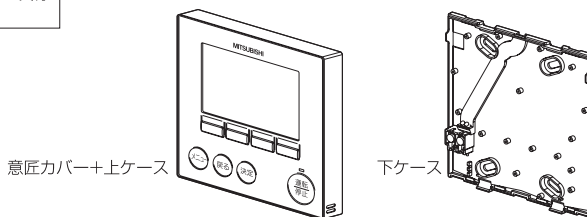
- 露・水・ゴミ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障のおそれあり。



指示を実行

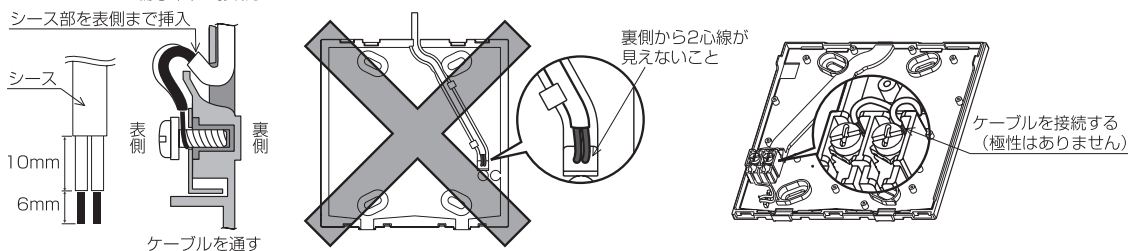
③ リモコンを準備する

リモコン本体の下ケースを取出します。



④ リモコンケーブルを下ケースの端子台に接続する

リモコンケーブルを下図のように加工し、下ケース背面から通してください。リモコンケーブルのシースをむきとった部分が背面から見えなくなるように、下ケース表側まで挿入してください。リモコンケーブルを端子台に接続してください。



■壁面に直接据付ける場合

- ・下ケースのリモコンケーブルを通した穴をパテでシールしてください。

リモコンケーブルの切屑などが端子台に入らないようにすること。

- 感電、故障のおそれあり。

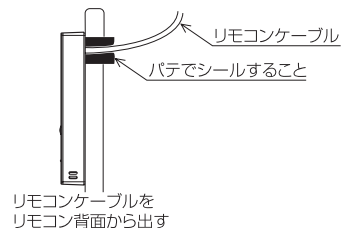


指示を実行

お願い

圧着端子を使用して下ケースの端子台に接続しないでください。

- 基板と接触し故障のおそれあり。
- カバーと接触しカバー破損のおそれあり。



⑤下ケースを据付ける

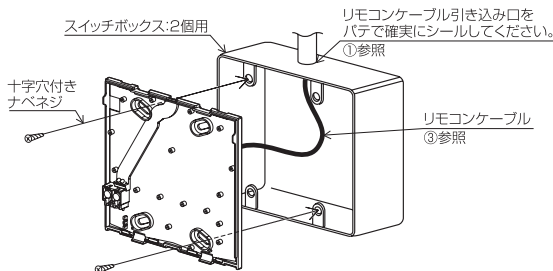
■スイッチボックスを使用する場合

・下ケースをスイッチボックスへ据付ける場合は必ず2カ所以上固定してください。

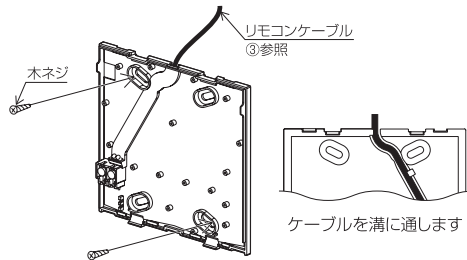
■壁面に直接据付ける場合

- ・ケーブルを溝に通します。
- ・下ケースを壁面へ据付ける場合は必ず2カ所以上固定してください。
- ・配線により壁面からリモコンが浮くことを防止するため、リモコン正面から見て左上と右下の2カ所を必ず固定してください。(モリーアンカーなどを使用して固定してください。)

■スイッチボックスを使用する場合



■壁面に直接据付ける場合



お願い

ネジを締めすぎないでください。

- 下ケースが変形する・割れるおそれあり。

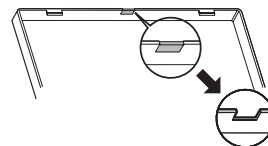
追加穴を開けないでください。

- 下ケースが割れるおそれあり。

⑥配線穴を加工する

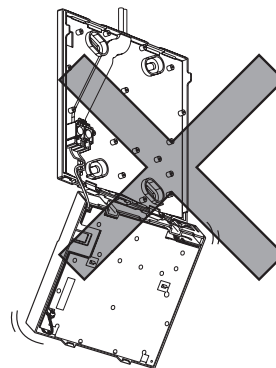
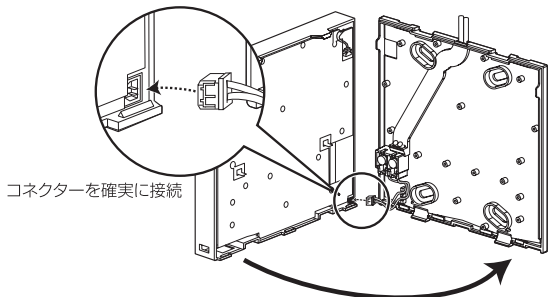
■壁面に直接据付ける場合 (リモコンケーブルを壁面に這わす場合)

- ・意匠カバーの内側薄肉部 (右図のami掛け部) をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
- ・下ケース背面の配線溝に通したリモコンケーブルをこの部分から取出します。



⑦上ケースに配線する

下ケースのコネクターを上ケースのコネクターに接続します。



お願い

上ケースから基板保護シート・基板は取外さないでください。

- 故障のおそれあり。

コネクター接続後、上図のように上ケースをぶら下げないでください。

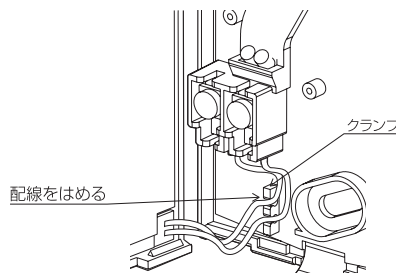
- 配線が切れるなど、動作に支障をきたすおそれあり。

⑧配線をクランプにはめる。

お願い

配線はクランプにはめて固定してください。

- 固定していない場合、端子台に直接力が加わり配線が切れるおそれあり。
- 上ケースがはめ込めないおそれあり。



⑨ リモコン意匠カバー・上ケースをはめ込む

上ケース（工場出荷時、意匠カバーと上ケースは、はめ込まれた状態）の上部にツメが2カ所あります。このツメを下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込んでください。ケースに浮きがないことを確認してください。

お願い

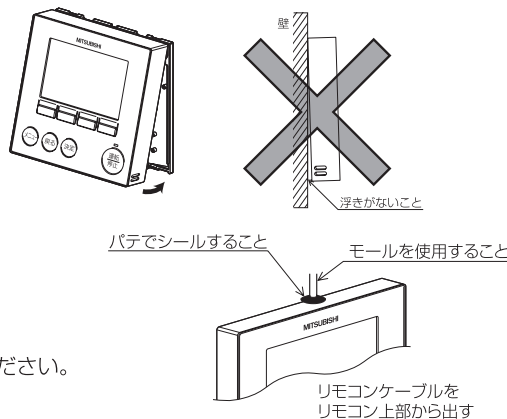
“パチッ”と音がするまではめ込んでください。

●はまっていない場合、落下のおそれあり。

■壁面に直接据付ける場合（リモコンケーブルを壁面に這わす場合）

- ・リモコンケーブルをリモコンの上部から出してください。
- ・意匠カバーの切り取った部分をパテでシールしてください。
- ・モール（配線カバー）を使用してください。

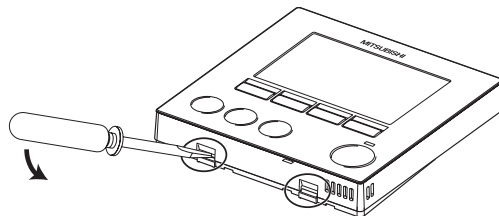
以上で据付工事は完了ですが、再度取外す場合は以下の方法で行ってください。



●リモコン意匠カバー・上ケースの外し方

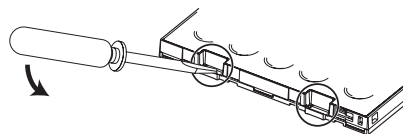
①意匠カバーを外す

マイナスドライバーをリモコン下部2箇所のツメ部分のいずれかに差し込み、矢印で示す方向に動かします。引っかかっているツメが外れますので意匠カバーを手前上に引いて取外してください。



②上ケースを外す

マイナスドライバーをリモコン下部2箇所のツメ部分のいずれかに差し込み、意匠カバーと同様にして外します。



お願い

マイナスドライバーは刃幅5mmのものを使用してください。

●ケースが破損するおそれあり。

マイナスドライバーをツメにはめ込んだ状態で強く回転させないでください。

●ケースが破損するおそれあり。

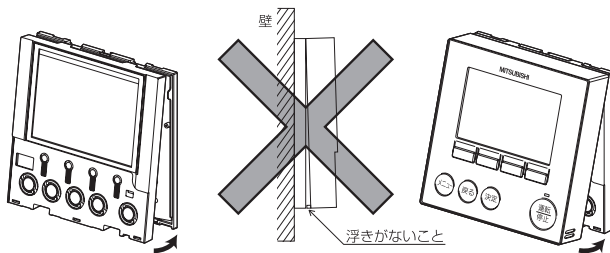
③意匠カバー・上ケースを取付ける

上ケースの上部にツメが2カ所あります。このツメを下ケースに引っ掛けて、“パチッ”と音がするまではめ込んでください。同様に意匠カバーを上ケースにはめ込みます。ケースに浮きがないことを確認してください。

お願い

“パチッ”と音がするまではめ込んでください。

●はまっていない場合、落下のおそれあり。



6 お願い

■室温と壁温の差が大きい場合、リモコン設置壁面の表面付近の温度を検知するため室温と差が出るおそれがあります。

- 以下のような設置条件の場合、室内ユニットの温度センサ使用を推奨します。
- ・室内の気流分布が悪く、リモコン設置壁面に吹き出し空気が到達しにくい場合
 - ・設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
 - ・設置壁面の背面が外気に接している場合

お知らせ：急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性が悪くなります。

■リモコンの主/従設定は、「リモコンの据付工事説明書（設定編）主従設定の項」を参照してください。

■温度センサの設定は、「マルチエアコンシステムでは室内ユニットの据付工事説明書」「スリムエアコンではリモコンの据付工事説明書（設定編）機能選択の項」を参照してください。

■工場出荷時、意匠カバーの操作面に保護シートを貼っています。ご使用前に、保護シートをはがしてください。

MITSUBISHI

三菱電機ビル空調管理システム
三菱電機スリムエアコン用共通

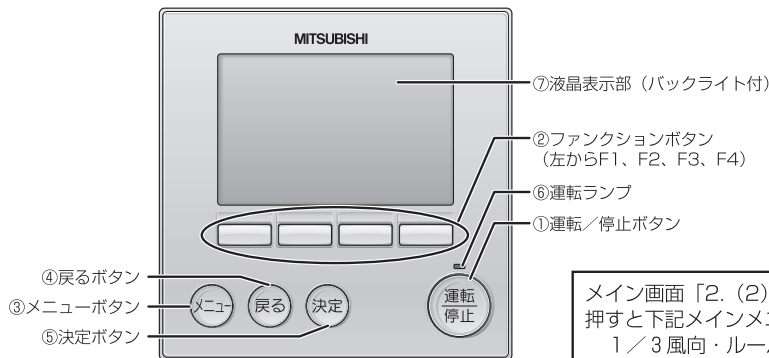
MAスマートリモコン PAR-30MA

据付工事説明書（設定編）

販売店・工事店さま用

この据付工事説明書は据付工事時に設定する項目（初期設定・サービス）について記載しています。よくお読みの上、設定してください。なお、リモコンの据付工事方法に関しては据付工事説明書（据付編）、空調機本体への配線および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付工事説明書を参照ください。お読みになったあとは、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。

1. リモコンの各ボタンの説明



- ① **運転/停止ボタン**
室内ユニットの運転/停止をおこないます。
- ② **ファンクションボタン**
メイン画面で運転モード、設定温度、風速を設定します。各画面でメニュー項目や設定の選択に使用します。
- ③ **メニューボタン**
メインメニュー画面を表示します。
- ④ **戻るボタン**
各画面で前の画面に戻るときに使用します。
- ⑤ **決定ボタン**
各画面で設定画面に移行するときや、設定を確定するときを使用します。
- ⑥ **運転ランプ**
運転中に緑色に点灯します。立上げ時、異常発生時は点滅します。
- ⑦ **液晶表示部**
ドット表示します。いずれかのボタンを押すとバックライトが30秒間点灯します。点灯中にボタン操作すると点灯時間が延長されます。

お知らせ バックライトが消えている時は最初のボタン操作で、バックライトを点灯します。操作内容は受け付けません。（運転/停止ボタンは除く）

メイン画面「2. (2) メイン画面表示参照」にて **メニュー** ボタンを押すと下記メインメニューが表示されます。

1 / 3 風向・ルーバー・換気操作	※ 1
ハイパワー運転	※ 1
タイマー設定	※ 1
週間スケジュール設定	※ 1
室外サイレントモード設定	※ 1
2 / 3 制限設定	※ 1
省エネ設定	※ 1
自動清掃設定	※ 1
フィルター情報	※ 1
異常情報	※ 1
3 / 3 メンテナンス	※ 1
初期設定	※ 2 ※ 3
サービス	※ 2 ※ 3
Q&A	※ 1

- ※ 1 詳細はリモコンの取扱説明書を参照してください。
- ※ 2 本説明書に記載している内容です。
- ※ 3 初期設定各画面で10分間、サービス各画面で2時間操作が無い場合（一部の画面では10分間）は自動的にメイン画面に戻ります。このとき設定途中のデータは破棄されます。

接続する室内ユニットによって使用できるメニューが異なります。本リモコンに同梱している説明書に記載されていない事項は空調機本体の説明書を参照してください。

ボタンの操作について（メインメニュー画面の操作例）

カーソル → 主 メインメニュー 1/3 ページ

風向・ルーバー・換気操作
ハイパワー運転
タイマー設定
週間スケジュール設定
室外サイレントモード設定

メイン画面へ: 戻るボタン

▼カーソル▲ ◀ページ▶

F1 F2 F3 F4

ファンクションボタン [F1] [F2] でカーソル▶を選択したい項目に合わせ、[決定] ボタンを押すと次の画面が表示されます。一部パスワードが必要な項目があります。

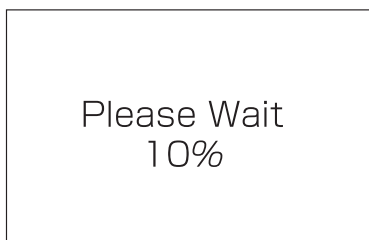
設定をおこなう画面では、[メニュー] [決定] [戻る] ボタンの操作説明が表示されます。

各画面で液晶表示部の下方にファンクションボタンの説明が表示されます。

2. 電源投入

据付工事説明書（据付編）に従って本機の据付工事が完了しているか、また、室内ユニット、室外ユニットの据付工事が完了しているか確認してください。ユニットの電源を投入してください。

(1) 電源投入後、次の表示が出ます。

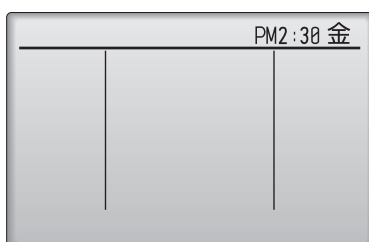


正常時（立上げ進捗を%表示します）

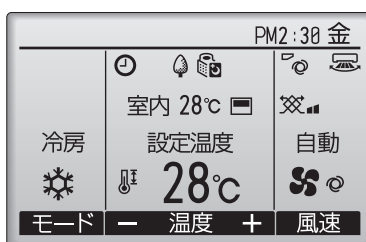
お知らせ
マルチエアコンにはペアリモコン接続できない機種があります。接続可否についてはカタログ等を参照してください。

(2) メイン画面表示

正常に立ち上がるとメイン画面が表示されます。メイン画面は「詳細画面」と「簡易画面」の2種類を選択できます。画面の切換えについては「4.初期設定」の項を参照してください。（工場出荷時は「詳細画面」です。）



メイン画面例（停止時詳細画面）



メイン画面例（運転時詳細画面）

お願い
・ペアリモコン使用時は、1台を必ず従リモコンに設定してください。設定方法は「4.初期設定」の項を参照してください。
・アイコン表示の意味については「取扱説明書」を参照してください。

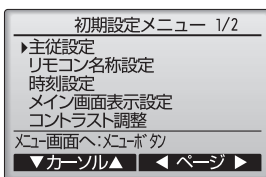
3. 試運転〈サービス用パスワードが必要です〉

- 試運転をおこなう前に必ず室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。
- メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」→「試運転」→「試運転操作」より、試運転をおこないます。
- 「~~運転~~停止」ボタン操作により試運転は停止します。
- 試運転の詳細、および試運転によって異常が発生した場合の対応については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。

お知らせ サービス用パスワードについては「5.サービスメニュー」の項を参照してください。

4. 初期設定（リモコン設定）

メイン画面から、「メインメニュー」→「初期設定」よりリモコン本体への各種設定をおこないます。



- 初期設定メニュー（1 / 2）
- ・主従設定
 - ・リモコン名称設定
 - ・時刻設定
 - ・メイン画面表示設定
 - ・コントラスト調整

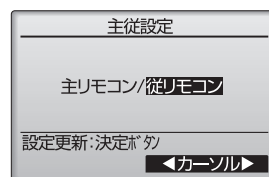
- 初期設定メニュー（2 / 2）
- ・リモコン表示設定
 - －時刻表示
 - －温度単位表示
 - －吸込温度表示
 - －自動冷暖表示
 - ・自動モード設定
 - ・管理者用パスワード登録

(1) 主従設定

ペアリモコンで使用する時には必ず設定が必要です。ペアリモコンのうち1台を従リモコンに設定してください。

【操作方法】

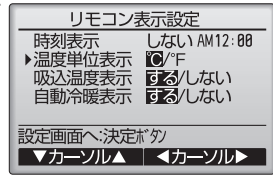
- [F3] [F4] ボタンを操作すると現在選択している項目が反転表示されます。従リモコンを選択した後、[決定] ボタンにより設定更新します。
- 設定後、[メニュー] ボタンでメインメニュー画面に戻ります。（以降の操作も、メインメニュー画面に戻る方法は同じです）



②温度単位表示

【操作方法】

リモコン表示設定画面の、「温度単位表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定します。
 (工場出荷時は摂氏(°C)です。)
 ・°C：温度表示単位を摂氏表示にします。
 ・°F：温度表示単位を華氏表示にします。



③吸込温度の温度表示

【操作方法】

リモコン表示設定画面の、「吸込温度表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定します。
 (工場出荷時は「する」です。)
 ・する：メイン画面に室内温度を表示します。
 ・しない：メイン画面に室内温度を表示しません。

お知らせ 「する」に設定しても簡易画面には室内温度が表示されません。

④自動冷暖表示

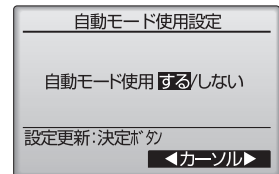
【操作方法】

リモコン表示設定画面の、「自動冷暖表示」にカーソルを合わせ、**[F3]****[F4]** ボタンにて設定します。
 (工場出荷時は「する」です。)
 ・する：自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」が表示されます。
 ・しない：自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

(7) 自動モード設定

【操作方法】

自動運転モード機能のある室内ユニットに接続した場合、自動モード使用、不使用を**[F3]****[F4]** ボタンにて設定します。(工場出荷時は使用「する」です。)
[決定] ボタンにより設定を更新します。
 ・する：運転モード選択時に自動モードを表示します。
 ・しない：運転モード選択時に自動モードを表示しません。



(8) 管理者用パスワード登録

【操作方法】

①最初に現在設定されている管理者用のパスワード(数字4桁)を入力します。
[F1]**[F2]** ボタンで桁を選択し、**[F3]****[F4]** ボタンにて0~9の数字を設定します。
 ②4桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押します。

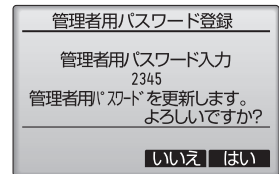
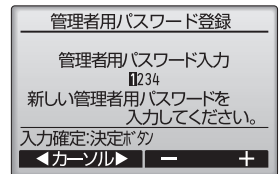
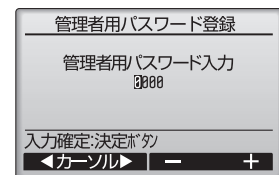
お願い 管理者用パスワードの初期値は「0000」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
 パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

お知らせ 管理者パスワードを忘れてしまった場合、管理者用パスワード登録画面にて**[F1]****[F2]** ボタンを同時に3秒連続押しすると、パスワードを「0000」に初期化できます。

③パスワードが一致すると新規パスワード入力画面になります。
 同じ要領で新しい管理者用パスワードを設定し、**[決定]** ボタンを押します。

④パスワード更新確認画面が表示されますので、**[F4]** (はい) ボタンにて更新します。
 取り消す場合は**[F3]** (いいえ) ボタンを押します。

お知らせ 管理者用パスワードは下記項目の設定時に必要となります。
 ・タイマー設定 ・週間スケジュール設定 ・室外サイレントモード設定
 ・制限設定 ・省エネ設定 ・自動清掃設定
 各設定の詳細は本リモコンの取扱説明書を参照してください。



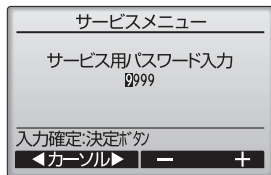
5. サービスメニュー〈サービス用パスワードが必要です〉

メイン画面から、「メインメニュー」→「サービス」より各種サービスメニューでの設定、操作を行います。

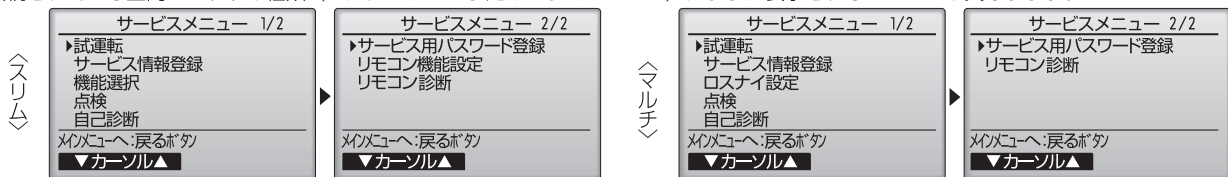
サービスメニューを選択するとパスワード入力画面が表示されます。
 現在設定されているサービス用のパスワード（数字4桁）を入力します。
 [F1][F2]ボタンで桁を選択し、[F3][F4]ボタンにて0~9の数字を設定します。
 4桁のパスワードを入力後、[決定]ボタンを押します。

お願い サービス用パスワードの初期値は「9999」です。管理者以外の方が設定変更しないよう、必要に応じパスワードを変更してください。
 パスワードは必要な方が分かるよう適切に管理してください。

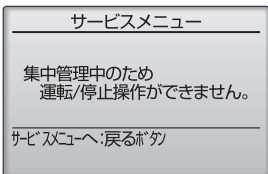
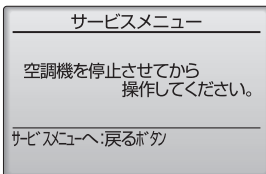
お知らせ サービス用パスワードを忘れてしまった場合、サービス用パスワード入力画面にて [F1][F2] ボタンを同時に3秒連続押しするとパスワードを「9999」に初期化できます。



パスワードが一致すると、サービスメニューが表示されます。
 接続されている室内ユニットの種類（マルチエアコンまたはスリムエアコン）により、表示されるメニューが異なります。



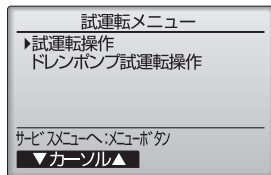
お知らせ サービスメニューの項目によっては空調機を停止させる必要があります。
 また、集中コントローラから集中管理中は操作できない場合があります。



- (1) 試運転（マルチ/スリム共通）
 サービスメニューにて「試運転」を選択すると、試運転メニュー画面が表示されます。

- ・試運転操作：試運転をおこないます。
- ・ドレンポンプ試運転操作：室内ユニットに搭載しているドレンポンプの試運転を行います。試運転に対応しているスリム室内ユニットに対してのみ有効です。

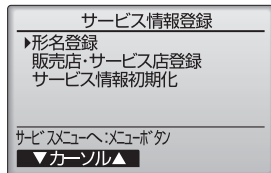
お知らせ 試運転の詳細については室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目を参照してください。



- (2) サービス情報登録（マルチ/スリム共通）
 サービスメニューにて「サービス情報登録」を選択すると、サービス情報登録画面が表示されます。
 操作方法の詳細については室内ユニットの据付工事説明書を参照してください。

お知らせ サービス情報登録メニューでは下記の設定が行えます。

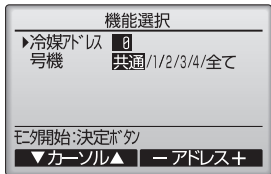
- ・形名登録
 室外ユニット、室内ユニットの形名、製造番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。形名は半角18文字、製造番号は半角8文字まで入力できます。
- ・販売店・サービス店登録
 販売店名、サービス店名および電話番号を登録します。登録した内容は異常情報画面に表示されます。店名は半角10文字、電話番号は半角13文字まで入力できます。
- ・サービス情報初期化
 形名登録内容、または販売店・サービス店登録を選択し、登録内容を全て初期化します。



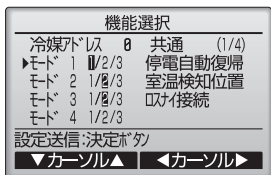
- (3) 機能選択（スリムのみ）
 リモコンから必要に応じ各室内ユニットの機能を設定します。
 サービスメニューにて「機能選択」を選択すると、機能選択画面が表示されます。

【操作方法】

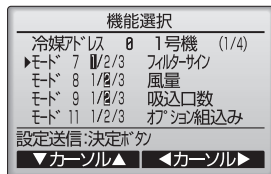
①最初に [F1] ~ [F4] ボタンにて接続されている室内ユニットの冷媒アドレス・号機を設定し [決定] ボタンにて現在の設定を表示確認します。



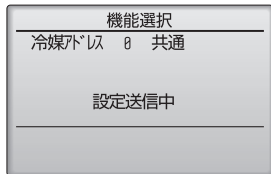
②室内ユニットからのデータ収集が完了すると、現在の設定番号が反転して表示されます。反転表示が無いモードは機能が無いことを表しています。
 号機で指定した共通・号機によりモニタ結果画面が異なります。



③ [F1][F2] ボタンにてモード番号を選択し、[F3][F4] ボタンにて設定番号を変更します。



④変更する全てのモード番号の設定が完了したら、[決定] ボタンを押します。
 リモコンから室内ユニットへ設定内容を送信します。



⑤正常に通信が完了すると、最初の機能選択画面に戻ります。

お願い ・スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。
 ・マルチエアコンでは設定できません。
 ・表1は代表的なモード番号の内容です。室内ユニットの荷設定内容・モード番号・設定番号についての詳細はユニットの据付工事説明書を参照してください。(12-57頁を参照)
 ・工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を別紙に記録するなど、設定状態を管理してください。

表1.機能選択内容

モードNo.	モード	設定内容	設定番号	対象号機
01	停電自動復帰	無し	1	号機「共通」1を選択します。 全室内ユニットに対して設定を行う項目です。
		有り(電源回復後、約4分間の待機が必要です)	2	
02	室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	1	
		リモコン接続室内ユニット固定	2	
		リモコン内蔵センサー	3	
03	ロスナイ接続	接続無し	1	
		接続有り(室内ユニット外気取入れ無し)	2	
		接続有り(室内ユニット外気取入れ有り)	3	
16	加湿器制御切換	定時	1	
		常時	2	
17	霜取制御切換	標準	1	
		北陸仕様	2	
07	フィルターサイン	100時間	1	号機「1~4、全て」を選択して設定します。
		2500時間	2	
		表示無し	3	
08	風量	静音(または標準)	1	各室内ユニットに対して設定を行う項目です。 ・「1~4」号機を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニットごとに設定します。 ・「全て」を選択した場合は、同時ツイン・同時トリプル・同時フォーの各室内ユニット全て同一に設定します。
		標準(または 高天井①)	2	
		高天井(または 高天井②)	3	
09	吹出し口	4方向	1	
		3方向	2	
		2方向	3	
10	オプション組込 (高性能フィルター)	無し	1	
		有り	2	

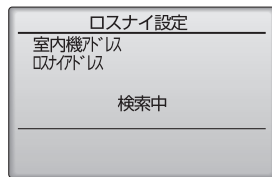
(4) ロスナイ設定 (マルチのみ)

マルチエアコンでロスナイとの連動運転をおこなう場合のみ設定します。スリムエアコンでは設定できません。
 リモコンが接続されている室内ユニットに対し設定 (ロスナイ登録・登録した内容の検索・登録の抹消) を行うことができます。

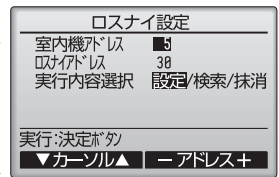
お願い ・集中コントローラが接続される場合は、集中コントローラより設定してください。
 ・ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

【操作手順】

① サービスメニューにて「ロスナイ設定」を選択すると、自動的に現在リモコンが接続している室内ユニットに登録されているロスナイのアドレス検索をおこないます。



② 検索が完了すると、現在リモコンが接続されている室内ユニットの最小アドレスと登録されているロスナイのアドレスを表示します。ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。

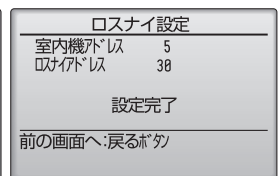
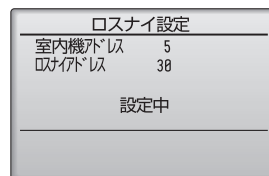


ここで設定する必要がなければ、「戻る」ボタンを押して、「サービスメニュー」に戻ります。

□ロスナイを登録する場合

③ 室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを [F1] ~ [F4] ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「設定」を選択し、「決定」ボタンを押します。

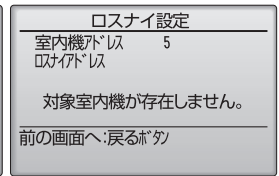
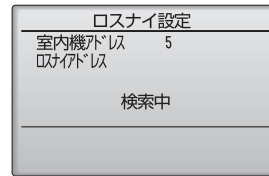
「設定中」が表示され、正常に設定完了すると、「設定完了」が表示されます。



□ロスナイアドレスを検索する場合

④ ロスナイアドレスを検索したい場合は、リモコンが接続されている室内ユニットのアドレスを設定し、「実行内容選択」で「検索」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「検索中」が表示され、正常に設定を受信すると室内ユニットアドレスとロスナイアドレスを表示します。ロスナイが登録されていない場合は、ロスナイアドレスには「無」が表示されます。指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。

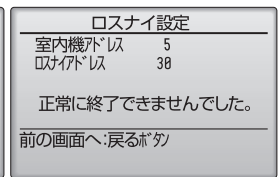
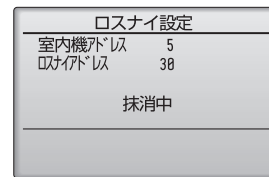


□ロスナイの登録を解除する場合

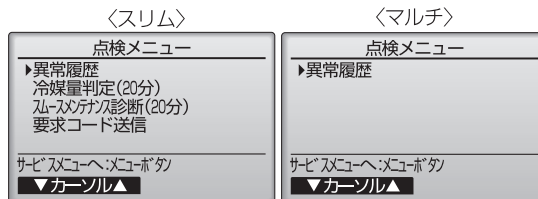
リモコンが接続されている室内ユニットとロスナイの登録設定を解除する場合に使用します。

⑤ 室内ユニットのアドレスとロスナイのアドレスを [F1] ~ [F4] ボタンにて設定し、「実行内容選択」で「抹消」を選択し、「決定」ボタンを押します。

「抹消中」が表示され、正常に解除が完了すると検索結果画面に戻ります。指定した室内ユニットのアドレスが存在しない場合は、「対象室内機が存在しません」を表示します。解除が正常におこなわれなかった場合は、「正常に終了できませんでした」を表示します。



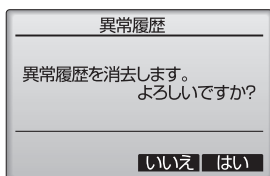
- (5) 点検
サービスメニューにて「点検」を選択すると、点検メニュー画面が表示されます。
接続されている室内ユニットがマルチエアコンかスリムエアコンかにより、表示されるメニューが異なります。



- ①異常履歴
点検メニューにて「異常履歴」を選択し、「決定」ボタンを押すと異常履歴を最大16件表示します。
各ページに4件ずつ表示され、1/4ページの先頭の表示が最新の異常履歴となります。

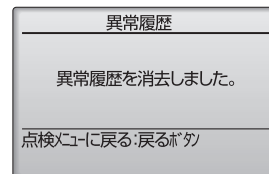


【異常履歴消去】
異常履歴が表示されている画面で[F4](消去)ボタンを押すと、異常履歴消去の確認画面が表示されます。



[F4](はい) ボタンを押します。

「異常履歴を消去しました」が表示されます。
[戻る] ボタンを押して、点検メニュー画面に戻ります。

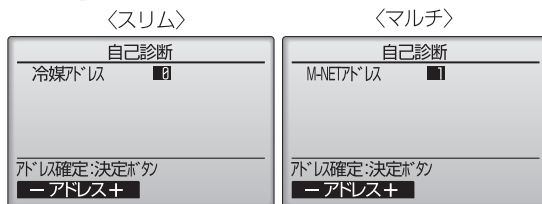


- ②他の点検メニュー項目（スリムのみ）
点検メニューでは、異常履歴の他に以下の項目があります。
・冷媒量判定
・スムーズメンテナンス診断
・要求コード送信
これらの項目はスリムエアコン専用です。詳細については室内ユニット据付工事説明書を参照してください。

- (6) 自己診断
リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

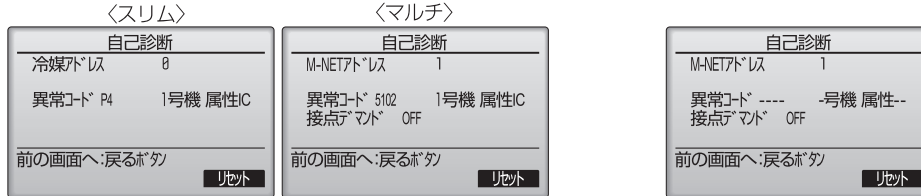
【操作手順】

- ①サービスメニューにて「自己診断」を選択し、「決定」ボタンを押すと自己診断画面を表示します。



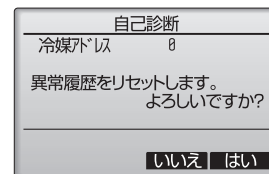
- ②[F1][F2]ボタンにて冷媒アドレス（スリムの場合）、またはM-NETアドレス（マルチの場合）を設定し、「決定」ボタンを押します。

- ③異常コード・号機・属性・室内ユニットの接点デマンドON/OFF状態（マルチのみ）が表示されます。異常履歴が無い場合は、「-」が表示されます。

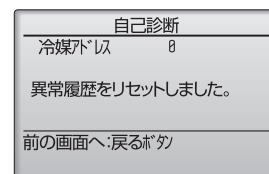


【異常履歴リセット】

- ①異常履歴表示中に[F4](リセット) ボタンを押すと確認画面が表示されます。



- ②確認画面にて[F4](はい) ボタンを押すと室内ユニットの異常履歴を消去します。
消去できなかった場合は「正常に終了できませんでした。」ユニットから応答が無い場合は「対象室内ユニットが存在しません。」を表示します。



(7) サービス用パスワード登録

サービスメニューの操作をおこなうためのパスワードを変更します。

【操作手順】

① サービスメニューにて「サービス用パスワード登録」を選択し、**[決定]** ボタンを押すと新規パスワード登録画面を表示します。

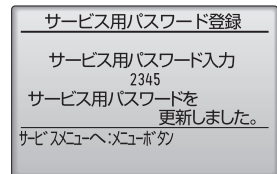
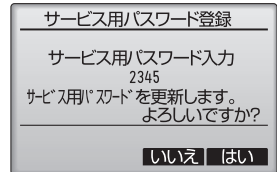
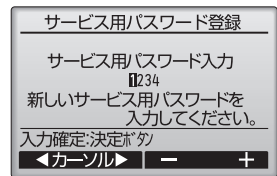
② **[F1]** **[F2]** ボタンで桁を選択し、**[F3]** **[F4]** ボタンにて0~9の数字を設定します。

③ 4桁のパスワードを入力後、**[決定]** ボタンを押します。

④ パスワード更新確認画面が表示されますので、**[F4]** (はい) ボタンにて更新します。
取り消す場合は **[F3]** (いいえ) ボタンを押します。

⑤ パスワード更新の場合は、更新完了画面が表示されます。

⑥ **[Xニュー]** ボタンにてサービスメニューへまたは **[戻る]** ボタンで「サービス用パスワード登録画面」に戻ります。



(8) リモコン機能設定 (スリムのみ)

以下の時、本設定を行ってください。

- ・ 冷媒アドレス・号機を指定する画面で、実際に接続されている室内ユニットのアドレス・号機が表示されないとき。
- ・ メンテナンスメニュー画面で"無"が表示されている項目に対して操作を行いたいとき。

【操作手順】

① サービスメニューにて「リモコン機能設定」を選択し、**[決定]** ボタンを押すとリモコン機能設定画面を表示します。

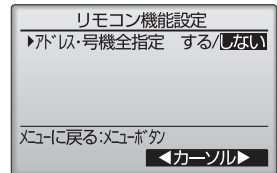
② アドレスおよび号機の全指定「する/しない」を **[F3]** **[F4]** ボタンで選択します。

③ 選択後、**[Xニュー]** ボタンでサービスメニュー画面に戻ります。

(工場出荷時は「しない」です。)

・ **する** : 実際に接続されているユニットに無関係に全アドレス・全号機への設定操作が行えます。

・ **しない** : 実際に接続されているユニットのアドレス・号機のみに対し設定操作を行えます。



6. リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能によりリモコン診断を行ってください。

(1) まずはリモコン表示の有無を確認してください(無線含む)

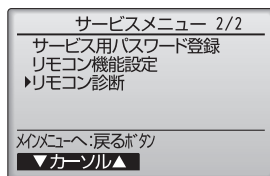
リモコンに正常な電圧 (DC8.5~12V) が印加されていない場合、リモコンには何も表示されません。

この場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。

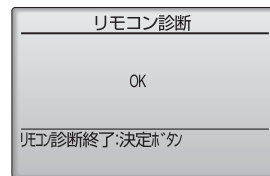
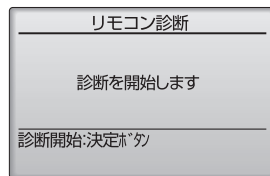
【操作手順】

① サービスメニューにて「リモコン診断」を選択し、**[決定]** ボタンを押すとリモコン診断を開始し、結果を表示します。

リモコン診断を行わない時は、**[Xニュー]** または **[戻る]** ボタンを押すと、リモコン診断メニューから抜けることができます。この時、リモコンは再立上げを行いません。



リモコン診断への移行画面



リモコン診断結果の画面

- OK : リモコンに問題はありません。他の原因を調査してください。
- E3、6832 : 伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。
- NG (ALLO、ALL1) : リモコン送受信回路不良です。リモコンの交換が必要です。
- ERC (データエラー数) : データエラー数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を示します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。

② リモコン診断結果表示後、**[決定]** ボタンを押すとリモコン診断を終了し、自動的に再立上げが行われます。

表 2. 機能選択内容

- ・各室内ユニット毎に対して個別に設定を行う項目です。
- ・次項『操作手順』の"号機"選択時に、下記を選択して設定します。
 - ・単独システム(室外1台・室内1台)の場合……………対象号機は"01"号機を設定
 - ・ツイン、トリプル、フォーのシステム(室外1台・室内複数台)の場合……………設定したい対象号機"01～04"のいずれか選択
 - ・全ての室内ユニットを同一内容に一括設定したい場合……………"全て"

設定項目	設定内容	モト番号	設定番号	初期設定状態(工場出荷時) ー: 設定不可の項目							
				4方向カセット		2方向カセット	1方向カセット	天井ビルトイン		天理	
				MPL(Z)-RP-BA3 (01ド/07カセット)	MPL(Z)-RP-JA3 (02ド/07カセット)	MPL-RP-LA3	MPM-RP-EA3	MPD-RP-FA4 ~80形	112形~	MPE-RP-CA3	MPE-RP-BA3
フィルターサイン表示 (ダストホック満杯表示※1)	7ヶ運転積算100時間 (清掃回数300回または7ヶ運転積算3000時間*)	07	1								
	7ヶ運転積算2500時間 (清掃回数1000回または7ヶ運転積算10000時間*)		2	●	●	●	●	●	●	●	●
	表示無し (清掃回数1500回または7ヶ運転積算15000時間*)		3								
風量	静音	08	1								
	標準		2	●		●		●			
	高天井		3								
吹出し口数	4方向	09	1	●							
	3方向		2								
	2方向		3								
おまかせ組込み (高性能フィルター)	無し	10	1	●		●		●			
	有り		2								
	上下へん設定		1	●				●	●		
ムーブアイ取付け位置	取付け位置①*2	12	1								
	取付け位置②*2		2								
	標準取付け位置*2		3	●							
加湿器組込み	無し	13	1	●		●					
	有り		2								
暖房・上下へん 冷風防止 デフロスト	低め(24~28℃)	14	1								
	標準(28~32℃)		2	●	●	●	●	●			
	高め(35~38℃)		3								
上下へん・スイング機能	スイング無し(01ド/07カセットの場合は「スイング有り・暖房デフロスト無効」)	23	1				●				
	スイング有り(01ド/07カセットの場合は「スイング有り・暖房デフロスト有効」)		2	●	●	●					
暖房時設定温度4℃*3アップ (暖房時室温補正)	有効	24	1	●	●	●	●	●	●	●	●
	無効		2								
暖房サ-TOFF時 風量	微風	25	1	●	●	●	●	●	●	●	
	停止*4		2								
	設定風量		3								
冷房サ-TOFF時 風量	設定風量	27	1	●	●	●	●	●	●	●	●
	停止		2								
配管温度異常検出 (PB異常検出)	有効	28	1	●	●	●	●	●	●	●	●
	無効		2								

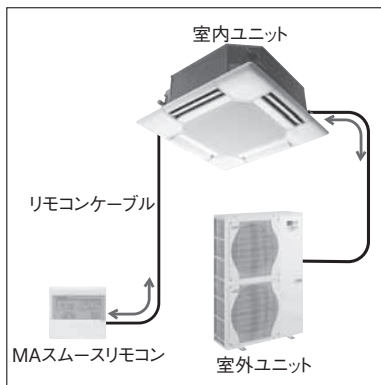
設定項目	設定内容	モト番号	設定番号	初期設定状態(工場出荷時) ー: 設定不可の項目							
				天吊			壁掛け		床置		
				MPC-RP-CA3	MPC-RP-HA3 (厨房用)	MPC-RP-BA3 MPC-RP-CA3	MPK-RP-CA3 ~80形	112形~	MPS-RP-CA3 MPS-RP-GA3	MPF-RP-BA3	
フィルターサイン表示 (ダストホック満杯表示※1)	7ヶ運転積算100時間 (清掃回数300回または7ヶ運転積算3000時間*)	07	1				●	●			
	7ヶ運転積算2500時間 (清掃回数1000回または7ヶ運転積算10000時間*)		2	●					●		
	表示無し (清掃回数1500回または7ヶ運転積算15000時間*)		3			●					●
風量	静音	08	1								
	標準		2	●			●	●			
	高天井		3								
吹出し口数	4方向	09	1								
	3方向		2								
	2方向		3								
おまかせ組込み (高性能フィルター)	無し	10	1	●							
	有り		2								
	上下へん設定		1	●		●					
ムーブアイ取付け位置	取付け位置①*2	12	1								
	取付け位置②*2		2								
	標準取付け位置*2		3								
加湿器組込み	無し	13	1								
	有り		2								
暖房・上下へん 冷風防止 デフロスト	低め(24~28℃)	14	1								
	標準(28~32℃)		2	●		●	●	●			
	高め(35~38℃)		3								
上下へん・スイング機能	スイング無し(01ド/07カセットの場合は「スイング有り・暖房デフロスト無効」)	23	1				●	●			
	スイング有り(01ド/07カセットの場合は「スイング有り・暖房デフロスト有効」)		2	●	●	●					
暖房時設定温度4℃*3アップ (暖房時室温補正)	有効	24	1	●	●	●	●	●	●	●	●
	無効		2								
暖房サ-TOFF時 風量	微風	25	1	●	●	●	●	●	●	●	
	停止*4		2								
	設定風量		3								
冷房サ-TOFF時 風量	設定風量	27	1	●	●	●	●	●	●	●	●
	停止		2								
配管温度異常検出 (PB異常検出)	有効	28	1	●	●	●	●	●	●	●	●
	無効		2								

※1 フィルター清掃ユニットを接続した場合同じとなります。
 ※2 ムーブアイパネルの据付説明書を参照してください。
 ※3 MPK-RP-CA3形は補正值「2℃」となります。
 ※4 熱ごもりにより、サーモ判定のズレが予想されますので、本設定にする場合は室温温度検知位置を「リモコン内蔵センサー」へ変更、または別売「温度センサー」を使用して、室温検知を適切な場所へ変更することを推奨します。

MA スムースリモコン

● PAR-24MA

使用目的 / 用途



- 本品はスリムエアコン A 制御機種共通のワイヤードリモコンです。
- スリムエアコン A 制御〈CT シリーズ〉の場合、スムーズメンテナンス機能でメンテナンス情報を表示することができます。

注意

- ・ MA スムースリモコンはスケジュールタイマー機能は搭載していません。

対象ユニット

- PAR-24MA : A 制御機種

仕様

形名	PAR-24MA
外形寸法	H120 × W130 × D19mm
質量	0.2kg
電源	DC12V 室内ユニットより伝送線を介して受電
使用環境条件	温度：0～40℃、湿度 30～90% RH（結露なきこと）
材質	PS
外観色	ピュアホワイト（マンセルNo 6.4Y8.9/0.4）
据付方法	JISC8340 の 2 個用のスイッチボックス（現地手配）へ取付、または壁に直付け。 MA リモコン線は、無極性 2 線で MA リモコン専用端子に接続。 別売品 リモコンケーブル：PAC-YT81HC/10m ：PAC-YT82HC/20m

機能表

項目	設定	表示	内容
運転 / 停止	○	○	運転 / 停止の切換が可能
運転モード切換	○	○	冷房 / ドライ / 自動 / 送風 / 暖房の切換が可能
室温設定	○	○	空調機により設定が異なります（下記は標準機種の場合です） 冷房・ドライ：19～30℃ / 暖房：17～28℃ / 自動：19～28℃
風速設定 *	○	○	風速の切換ができます。 *ユニットにより選択可能な風量は異なります。
風向設定 *	○	○	風向の切換ができます。 *ユニットにより選択可能な風向は異なります。
ルーバー設定 *	○	○	ルーバーの運転 / 停止切換が可能 *機能に対応しているユニットのみ可能です。
手元操作への禁止 / 許可	×	○	上位コントローラの設定により、運転 / 停止、運転モード、設定温度、フィルターサインリセット操作が禁止されます。 *禁止中は [集中管理中] が点灯します。
運転モードの切換制限	×	○	上位コントローラからの設定により、下記モードへの操作が禁止されます。 冷房禁止時：冷房・ドライ・自動 / 暖房禁止時：暖房・自動 冷暖禁止時：冷房・ドライ・暖房・自動
室温表示	—	○	空調機の運転時のみ、室内ユニットの吸込み温度を表示します。
異常表示	—	○	現在発生している異常内容を、アドレスとともに表示します。また、異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることも可能です。*異常内容によりアドレス表示しない場合もあります。
タイマー運転	○	○	簡易タイマー / 消し忘れタイマーの何れかを使用可能です。 ・簡易タイマー：ON/OFF を 1 回行うタイマー（1 時間単位で 72 時間まで、ON または OFF のみの設定も可能） ・消し忘れタイマー：運転後に一定時間経過すると休止するタイマー（運転時間を 30 分単位で 4 時間まで設定可能）
換気機器操作	○	○	フリープランユニット管理時 ・フリープラン用ロスナイの連動運転設定が可能 ・換気連動機器の停止 / 弱 / 強の切換可能 マスタースリムユニット管理時（A 制御） ・マイコンタイプロスナイの連動運転設定が可能 ・換気連動機器の弱 / 強の切換可能

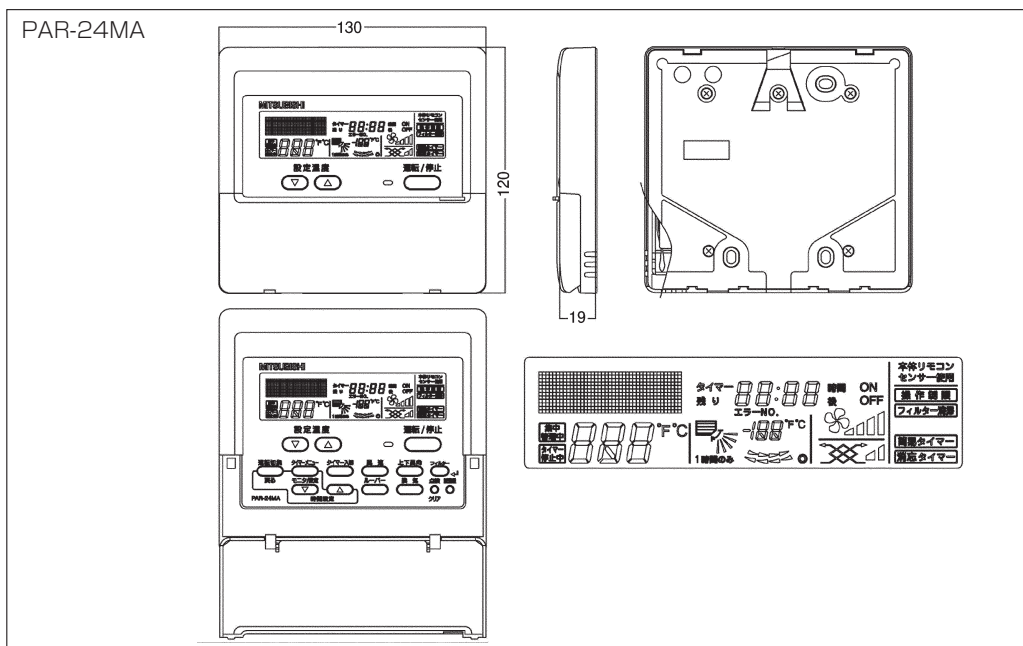
MA スムースリモコン

● PAR-24MA

機能表


項目	設定	表示	内容
言語切換機能	○	○	表示する言語（ドット表示部）を切換えることができます。
スムーズメンテナンス機能	○	○	メンテナンス安定運転への切換ができます。メンテナンス情報を表示することができます。＊メンテナンス機能対応のユニットのみ可能です。
異常時の連絡先表示機能	○	○	異常発生時に連絡する電話番号を登録し、表示することができます。＊異常発生時には登録されている電話番号を表示します。
温度設定範囲制限機能	○	○	初期設定により、室温設定の温度範囲を制限することができます。
操作制限機能	○	○	リモコンスイッチの操作ロックの設定 / 解除ができます。 ・全スイッチロック ・運転 / 停止スイッチ以外スイッチロック
外部入力	×	×	外部入力はできません。
外部出力	×	×	外部出力はできません。
自動昇降パネル操作	○	○	自動昇降パネルの上昇 / 下降の操作ができます。＊自動昇降対応ユニットのみ可能です。
ベーン角度固定	○	○	吹出口の角度の固定操作ができます。＊ベーン角度固定対応ユニットのみ可能です。

外形図 (単位 : mm)



WT04696X01

mitsubishi


三菱電機  空調管理システム

三菱電機スリムエアコン用共通

MA スムースリモコン PAR-24MA MA デラックスリモコン PAC-YT37ST

据付工事説明書

販売店・工事店さま用

この説明書は三菱電機  空調管理システム、直膨式マルチエアコン室内ユニット(Cタイプ以降)用と三菱電機スリムパッケージエアコン用共通のMAリモコンの据付工事についてのみ記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。なお空調機本体への配線、および空調機本体の据付工事に関しては、空調機本体の据付説明書をご覧ください。本説明書につきましては、据付工事完了後にお客様にお渡しください。

1 安全のために必ず守ること

- 据付工事はこの「安全のために必ず守ること」をお読みのうえ、確実にこなして下さい。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結びつくもの

- お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡し下さい。
- お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡し下さい。

警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、十分に耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。

改造、修理は絶対しない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。
修理はお買上げの販売店にご相談ください。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなす。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電機移設に関する技術基準」、「内線規定」、及び本説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

お客様自身で移設はしない。
据付工事に不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者に依頼下さい。

注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

病院、通信事業所などに据付けられる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。
インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤動作や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え人体の医療行為を妨げたり、映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

配線は張力がかからないように配線工事を行なう。
断線したり、発熱、火災の原因になります。

リモコンケーブル引き込み口を、パテで確実にシールする。
露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因となることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因となることがあります。

AC100VやAC200Vは絶対に印加しない。リモコンへの印加電圧は最大で12Vです。破壊、発火、火災の原因となります。

浴室など大量の湯気が発生する所には据付けない。
水のかかる場所、壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用する所へは据付けない。
感電、故障の原因になります。

配線は電流容量にあった規格品の電線を使用すること。
漏電や発熱、火災の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因となることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

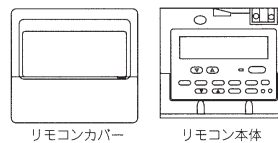
ボタンを先のとがった物で押さない。
火災、感電の原因となります。

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

1. リモコン (カバー、本体) 1
2. 十字穴付きナベネジ M4×30 2
3. 木ネジ M4.1×16 (壁に直接据付ける時使用) 2

※1 リモコンケーブルは別売です。現地で調達するか PAC-YT81HC(10m)、PAC-YT82HC(20m) をお求めください。
※2 PAC-YT30STは接続できません。



リモコンカバー

リモコン本体

3 据付方法

1. リモコン（スイッチボックス）の据付位置を決めてください。

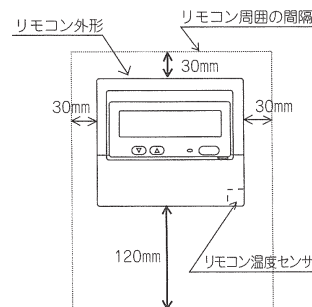
ただし、下記の事項を必ず守ってください。

- 温度センサはリモコンと室内ユニットの両方についていますが、リモコンの温度センサを使用する場合、主リモコンに設定したリモコンにて室温を検知します。主リモコンは部屋の平均的な温度を検知できる場所で、直射日光やエアコンの吹きだし空気が直接当たらないなど熱源の影響を与えない所に据付けてください。

△注意 室温と壁温の差が大きいところ（時）には、設置壁面温度の影響を受けた設置壁面表面付近温度を測定するため室温と差が出る可能性があります。以下のような設置状況の場合は室内ユニットの温度センサ使用を推奨いたします。

- ・室内の気流分布が悪く、設置壁面まで空気が到達しにくい場合
- ・設置壁面の温度と室温の差が大きい場合
- ・設置壁面の背面が外気に接している場合

また、急激な温度変化がある場合、温度検知の追従性は悪くなります。



設置壁面の影響を受けやすい場所に、かつリモコンの温度センサを使用する場合、別売のリモコン用スペーサ(形名:PAC-YT83RS)を使用ください。

(リモコンの主/従設定は(6機能選択) (1) リモコン [4]-3. (1)を、温度センサの設定についてはフリープランシステム室内ユニットの据付説明書、スリムエアコンでは(6機能選択) (2)ユニット機能選択をご覧ください)

- スイッチボックス、壁どちらに据付ける場合でも右図に示すスペースを確保してください。

お願い リモコンの温度センサの付近に配線がないことを確認してください。
配線などある場合、リモコンにて正確な室温を検知できません。

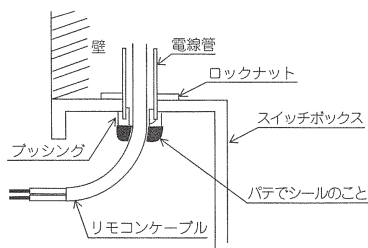
- 下記の部品は現地にて調達してください。

- ・2個用スイッチボックス (JIS C8340)
- ・薄鋼電線管 (JIS C8305)
- ・ロックナット、プッシング (JIS C8330)
- ・モール (JIS C8425)

2. 露、水滴、ゴキブリ、虫などの侵入防止のためリモコンケーブル引込口をパテで確実にシールしてください。

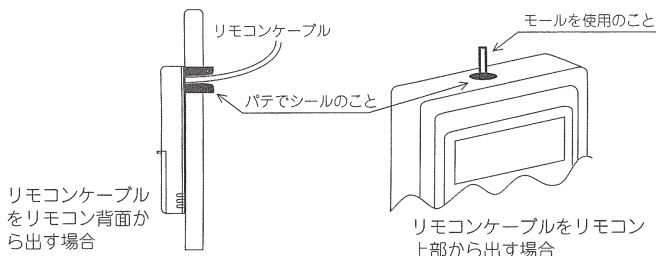
スイッチボックスを使用する場合

- ・スイッチボックスに据付けた場合はスイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールしてください。



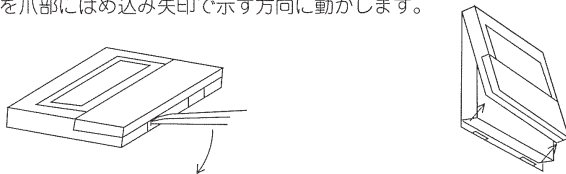
壁に直接据付ける場合

- ・壁に穴を開けリモコンケーブルを通す場合（リモコンケーブルをリモコン背面から出す場合）その穴をパテでシールしてください。
- ・上カバーの切り取った部分よりリモコンケーブルを通す場合は上カバーの切り取った部分を同様にシールしてください。
- ・リモコンケーブルを壁面で引回す場合はモールを使用して下さい。



3. リモコン本体のカバーを外します。

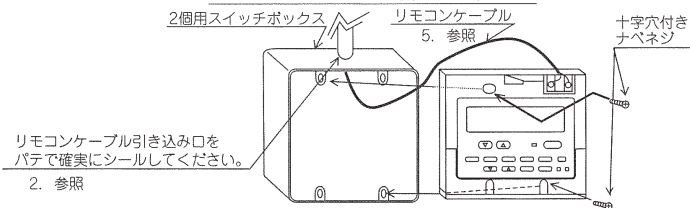
- ・マイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします。



△注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。
爪がこわれてしまうことがあります。

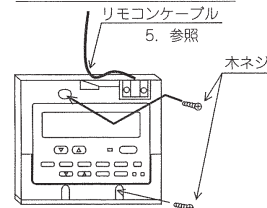
4. 下ケースをスイッチボックスまたは壁に据付けます。

スイッチボックスを使用する場合



リモコンケーブル引き込み口をパテで確実にシールしてください。
2. 参照

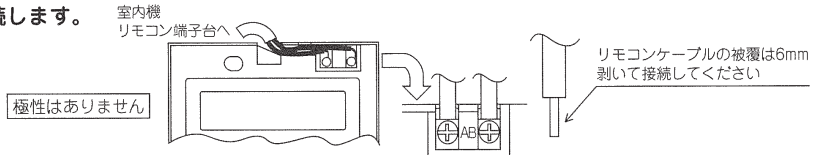
壁に直接据付ける場合



△注意 ネジを締めすぎないでください。下ケースの変形、割れの原因になります。

お願い 据付け面は平らな所をお選びください。
・スイッチボックスまたは壁への据付けは必ず2ヶ所以上を固定してください。
・再度、壁へ取付けの際は、モリーアンカーなどを使用し、確実に固定してください。

5. リモコンケーブルを本体の端子台に接続します。

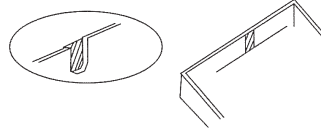


△注意 リモコンの端子台への接続に圧着端子は使用しないでください。基板と接触し故障の原因やカバーと接触し、カバー破損の原因になります。

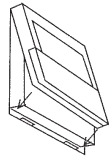
△注意 リモコンケーブルの切屑などがリモコン内部に入らないようにしてください。感電、故障の原因となることがあります。

6. 壁などに直接リモコンを据付ける場合の配線穴（露出配線の場合）

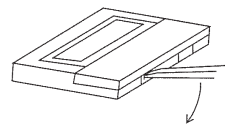
- ・カバーの内側薄肉部（斜線部）をナイフ・ニッパーなどで切り取ってください。
- ・端子台に接続したリモコンコードをこの部分から出します。



7. 本体にカバーをはめ込みます。



カバーを外す場合は右図のようにマイナスドライバーを爪部にはめ込み矢印で示す方向に動かします



上部爪（2ヶ所）を先に掛けて、上図のように本体にはめ込みます。

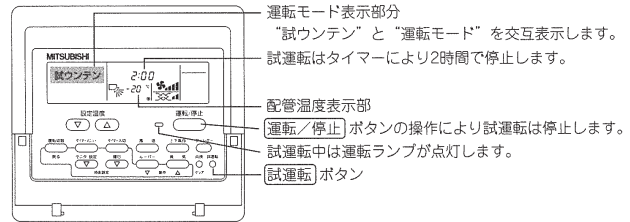
△注意 “パチッ”と音がするまで確実ににはめ込んでください。確実にハマっていない場合、落下の恐れがあります。

△注意 ドライバーを爪にはめ込んだ状態で回転させないでください。爪がこわれてしまうことがあります。

お願い 操作部には保護シートが貼ってあります。ご使用の際は、保護シートをはがしてください。

4 試運転

1. 試運転を行なう前に必ず室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。
2. **試運転** ボタンを3秒以内に2回押しすと、試運転が行なえます。
3. **運転/停止** ボタンの操作により試運転は停止します。
4. 試運転によって異常が発生した場合は室内ユニットの据付工事説明書の「試運転」項目をご覧ください。



5 換気設定

フリープラン機種でロスナイとの連動運転を行う設定が必要な場合のみ設定してください。

（スリムエアコンでは、設定できません。）

※上位コントローラが接続される場合は、上位コントローラより設定してください。

お願い ロスナイと連動設定させる場合、必ずグループ内全ての室内ユニットアドレスとロスナイのアドレスを連動設定してください。

リモコンが接続されている室内ユニットのロスナイ登録、登録した内容の検索、登録抹消設定を行う場合この操作を行います。ここでは、室内ユニットアドレス05、ロスナイアドレス30の場合を例に説明します。

〔操作手順〕

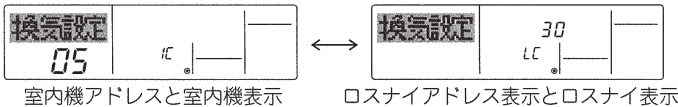
- ①リモコンの**運転/停止**ボタンで空調機を停止の状態にします。このとき、以下の停止表示でなければ、②の操作ができません。



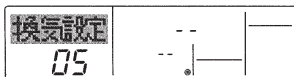
- ②**フィルター**と**ルーバー**ボタンを同時に2秒押ししますと下図の表示になり、現在リモコンが接続されている室内機が登録しているロスナイの検索を行います。



- ③登録検索結果
・室内機のアドレスと登録設定されたロスナイのアドレスを交互表示します。



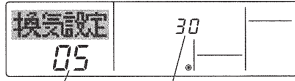
室内機アドレスと室内機表示
・ロスナイが登録設定されていない場合



- ④ここで、何も設定する必要がなければ、**フィルター**と**ルーバー**ボタンを同時に2秒押しし、終了します。新たにロスナイを登録する必要がある場合は、1. **登録操作**へ
ロスナイの検索をしたい場合は2. **検索操作**へ
いまの登録されているロスナイを抹消する場合は、3. **抹消操作**へ

1. 登録操作

- ⑤ ロスナイと登録設定したいリモコンが接続されている室内機のアドレスを設定温度 \square 、 \square を操作し、設定します。(01~50)
- ⑥ 登録設定したいロスナイのアドレスを時刻設定(または時間設定) \square 、 \square ボタンを操作し設定します。(01~50)

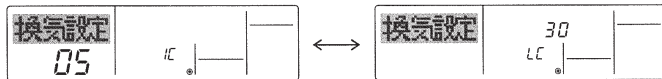


室内機アドレス、ロスナイアドレス

- ⑦ 試運転ボタンを押し、設定した室内機アドレスとロスナイアドレスの登録を行います。

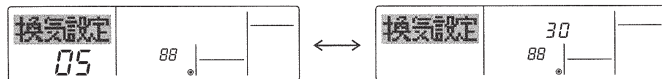
登録の完了表示

室内機のアドレスと「IC」、登録設定されたロスナイのアドレスと「LC」を交互表示します。



登録エラー表示

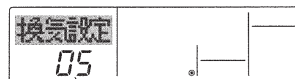
登録がうまく行かなかったとき室内機のアドレスと登録設定されたロスナイのアドレスを交互表示



登録設定した室内機またはロスナイが存在しないので登録ができません。
登録設定した室内機に別のロスナイが登録済みなので登録ができません。

2. 検索操作

- ⑧ ロスナイの検索をしたいリモコンが接続されている室内機のアドレスを設定温度 \square 、 \square ボタンを操作し、設定します。(01~50まで)

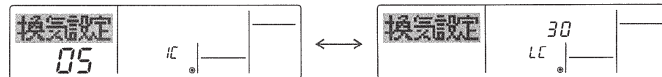


室内機アドレス

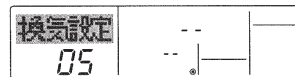
- ⑨ タイマーメニューボタンを押し設定した室内機アドレスに登録されたロスナイアドレスの検索を行います。

検索の完了表示(ロスナイ接続有りのとき)

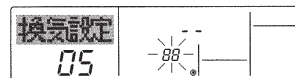
室内機のアドレスと「IC」登録設定されたロスナイのアドレスと「LC」を交互表示します。



検索の完了表示(ロスナイ接続なしのとき)



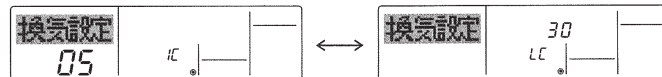
指定した室内機のアドレスが存在しません。



3. 抹消操作

リモコンが接続されている室内機とロスナイの登録設定を抹消する場合に使用します。

- ⑩ 抹消させたいロスナイの検索(2. 検索操作参照)を行い、室内機とロスナイの検索結果表示状態にします。



- ⑪ タイマー入切ボタンを2度押し、設定した室内機アドレスに登録されたロスナイアドレスの登録の削除を行います。

抹消の完了表示

室内機のアドレスと「--」、登録設定されたロスナイのアドレスと「--」を交互表示します。



抹消エラー表示

抹消がうまく行かなかったとき



6 機能選択

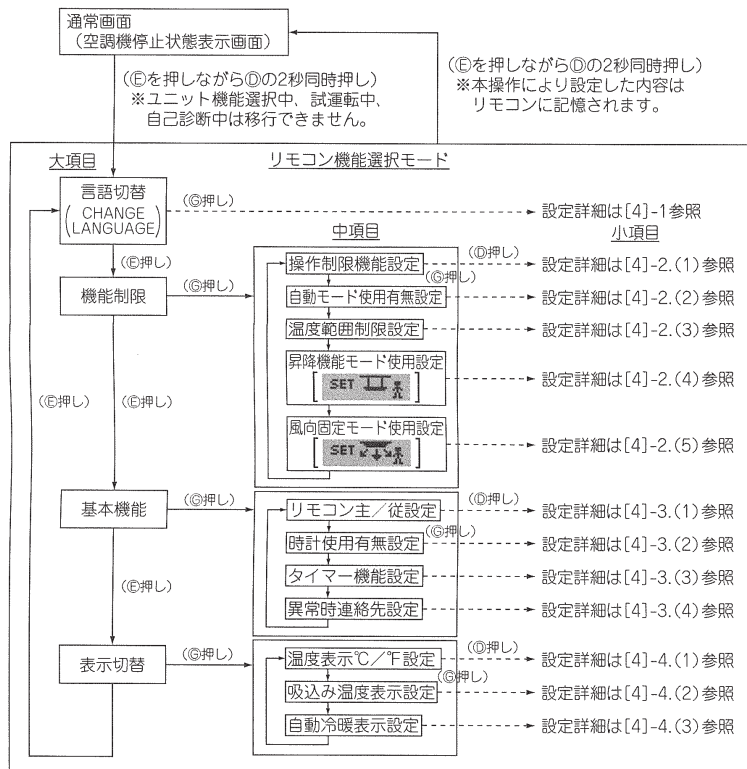
(1) リモコン機能選択

リモコン機能選択モードでは下記のリモコンの機能を設定変更できます。必要に応じ、設定変更をしてください。

大項目	中項目	小項目 (設定内容)
1. 言語切替 (CHANGE LANGUAGE)	表示する言語の設定を行います。	・多言語表示ができます。
2. 機能制限	(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)	・操作制限 (操作ロック) の範囲を設定します。
	(2) 自動モード使用設定	・運転モードの「自動」使用有無を設定します。
	(3) 温度範囲制限設定	・温度調節範囲 (上限・下限値) を設定します。
	(4) 昇降機能モード使用設定	・昇降機能モードの使用有無を設定します。
	(5) 風向固定モード使用設定	・風向固定モードの使用有無を設定します。
3. 基本機能	(1) リモコン主/従設定	・主リモコン、従リモコンを切替えます。 ※1グループ2台接続時どちらか一方を「従」設定にします。
	(2) 時計使用設定	・時計機能の使用有無を設定します。 ※PAR-24MAでは本設定はできません。
	(3) タイマー機能設定	・使用するタイマーの種類を設定します。
	(4) 異常時の連絡先設定	・異常発生時に連絡先の電話番号を表示させることができます。 ・電話番号の設定をします。
4. 表示切替	(1) 温度表示℃/°F設定	・表示する温度単位 (°C/°F) を設定します。
	(2) 吸込み温度表示設定	・室内 (吸込み) 温度表示の有無を設定にします。
	(3) 自動冷暖表示設定	・自動モード運転時の「冷房」「暖房」表示有無を設定します。

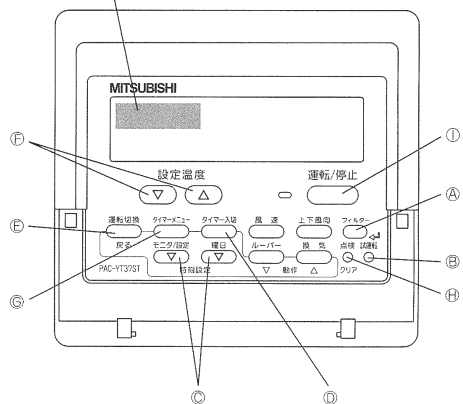
[機能選択の流れ]

- [1] 空調機を停止状態にして、リモコン機能選択モードに移行する → [2] 大項目を選択する → [3] 中項目を選択する → [4] 小項目 (内容を設定する) → [5] 設定完了 → [6] 通常画面に移行する (終了)



お知らせ
リモコン機能選択から通常画面に移行すると、タイマー運転は停止となります。

ドット表示部 (ドット表示は言語切替で設定した言語表示となります。本説明書は「日本語」設定の場合です。)



[設定詳細]

[4] -1. 言語切替設定

- 本設定により、ドット表示部に表示する言語を設定します。
・タイマーメニューボタンを押して下記内容を切替えます。
①日本語 (JP)、②英語 (GB)、③ドイツ語 (D)、④スペイン語 (E)、
⑤ロシア語 (RU)、⑥イタリア語 (I)、⑦中国語 (CH)、⑧フランス語 (F)

[4] -2. 機能制限設定

(1) 操作制限機能設定 (操作ロック)

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
①no1 : 運転/停止ボタン以外操作ロック設定となります。
②no2 : 全ボタン操作ロック設定となります。
③OFF (初期設定値) : 操作ロック設定なしとなります。

※通常画面にて操作ロックを実行するには、上記設定後に通常画面にて実行操作 (フィルターボタンと運転/停止ボタン同時2秒押し) が必要です。

(2) 自動モード使用設定

運転モード自動有リユニットに接続されている場合、下記内容の設定を行うことができます。

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
①ON (初期設定値) : 運転モード選択操作時に自動モードを表示します。
②OFF : 運転モード選択操作時に自動モードを表示しません。

(3) 温度範囲制限設定

設定内容変更後は、変更した範囲内で温度変更が可能となります。

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①冷房モード : 冷房ドライモードでの設定温度範囲を変更します。
 - ②暖房モード : 暖房モードでの設定温度範囲を変更できます。
 - ③自動モード : 自動モードでの設定温度範囲を変更できます。
 - ④OFF (初期設定値) : 温度範囲制限は実行されません。
- ※OFF以外が設定された場合、冷房、暖房、自動モードの温度制限設定が同時に実行されます。ただし、設定温度範囲が変更されていなければ制限は実行されません。
- ・設定温度▽ボタン、または設定温度△ボタンを押す毎に設定値がアップ、ダウンします。
- ・風速ボタンを押して上限値設定、下限値設定を選択を切替えます。選択された設定内容は点滅表示しており、この温度値を設定します。
- ・設定範囲
 - 冷房・ドライモード : 下限値 : 19°C~30°C 上限値 : 30°C~19°C
 - 暖房モード : 下限値 : 17°C~28°C 上限値 : 28°C~17°C
 - 自動モード : 上限値 : 19°C~28°C 下限値 : 28°C~19°C
- ※設定範囲は接続されるユニット (スリム機種、フリープラン機種、中温機種等) により異なります。

(4) 昇降機能モード使用設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
①ON : 昇降機能モードへの移行操作が有効となります。
②OFF : 昇降機能モードへの移行操作が常時無効となります。
※移行操作 : 停止表示中でのフィルターボタンと換気ボタンの同時2秒押し。

・昇降機能モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照ください。
昇降機能モードでは室内機グリル(パネル)の昇降を行うことができます。

(5) 風向固定モード使用設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 風向固定モードへの移行操作が有効となります。
 - ②OFF : 風向固定モードへの移行操作が常時無効となります。
- ※移行操作 : 停止表示中でのフィルターボタンと風速ボタンの同時2秒押し。
- ・風向固定モードでの設定詳細については、ユニットの説明書を参照ください。
風向固定モードでは吹出口毎にバンの位置を固定することができます。

[4] -3. 基本機能設定

(1) リモコン主/従設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①主 : 主設定となります。
 - ②従 : 従設定となります。

(2) 時計使用設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 時計機能が使用可能となります。
 - ②OFF : 時計機能が使用不可となります。

(3) タイマー機能設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます(いずれか一つを選択)。
 - ①タイマー週間(初期設定値_MAデラックス時) : 週間タイマー使用可能となります。
 - ②タイマーケジフスレ ボタン : 消忘れタイマー使用可能となります。
 - ③タイマーカンイ(初期設定値_MAスムーズ時) : 簡易タイマー使用可能となります。
 - ④タイマー無効 : タイマー未使用設定となります。
- ※時計使用有無設定がOFF設定時は、「タイマー週間」は選択できません。
※PAR-24MAでは週間タイマーは選択できません。

(4) 異常時連絡先設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①CALL-OFF : 異常中に設定した電話番号は表示されません。
 - ②CALL-0120 ***-*** : 異常中に設定した電話番号を表示します。
- CALL_ : 左記表示時、電話番号を設定します。
- ・電話番号設定方法
 - ①設定時に下記設定操作により電話番号を設定します。
点滅しているカーソル()を移動して、数字を設定してします。
設定温度△(マ) ボタンを押してカーソルを右(左)に移動させます。
時刻設定△ボタンまたは時刻設定マボタンを押して、番号を設定します。

[4] -4. 表示切替設定

(1) 温度表示℃/°F設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①℃ : 温度表示単位をセ氏表示にします。
 - ②°F : 温度表示単位を華氏表示にします。

(2) 吸込み温度表示設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 吸込温度を表示します。
 - ②OFF : 吸込温度は表示されません。

(3) 自動冷暖表示設定

- ・タイマー入切ボタンを押して下記内容を切替えます。
 - ①ON : 自動モード運転時、「自動冷房」または「自動暖房」表示のどちらかが表示されます。
 - ②OFF : 自動モード運転時、「自動」のみが表示されます。

(2) ユニット機能選択 [スリムエアコンで変更が必要な場合のみ設定してください。](フリープランでは、設定できません。)
リモコンより必要に応じて各ユニットの機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。

表1より機能選択が必要な項目を選択してください。

表1. 機能選択内容 (各ユニットの出荷設定内容、モードについての詳細はユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

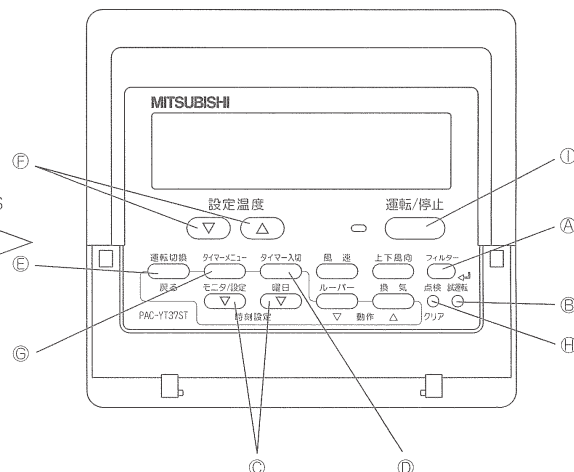
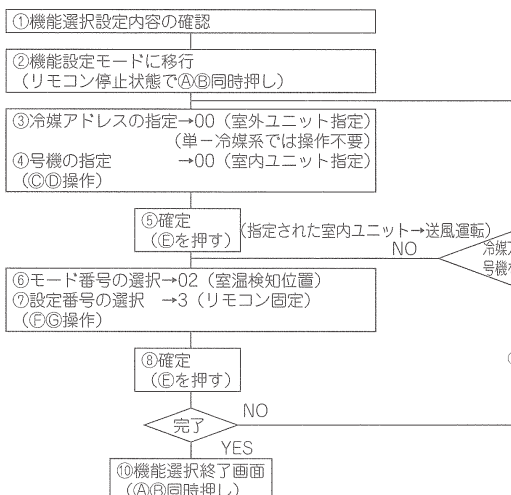
モード	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機
停電自動復帰	無し	01	1		00号機
	有り(電源回復後、約4分待機が必要です。)	01	2		
	同時運転室内ユニット平均	02	1		
室温検知位置	リモコン接続室内ユニット固定	02	2		全室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	リモコン内蔵センサ	02	3		
	接続無し	03	1		
ロスナイ接続	接続有り(室内ユニット外気取入無し)	03	2		01~04号機 又はAL
	接続有り(室内ユニット外気取入有り)	03	3		
	省エネサイクル自動有効	05	1		
自動運転モード	省エネサイクル自動無効	05	2		各室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	100時間	07	1		
	2500時間	07	2		
フィルターサイン	フィルターサイン表示無し	07	3		01~04号機 又はAL
	静音	08	1		
	標準	08	2		
風量	高天井	08	3		各室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	4方向	09	1		
	3方向	09	2		
吹出し口数	無し	10	1		各室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	有り	10	2		
オプション組込み	ベーン無し	11	1		各室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	ベーン有り第1設定	11	2		
	ベーン有り第2設定	11	3		
加湿器組込み	無し	13	1		各室内ユニットに対し 設定を行なう項目です。
	有り	13	2		

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表1のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

[機能選択の流れ]

まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは表1の「室温検知位置」の設定を例に説明します。

(実際の操作については[操作手順]①~⑩をご覧ください)

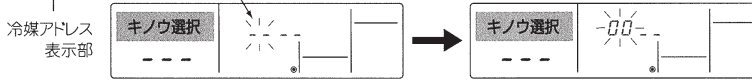


【操作手順】変更が必要な場合のみ設定してください。

①機能選択の各モードの設定内容を確認してください。機能選択にて各モードの設定内容を変更した場合、そのモードの機能が変わります。
②～⑦に従い現在の全設定内容を確認し、表1のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。なお、工場出荷時の設定については室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。

②リモコンを停止にします。

④フィルタと⑧試運転ボタンを同時に2秒以上押します。
キノウ選択が点滅し、しばらくするとリモコンの表示が下図の表示になります。



③室外ユニットの冷媒アドレスNo.を合わせます。

⑤▽△(時刻設定または時間設定)ボタンを押すと冷媒アドレスNo.が00～15の間で前後するので機能選択したい冷媒アドレスに合わせます。(単一冷媒系では操作不要です。)

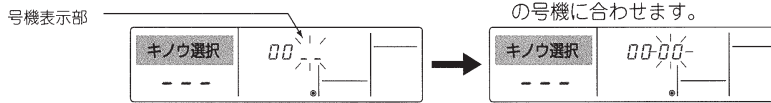
※機能選択および室温表示部に「88」を2秒間点滅後、停止状態となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

お願い 途中で操作を間違えた場合は、一度⑩にて機能選択を終了し、再度②より操作を行なってください。

④室内ユニットの号機を合わせます。

⑥タイムメニューボタンを押し、号機表示部「--」を点滅させます。

⑦▽△(時刻設定または時間設定)ボタンを押すと号機が00→01→02→03→04→ALと変化するので機能選択したい室内ユニットの号機に合わせます。

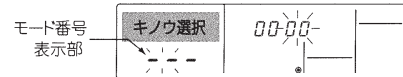


※モード1～3を設定する場合は、「00」に合わせてください。

※モード7～11を設定する場合は、
・各室内ユニットごとに行なう場合は、「01～04」に合わせてください。
・全室内ユニット一括に行なう場合は、「AL」に合わせてください。

⑤冷媒アドレス、号機の確定

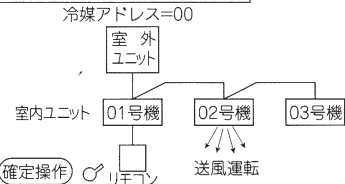
⑧運転切換ボタンを押し、冷媒アドレス、号機を確定します。
しばらくするとモード番号表示部「--」が点滅します。



※室温表示部に「88」が点滅表示する場合、選択した冷媒アドレスがシステム内にありません。
また、号機表示部が「F」となり、冷媒アドレス表示部とともに点滅表示となる場合は、選択した号機が存在しません。②、③にて冷媒アドレス、号機を正しく設定してください。

⑨⑩運転切換ボタンにて確定操作をすることにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのを知りたい場合はこれにより確認してください。なお、号機が00、ALの場合は選択した冷媒アドレスの全室内ユニットが送風運転します。

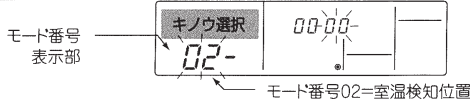
例) 冷媒アドレス00、号機=02確定時の場合



※異冷媒系統でグルーピング時、指定した冷媒アドレス以外の室内ユニットが送風運転する場合、ここで設定した冷媒アドレスの重複が考えられます。再度、室外ユニットのディップスイッチにて冷媒アドレスの確認をしてください。

⑥モード番号の選択

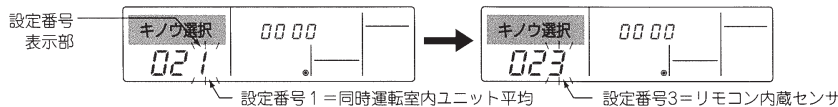
⑧▽△(設定温度)ボタンにより設定したいモード番号を設定します。(設定可能なモード番号のみ選択できます。)



⑦選択したモードの設定内容を選択します。

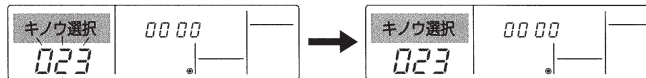
⑨タイムメニューボタンを押し、現在設定されている設定番号が点滅します。これにより現在の設定内容を確認してください。

⑩▽△(設定温度)により設定番号を選択します。



⑧③～⑦の設定内容を確定させる。

⑩運転切換ボタンを押すと、モード番号と設定番号が点滅し登録を開始します。モード番号、設定番号の点滅が点灯に変わり、設定が完了します。

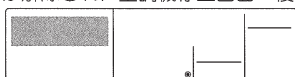


※モード番号および設定番号が「----」となり室温表示部に「88」が点滅表示となる場合は、通信異常が考えられます。伝送路の近くにノイズ源がないか確認してください。

⑨更に、他の機能選択を行う場合は、③～⑧の作業を繰り返して行ってください。

⑩機能選択を終了します。

④フィルタと⑧試運転ボタンを同時に2秒以上押します。
しばらくすると機能選択画面が解除され、空調機停止画面へ復帰します。



※機能選択終了後、30秒間はリモコンより操作しないでください。

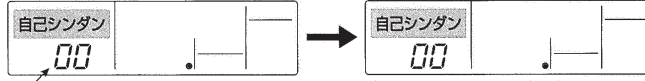
お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表1のチェック欄に○印などで記入して確認ください。

7 自己診断

リモコンにて各ユニットの異常履歴を検索します。

①自己診断モードに切替えます。

②点検ボタンを3秒以内に2回押しすと、下図の表示になります。



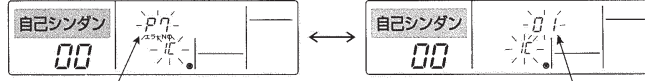
自己診断対象アドレスまたは、
自己診断対象冷媒アドレス

③自己診断したいアドレスまたは、冷媒アドレスNo.を合わせます。

④ [▽] [△] (設定温度) ボタンを押すと01~50または、00~15の間で前後するので自己診断したい自己診断対象アドレスNo.または、冷媒アドレスNo.に合わせます。

変更操作してから約3秒後、自己診断冷媒アドレスが点灯から点滅に変わり診断処理を開始します。

③診断結果表示 (異常履歴がある場合)
(異常コードの内容は室内ユニットの据付工事説明書またはサービスハンドブックをご覧ください)



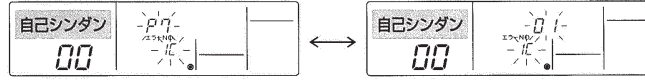
異常コード4ケタまたは、2ケタ
(異常履歴がない場合)

アドレス3ケタまたは、号機2ケタ
(相手が存在しない場合)



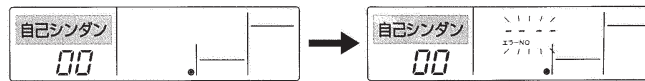
④異常履歴リセット操作

③の診断結果表示画面にて異常履歴を表示させます。



⑤タイマー入切ボタンを連続で3秒以内に2度押しすると自己診断対象アドレスまたは、冷媒アドレスが点滅します。

異常履歴がリセットされた場合、下図の表示になります。
なお、異常履歴リセットに失敗した場合は異常内容が再度表示されます。



⑤自己診断の解除

自己診断の解除には次の2通りの方法があります。

⑥点検ボタンを3秒以内に2度押し → 自己診断を解除し、自己診断前の状態になります。

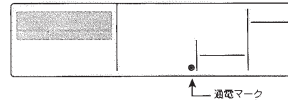
⑦運転/停止ボタンを押す → 自己診断を解除し、室内ユニットが停止となります。
(操作禁止状態時、この操作は無効です。)

8 リモコン診断

リモコンからの操作がきかない場合、本機能により、リモコン診断を行なってください。

①まずは通電マークを確認してください。

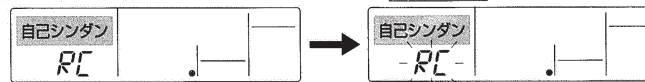
リモコンに正常な電圧 (DC12V) が印加されてない場合、通電マークは消灯しています。
通電マークが消えている場合は、リモコン配線、室内ユニットを点検してください。



②リモコン診断モードに移行

⑧点検ボタンを5秒以上押し続けると、下図の表示になります。

⑨フィルターボタンを押すと、リモコンの診断を開始します。



③リモコン診断結果

リモコン正常時

リモコン不良時

(異常表示1) 「NG」が点滅→リモコン送受信回路不良



リモコンに問題はありませので他の原因を調査してください。

リモコンの交換が必要です。

リモコン診断したリモコン以外に問題が考えられる場合

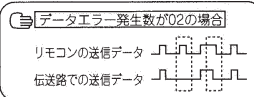
(異常表示2) 「E3」「6833」「6832」が点滅→送信不可

(異常表示3) 「ERC」とデータエラー数を表示→データエラーの発生



伝送線にノイズがのっている、あるいは室内ユニット、他のリモコンの故障が考えられます。伝送路、他のコントローラを調査してください。

データエラー発生数とはリモコンの送信データのビット数と実際に伝送路に送信されたビット数の差を意味します。この場合、ノイズなどの影響で送信データが乱れています。伝送路を調査してください。



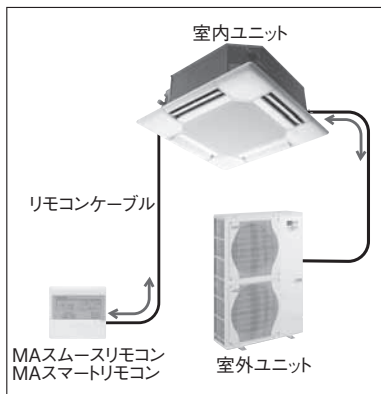
④リモコン診断の解除

⑧点検ボタンを5秒以上押しすと、リモコン診断を解除し、「PLEASE WAIT」、運転ランプが点滅し、約30秒後、リモコン診断前の状態に戻ります。

リモコンケーブル

● PAC-YT81HC(10m) ● PAC-YT82HC(20m)

使用目的 / 用途



●“リモコンケーブル”は、室内ユニットとリモコン（MA スームスリモコン、MA スマートリモコン）を配線する2芯ケーブルです。

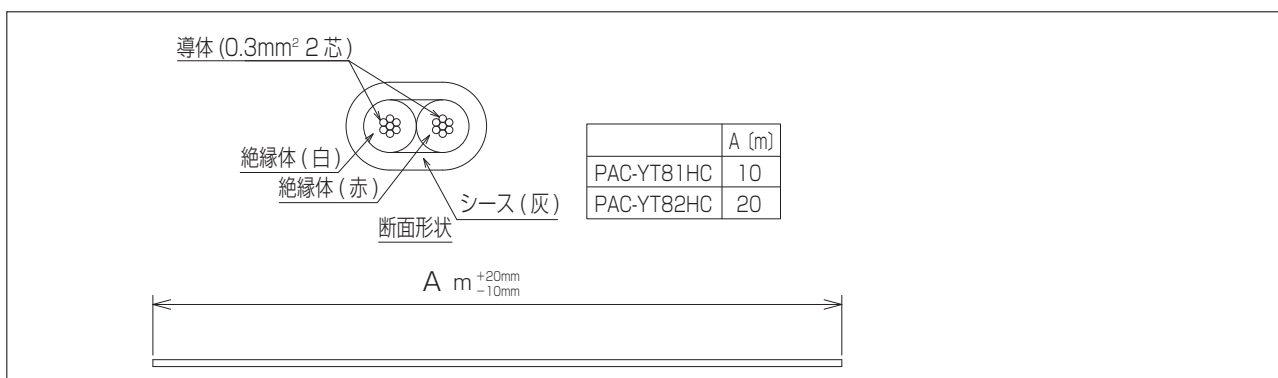
対象ユニット

● A/K 制御機種

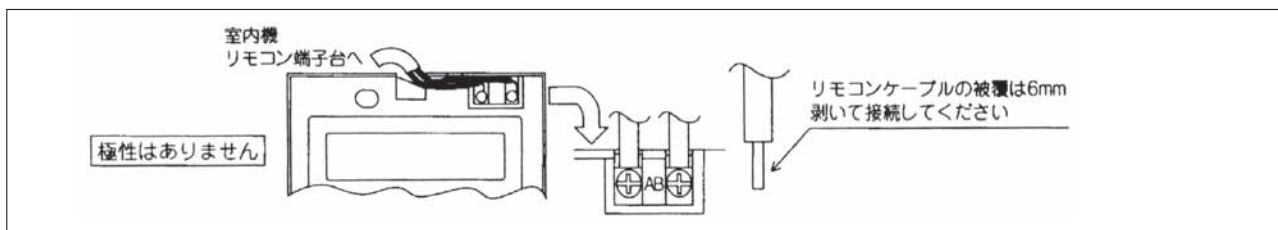
仕様

形名	PAC-YT81HC	PAC-YT82HC
線長	10 m	20 m
線種	ビニルシースケーブル	

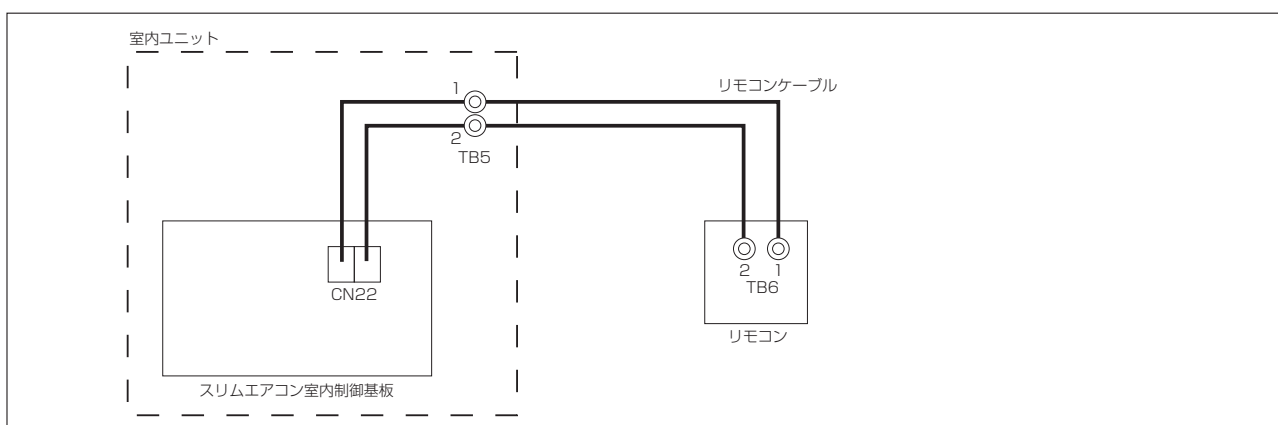
外形図



取付方法



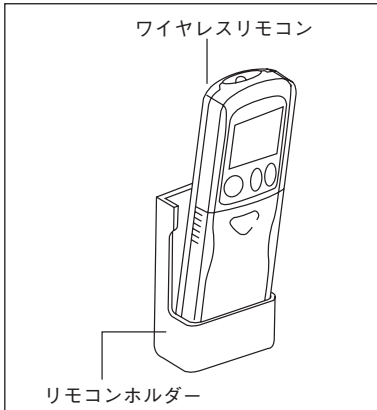
電気配線図



ワイヤレスリモコン (操作部)

● PAR-SL9MA

使用目的 / 用途



- “ワイヤレスリモコン” は、A/K 制御機種共通です。
- 本品は受光部が必要です。但し、MPK-RP・GA2形、MPKZ-RP・GA2形は受光部が室内ユニットに内蔵されています。
- 本品には、リモコンホルダーが付属しております。紛失等を防ぐ為にご使用ください。

注意

- ・ 中温用パッケージエアコンには本品は使用できません。
- ・ MPKH-RP40～80KAL3には本品は使用できません。

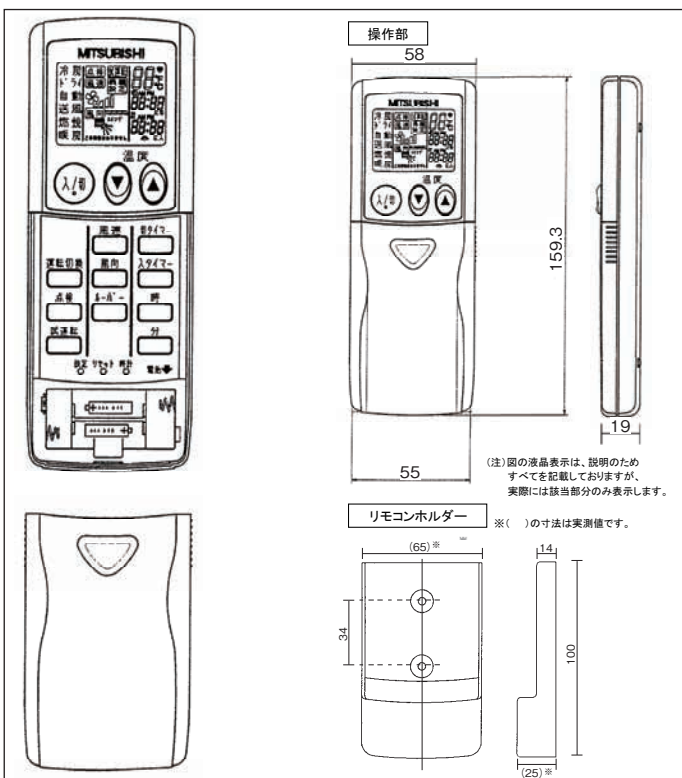
対象ユニット

- A/K 制御機種

仕様

形名	PAR-SL9MA	タイマー機能	10分単位で開始：終了時刻を各々設定：表示 / 1日
運転 / 停止	運転・運転内容を液晶表示	電源	DC3V (単4アルカリ電池 2本使用 (付属))
運転モード	冷房 / ドライ / 送風 / 自動 / 暖房 切換・表示	使用環境条件	温度：0～40℃、湿度：30～90%RH (結露なきこと)
室温調節	冷房 / ドライ : 19～30℃ / 1℃単位で設定 / 表示 暖房 : 17～28℃ / 1℃単位で設定 / 表示 自動 : 19～28℃ / 1℃単位で設定 / 表示	外形寸法	159.3(H) × 58(W) × 19(D)
		外装	ホワイト (ABS樹脂)
風速調節	静粛 / 弱 / 中 / 強 4ノッチ切換・表示	据付方法	付属リモコンホルダーを壁面に直付け
風向調節	上下：ベーンの吹出角度固定4段階・スイング計5段階切換・表示 左右：“この機能はありません”表示	付属品	単4アルカリ乾電池2本、リモコンホルダー、 取付用ネジ (4.1 × 16) 2本
時刻表示	時 / 分表示 (現在時刻・開始時刻・終了時刻)		

外形図 (単位：mm)



RG79V258H01

(本マニュアル用に変更・修正しています)

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン PAR-SL9MA

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。よくお読みの上、正しく据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- ・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、確実にこなしてください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの
△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの

- ・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の時は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。
お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。

据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなう。
強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。

改造、修理は絶対しない。
改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。

お客様自身で移設はしない。
据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。

据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなう。
据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。

電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。
電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。

△注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。
万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。

特殊環境には、使用しない。
油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。

病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分にこなう。
インバーター機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。

本機を水洗いしない。
感電、故障の原因になることがあります。

本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。
変形、故障の原因になることがあります。

浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。
壁が結露するような場所は避けてください。感電、故障の原因になることがあります。

酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。
感電、故障の原因になることがあります。

基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。
火災、故障の原因になることがあります。

濡れた手でボタンを操作しない。
感電、故障の原因になることがあります。

ボタンを先のとがった物で押さない。
感電、故障の原因になることがあります。

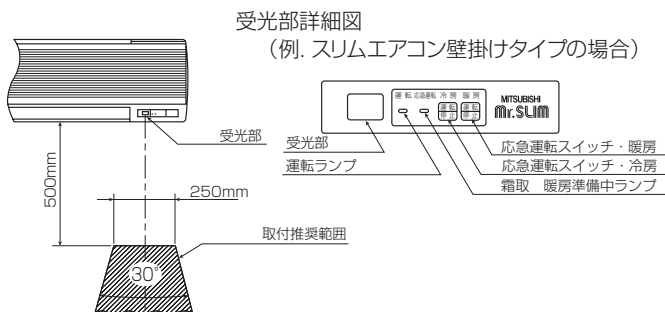
2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

部品名称	個数
ワイヤレスリモコン操作部	1
リモコンホルダー	1
単4形アルカリ乾電池	2
タッピンネジ 4.1×16	2
取扱説明書	1

3 据付方法

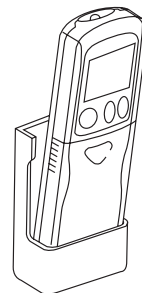
- リモコンホルダーを付属しております。紛失などを防ぐためにご使用ください。
- リモコンは下記の場所に取付けてください。
 - 直射日光の当たらない場所
 - 近くに熱源のない場所
 - ユニットからの冷風（または温風）が当たらない場所
 - リモコンの操作が容易で、表示部がよく見える場所
 - 幼児の手が届かない場所



【お願い】

- ※室内に蛍光灯が取付けられている場所には蛍光灯を点灯させ、室内ユニットが信号を受信することを確認した位置へ取付けてください。室内ユニットが信号を受信すると「ピッ」と音がでます。（壁面、天井などの反射により上図以外の範囲でも受信可能です。）
- 「電子式点灯方式の蛍光灯（インバーター蛍光灯など）を付けた室内では、信号を受け付けられない場合があります。」
- ※受光距離は、直線で約7m程度です。受光範囲は左右約45°程度です。
- ※テレビ、ラジオより1m以上離れた場所に取付けてください。（画像の乱れや、雑音が生じることがあります。）

- リモコンの取付けは、付属のタッピンネジを使用してリモコンホルダーを壁面に固定した後、リモコンをリモコンホルダーにはめ込みます。

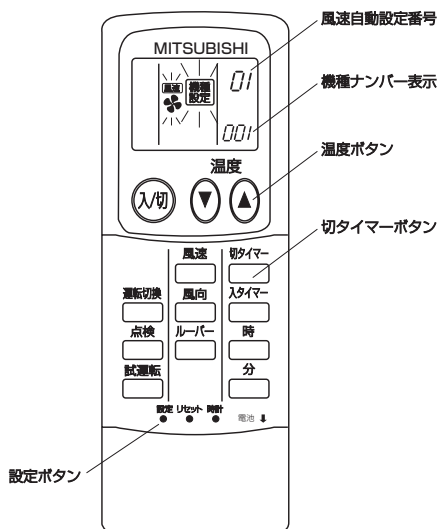


4 風速自動設定方法

室内ユニットに風速自動機能がある場合は、本設定を行うことにより、ワイヤレスリモコンから風速自動が選択可能になります。

【操作手順】

- 設定ボタンを押します。（ボールペンなど先の細いもので押し下下さい。）
リモコン表示が停止の状態から操作してください。
機種設定 が点滅、機種ナンバー（3桁の数字）が点灯表示します。
- 切タイマー ボタンを押します。
風速 が点滅表示し、風速自動設定番号が点灯表示します。（設定番号01：風速自動なし）
- 温度ボタンを押して設定番号を02に合わせます。（設定番号02：風速自動あり）
※操作を間違えた場合は、入切 ボタンを押し、2.の操作からやり直してください。
- 設定ボタンを押します。（ボールペンなど先の細いもので押し下下さい。）
設定されたペアナンバーが3秒間点灯した後、消灯します。



5 機種設定方法

操作対象となる室内ユニット形名に対応した機種設定を行ってください。設定しない場合、正しく動作しない場合があります。

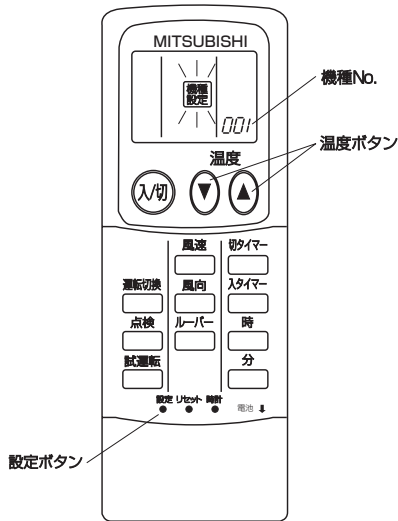
1. ワイヤレスリモコンにより操作する室内ユニット形名を確認します。
2. 機種設定表により、リモコンの機種No.を設定します。設定は、操作手順に従って設定してください。

【機種設定表】

冷暖タイプ	機種No.	室内ユニット形名(代表形名のみ記載)		冷暖タイプ	機種No.	室内ユニット形名(代表形名のみ記載)	
		スリムエアコン	フリープランシステム			スリムエアコン	フリープランシステム
冷暖兼用タイプ (冷/自/送/暖)	001 工場出荷時	(M)PL-AA/BA形	PLFY-AM/BM形	冷房専用タイプ (冷/ド/送)	033	(M)PL-AA/BA形	PLFY-AM/BM形
		(M)PL-JA形	PLFY-JM形			(M)PL-JA形	PLFY-JM形
		(M)PC-GA/MPC-KA形	PMFY-BM形			(M)PC-GA/MPC-KA形	PMFY-BM形
		(M)PK-GA	PCFY-GM/KM形			(M)PK-GA形	PCFY-GM/KM形
		(M)PK-FA形	PKFY-AM形			(M)PK-FA形	PKFY-AM形
	002	(M)PL-LA形	PLFY-LMD(22~112)形		034	(M)PL-LA形	PLFY-LMD(22~112)形
		MPK-KA形	PLFY-CM形			MPK-KA形	PLFY-CM形
	009		PLFY-LMD(140)形		041		PLFY-LMD(140)形
			PKFY-BM形				PKFY-BM形
	011	(M)PL-PA形			043	(M)PL-PA形	
		(M)PM-EA形	PMFY-EM形			(M)PM-EA形	PMFY-EM形
	015	(M)PD-FA(40~80)形	PDFY-M(22~80)形		049	(M)PD-FA(40~80)形	PDFY-(22~80)M形
	019	(M)PC-HA形	PCFY-HM形		051	(M)PC-HA形	PCFY-HM形
(M)PC-BA/CA形			(M)PC-BA/CA形				
(M)PD-FA(112~160)形		PDFY-M(90~140)形	(M)PD-FA(112~160)形	PDFY-(90~140)M形			
(M)PE-CA形		PEFY-AM形	(M)PE-CA形	PEFY-AM形			
		PEFY-M(45~160)形		PEFY-(45~160)M形			
020	(M)PF-BA形		052	(M)PF-BA形			
	(M)PE-BA形	PEFY-M(224~280)形		(M)PE-BA形	PEFY-(224~280)M形		
023	(M)PS-GA形	PSFY-GM形	055	(M)PS-GA形	PSFY-GM形		
	MPS-KA形			MPS-KA形			

- 注1. 機能選択でリモコン操作に関わる設定を変更した場合は、機種No.一覧表により機種No.の設定を行ってください。
 (例:上下ベーン有無設定(機能選択モード11)の変更,スイング有無設定(同モード23)の変更など)
- 注2. 室内ユニットタイプが同じでも、能力や年式により機能が異なる場合があります。その場合は、技術資料等にて操作する室内ユニットが持つ機能を確認し、機種No.一覧表に従って機種No.を設定してください。
- 注3. 上表に記載のない室内ユニットの場合は、技術資料等にて室内ユニットが持つ機能を確認し、機種No.一覧表に従って機種No.を設定してください。

【操作手順】



1. ボールペンなど、先の細いもので設定ボタンを押します
 2. 温度ボタンを押して機種No.を合わせます
 3. ボールペンなど、先の細いもので設定ボタンを押します
- "機種設定" が点滅し、機種No. "001" が点灯します。(工場出荷時は "001" に設定されています)
 - 操作を間違えた場合は **入切** ボタンを押して、再度機種No.を設定してください。
 - "機種設定" および設定した機種No.が3秒間点灯した後、消灯します。
 - **入切** ボタンを押してワイヤレスリモコンを表示させ、設定した機種No.の機能となっていることを確認してください。

【機種No.一覧表】

	機種No.	001	002	003	004	005	006	007	008	009	010	011	012	013	014	015	016	017	018	019	020	021	022	023	024	025	026	027	028	029	030	031	032	033	034	035	036	037	038	039	040	041	042	043											
1. 風速	①4速																																																						
	②3速																																																						
	③2速																																																						
	④1速																																																						
2. ルーバー	①ルーバー無し																																																						
	②ルーバー有り																																																						
3. 風向	①ベーン有り/スイング有り																																																						
	②ベーン有り/スイング無し																																																						
	③ベーン無し																																																						
	④未定義(ベーン無し)																																																						
4. 運転モード	①冷房/ドライ/自動/送風/暖房																																																						
	②冷房/ドライ/送風																																																						
	③冷房/ドライ/自動/暖房																																																						
	④冷房/ドライ/自動/送風/燃焼暖房/暖房																																																						
	⑤冷房/送風																																																						
	⑥冷房/自動/送風/暖房																																																						
	⑦冷房/送風/暖房																																																						
	⑧冷房/ドライ/送風/暖房																																																						

6 ペアナンバー設定方法

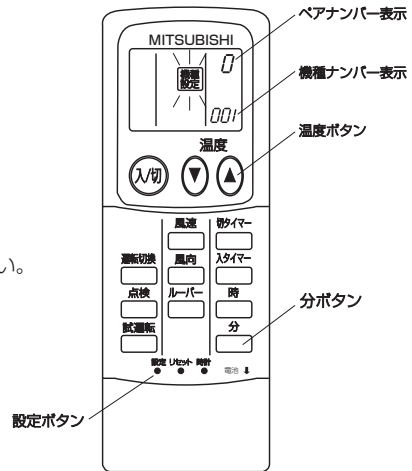
- ペアナンバー設定とは、ワイヤレスリモコンで操作するユニットを指定するための設定です。**特に指定を必要としない場合は、本設定は不要です。**
(工場出荷時は室内ユニット側(受光部側)及びワイヤレスリモコン側のペアナンバーは“0”となっています)
- 指定が必要な場合は、室内ユニット側(受光部側)の設定とワイヤレスリモコン側の設定操作を行い、右表のように合わせます。

ワイヤレスリモコン側 ペアナンバー設定	室内ユニット側設定	
	ビル空調フリープラン システムの場合	スリムエアコン Mr.SLIMの場合
0	0	切断せず
1	1	J41のみ切断
2	2	J42のみ切断
3	3	J41 & J42切断
4	4	
5	5	
6	6	
7	7	
8	8	
9	9	

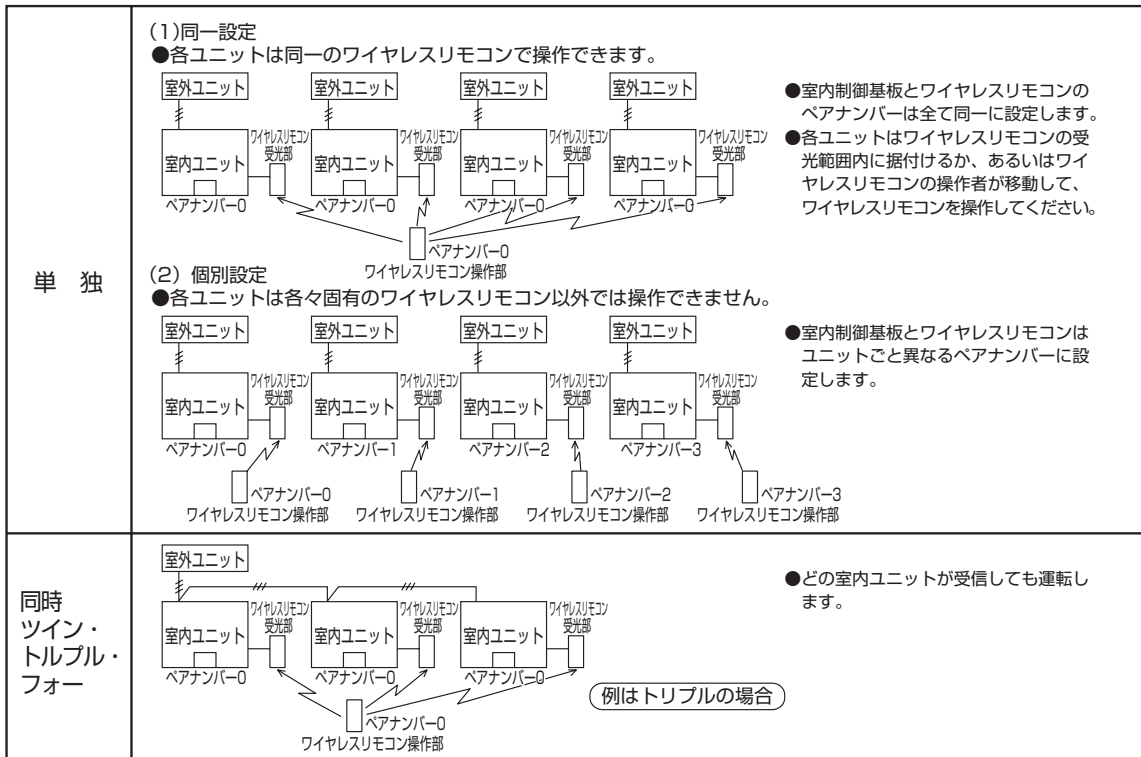
※詳細は受光アダプターの据付説明書を参照してください

[ワイヤレスリモコンペアナンバー設定操作]

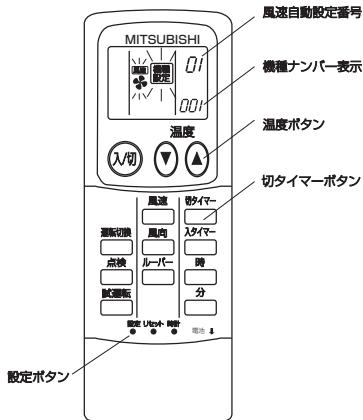
1. 設定ボタンを押します。(ボールペンなど、先の細いもので押して下さい)
リモコン表示が停止の状態から操作してください。
機種設定 が点滅、機種ナンバー(3桁の数字)が点灯表示します。
2. 分 ボタンを、2回連続押します。ペアナンバーが点滅表示します。
3. 温度ボタンを押して設定したいペアナンバーに合わせます。
※操作を間違えた場合は、(入切)ボタンを押し、2.の操作からやり直してください。
4. 設定ボタンを押します。(ボールペンなど、先の細いもので押して下さい)
設定されたペアナンバーが3秒間点灯した後、消灯します。



●設定例(スリムエアコンの場合)



7 試運転方法



【操作手順】

- 電源を入れる
※電源投入後、約3分間はシステム立上げ中です。
- 試運転** ボタンを2回連続押します
● “**試運転**” 及び運転内容を表示します。
● リモコン表示が停止の状態から操作してください。
- 運転切換** ボタンを押します
● 運転モードが冷房⇄暖房に切換わります。
冷房 …… 冷風の吹出しを確認
暖房 …… 温風の吹出しを確認 (少し時間がかかります)
- 風速** ボタンを押します
● 風速が変化することを確認します。
- 風向** ボタンを押します
● オートペーンの作動を確認します。
- 室外ユニットのファンの運転を確認します
● 室外ユニットは、ファンの回転数をコントロールし能力制御をしています。そのため外気の状態によっては、ファンは低速で回り、能力不足にならない限りその回転数を保持します。従って、そのときの外風によりファンが停止又は逆回転となることがありますが、異常ではありません。
- 入切** ボタンを押します
または
試運転 ボタンを2回連続押します
● 試運転が解除されます。

- 試運転は、2時間の **切** タイマーが作動し、2時間後に自動的に停止します。
- 同時ツイン・トリプル・フォーの場合は、全ての室内ユニットが確実に運転することを確認してください。誤配線等でも異常表示しない場合があります。

8 ユニットの機能選択

本設定は**スリムエアコンの場合**の設定方法です。フリープランシステムの場合は、室内及び室外制御基板上的のディップスイッチで設定を行います。ディップスイッチの設定方法はフリープランシステムの技術資料等を参照してください。

リモコンより必要に応じて各機能を設定します。各ユニットの機能選択はリモコンからのみ設定可能です。

表1より機能選択が必要な項目を選択してください。

なお、ワイヤレスリモコン操作部からはワイヤレス機種が接続された冷媒系統のみ設定可能です。ワイヤレスリモコン操作部では冷媒アドレス指定はできません。

表1 機能選択内容 (各室内ユニットの出荷時設定内容、モードについての詳細は室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)

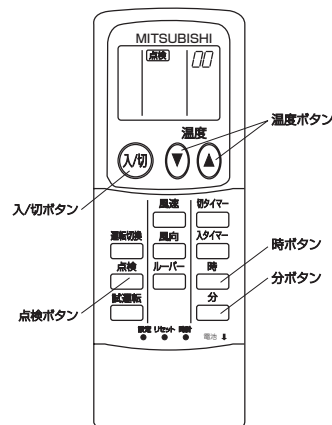
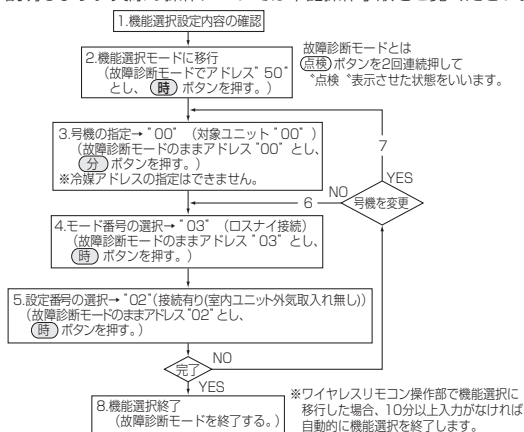
設定項目	設定内容	モード番号	設定番号	チェック欄	対象号機の設定	
停電自動復帰	なし	01	01		“00”号機	
	あり		02			
室温検知位置	同時運転室内ユニット平均	02	01			“01”～“04”号機 ⇒設定したい対象号機No.を指定 または“07” ⇒全号機に対し同じ設定をする場合
	室内ユニット固定(本設定を受けた室内ユニット室温検知に固定)		02			
ロスナイ接続	接続なし	03	01			
	接続あり(室内ユニット外気取入れなし)		02			
	接続あり(室内ユニット外気取入れあり)		03			
フィルターサイン表示 (*ダストボックス 満杯表示)	ファン運転積算100時間 (*1清掃回数300回またはファン運転積算3000時間)	07	01			
	ファン運転積算2500時間 (*1清掃回数1000回またはファン運転積算10000時間)		02			
	表示なし (*1清掃回数1500回またはファン運転積算15000時間)		03			
風量	静音	08	01			
	標準		02			
	高天井		03			
吹出し口数	4方向	09	01			
	3方向		02			
	2方向		03			
	2方向		03			
オプション組込み (高性能フィルター)	なし	10	01			
	あり		02			
上下ペーン設定	第3設定(やや下吹き角度)	11	01			
	第1設定(標準角度)		02			
	第2設定(やや上吹き角度)		03			
ムーブアイ取付け位置	取付け位置①*2	12	01			
	取付け位置②*2		02			
	標準取付け位置*2		03			
加湿器組込み	なし	13	01			
	あり		02			

*1 フィルター自動清掃パネルを接続した場合となります。
*2 ムーブアイパネルに同梱の説明書を参照してください。

お願い 工事完了後、機能選択により室内ユニットの機能を変更した場合は、必ず全設定内容を表中のチェック欄に○印等で記入してください。

【機能選択の流れ】

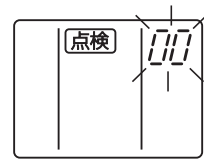
まずは機能選択の流れをつかんでください。ここでは【表1】の“ロスナイ接続”を“接続有り(室内ユニット外気取入れ無し)”の設定を例に説明します。実際の操作については下記操作手順をご覧ください。



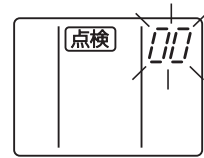
【操作手順】

1. 機能選択の設定内容を確認してください。
機能選択にて設定内容を変更した場合、そのモードの設定内容が変わります。2～8に従い現在の設定内容を確認し、【表1】のチェック欄に記入の上、設定を変更してください。

2. [点検] ボタンを2回連続押します。
(リモコン表示が停止の状態から操作してください。)
→ [点検] が点灯表示し“00”が点滅表示します。
▼ 温度ボタンを1回押して“50”に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [時] ボタンを押します。

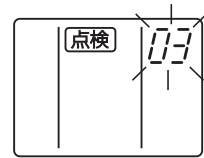


3. 室内ユニットの号機を合わせます。
▲、▼ 温度ボタンを押して室内ユニットの号機に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [分] ボタンを押します。
[分] ボタンにて号機を入力することにより、確定された室内ユニットが送風運転を開始します。機能選択する号機の室内ユニットがどこにあるのか知りたい場合はこれより確認してください。なお、号機が“00”“07”(室内ユニットの据付工事説明書のAL号機と同じ意味付けとなります)の場合は同一冷媒内の全室内ユニットが送風運転します。
※設定できない号機を入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度号機を入力し直してください。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、ブザー音“ピピッ”出力)は、再度号機を入力し直してください。



00号機

4. モード番号の選択
▲、▼ 温度ボタンを押して設定したいモード番号に合わせます。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [時] ボタンを押します。
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する現在設定値を出力します。

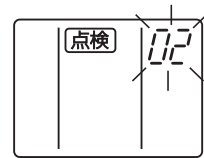


モード番号 03 ロスナイ接続

出力は現在設定値=1→ピー(1秒)×1回
2→ピー(1秒)×2回
3→ピー(1秒)×3回

※設定できないモードを入力した場合は、ブザー音“ピーピーピー(0.4秒+0.4秒+0.4秒)”が出力(ブザー音のみ出力)されます。この場合は、再度モード番号を入力し直してください。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度モード番号を入力し直してください。

5. 選択したモードの設定番号を入力します。
▲、▼ 温度ボタンを押して設定番号を選択します。
ワイヤレスリモコン受光部に向けながら [時] ボタンを押します。
→このとき、ブザー断続音と運転ランプ点滅により、選択したモード番号に対する設定番号を出力します。

設定番号 02 接続有り
(室内ユニット外気取入れ無し)

設定番号=1→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×1回
2→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×2回
3→ピーピー(0.4秒+0.4秒)×3回

※設定できない番号を入力した場合は、元々設定されていた番号に設定されます。
※正常に受信できなかった場合(ブザー音出力せず、またはブザー音“ピピッ”出力)は、再度設定番号を入力し直してください。

6. 室内ユニットの号機を変更せずに、更に他のモードを設定する場合は4., 5. を繰り返してください。
7. 室内ユニットの号機を変更して、機能選択を行う場合は3. ~5. を繰り返してください。
8. 機能選択を終了します。

入切 ボタンを押します。

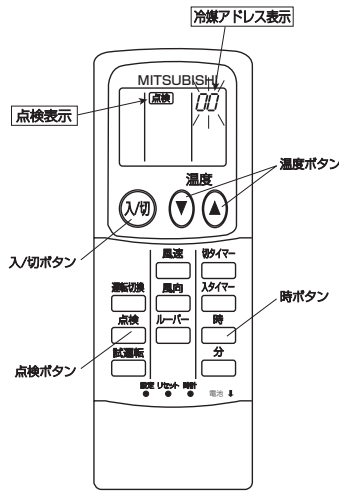
機能選択終了後、30秒間はワイヤレスリモコンより操作しないでください。

【お願い】

工事完了後、機能選択により室内ユニット機能を変更した場合は、必ずすべての設定内容を表のチェック欄に○印等で記入してください。

9 自己診断

本操作はスリムエアコンの場合の操作方法です。フリープランシステムにおける自己診断の操作方法は、フリープランシステムの技術資料等を参照してください。

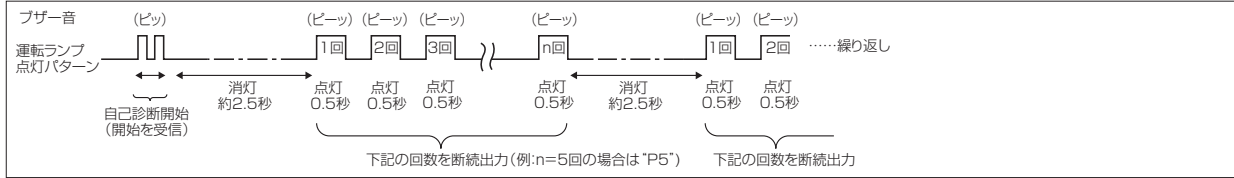


【操作手順】

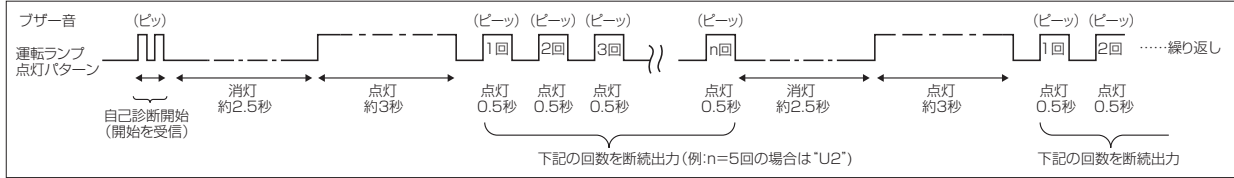
1. [点検] ボタンを2度押します
 - “[点検]” が点灯し、冷媒アドレス表示“00”が点滅します。
 - リモコン表示が停止の状態から操作してください。
2. (▼)、(▲) 温度ボタンを押します
 - 自己診断を行なう室内ユニットの冷媒アドレスに合わせます。
 - ※冷媒アドレスの設定は室外ユニットディップスイッチ (SW1) にて行ないます。
(詳細は室外ユニットの据付工事説明書をご覧ください。)
3. 室内ユニット受光部に向けながら [時] ボタンを押します
 - このとき、エアコンに異常がある場合室内ユニット受光部からブザーの断続音、運転ランプの点滅により、点検コードを出力します (出力は点検モードを解除するまで継続します)。
4. 室内ユニット受光部に向けながら (入切) ボタンを押します
 - 点検モードが解除されます。

●点検コードの出力内容は下記をご覧ください。

【出力パターンA】



【出力パターンB】



【出力パターンA】 室内ユニットが検出する異常

ブザー音 回数 運転ランプ 点灯回数	点検コード	不 具 合 内 容	備 考
1回	P1	吸込センサー異常	
2回	P2, P9	配管 (液管または二相管) センサー異常	
3回	E6, E7	室内ユニット-室内ユニット間の通信異常	
4回	P4	ドレンセンサー異常 / ドレンフロースイッチコンネクタCN4F外れ	
5回	P5	ドレンオーバーフロー保護作動	
	PA	漏水異常	
6回	P6	凍結保護作動 (冷房時) / 過昇保護作動 (暖房時)	
7回	EE	組み合わせ異常 (システム異常)	
8回	P8	配管温度異常	
9回	E4	ワイヤードリモコン-室内ユニット間の通信異常	
10回	-	-	
11回	-	-	
12回	Fb	室内制御系異常 (メモリー異常、その他)	

【出力パターンB】 室内ユニット以外 (室外ユニット、その他) が検出する異常

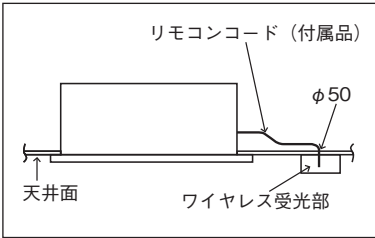
ブザー音 回数 運転ランプ 点灯回数	点検コード	不 具 合 内 容	備 考
1回	E9	室内ユニット-室外ユニット間の通信異常	
2回	UP	過電流遮断	
3回	U3, U4	室外サーミスター系異常	詳細は室外基板のLED表示を確認ください。
4回	UF	圧縮機過電流遮断 (ロック) 異常	
5回	U2	吐出温度異常 / 49C作動 / 冷媒不足異常	
6回	U1, Ud	高圧圧力異常 (63H作動) / 過昇保護 (過負荷運転保護 / 送風機異常)	
7回	U5	放熱板温度異常	
8回	U8	室外ファン保護停止	
9回	U6	圧縮機過電流遮断 (過負荷) / パワーモジュール異常	
10回	U7	低吐出スーパージョイント異常	
11回	U9, UH	電圧異常 / 電流センサー異常	
12回	-	-	
13回	-	-	
14回	その他	その他異常 (室外基板LEDを確認ください)	

※1. 自己診断開始の受信出力のみで、以後ブザー音なし、運転ランプ消灯のままの場合は、異常履歴はありません。
 ※2. 自己診断開始の受信出力後、ブザー音のみが連続3回出力「ピーピーピー (0.4秒+0.4秒+0.4秒)」の場合は、冷媒アドレスの指定が間違っています。

ワイヤレス受光部 (A制御用)

● PAR-SA9CA

使用目的 / 用途



- “ワイヤレス受光部” は、外付けタイプのワイヤレスリモコン受光部です。
- ワイヤレスリモコン (操作部) : PAR-SL9MA が必要となります。
- 本品は壁面、天井面、スイッチボックス等に取付可能です。

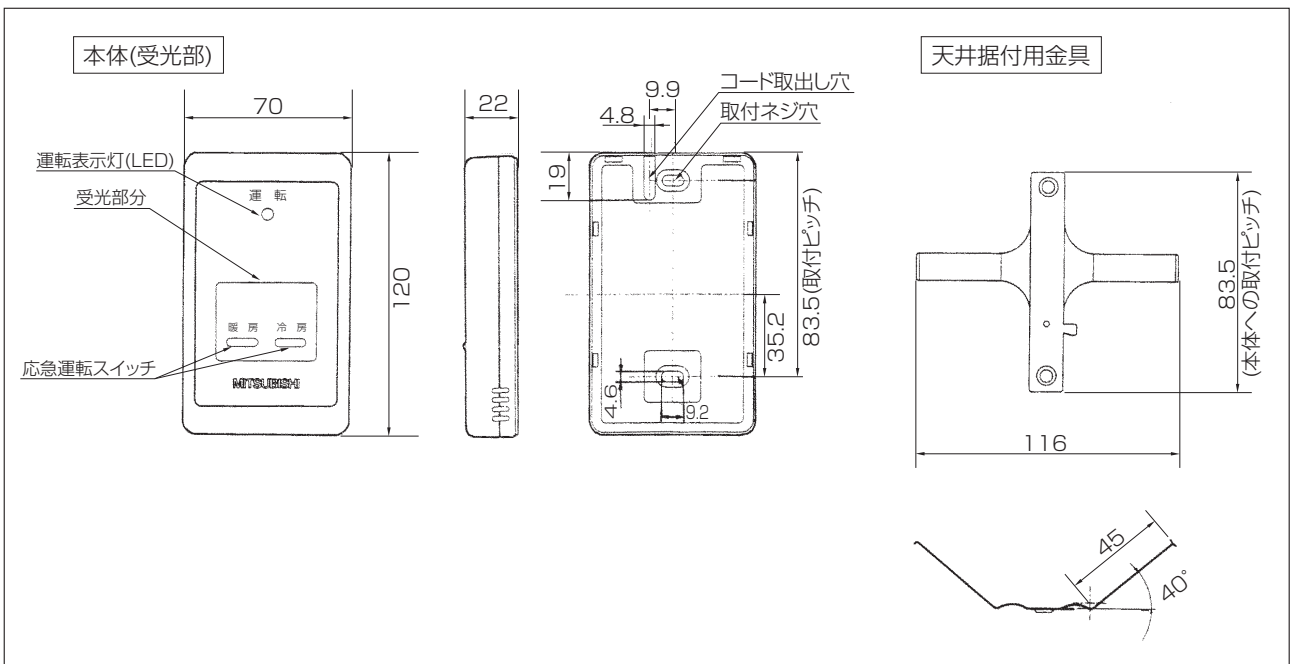
対象ユニット

- A 制御機種

仕様

形名	PAR-SA9CA
運転表示ランプ	運転時 : LED (緑色) 点灯表示、異常時 : LED (緑色) 点滅表示
応急運転	冷房・暖房スイッチ (運転 / 停止) 装備
ユニット制御台数	1 グループ最大 16 冷媒系統 (但し、1 冷媒系統毎に 1 台以上ワイヤレス受光部を設置してください)
アダプタ配線	コネクタ付 9 芯コード : 5 m (付属) の範囲で室内ユニット本体制御基板上的コネクタ (CN90) に接続
受光範囲	受光部正面より 45° の範囲で 7m 以内 (条件により異なります)
使用環境条件	温度 : 0 ~ 40℃ 湿度 : 30 ~ 90% (結露なきこと)
外装	ABS 樹脂、ホワイต์グレー (マンセル№ 4.48Y7.92/0.66)
据付方法	天井据付用金具による据付 (据付穴φ50) 1 個用スイッチボックス (JISC8340) に取付け、または直付け
付属品	コネクタ付コード 5m、天井据付用金具、取付用ネジ (M4 × 30) (4.1 × 16) 各 2 本

外形図 (単位 : mm)



(本マニュアル用に変更・修正しています)
WT04483X01

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン用

ワイヤレスリモコン(A 制御用)

PAR-SA90A

PAR-SA9CA

PAR-SW92A

据付工事説明書

この説明書は三菱電機パッケージエアコン スリムA制御用ワイヤレスリモコンの据付工事について記載しております。よくお読みのうえ、正しく据付けてください。

1 安全のために必ず守ること

- ・据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ・誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

△警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結び付く可能性があるもの
△注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋、家財などの損害に結び付くもの

- ・お読みになったあとは、室内ユニットに添付された取扱説明書などとともに、お使いになる方に必ず本書をお渡しください。
- ・お使いになる方は、取扱説明書などとともに、いつでも見られる所に保管し、移設・修理の際は工事される方に、又お使いになる方が変わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しください。

△警告

据付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で据付工事をされ不備があると、感電、火災等の原因になります。	据付工事は、この据付工事説明書に従い確実にこなう。 据付けに不備があると、感電、火災等の原因になります。
据付けは、重量に十分に耐える所に確実にこなう。 強度が不足している場合は、本機の落下により、ケガの原因になります。	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び本説明書に従い施工する。 電気回路容量不足や施工不備があると感電、火災等の原因になります。
改造、修理は絶対しない。 改造したり、修理に不備があると感電、火災等の原因になります。修理はお買上げの販売店にご相談ください。	配線は所定のリモコンコードを使用して確実に接続し、端子接続部にリモコンコードの外力が伝わらないように固定する。 接続や固定が不完全の場合は、発熱、火災等の原因になります。
お客様自身で移設はしない。 据付けに不備があると感電、火災等の原因になります。お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。	

△注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所へ据付けない。 万一ガスが漏れて本機の周囲に溜まると発火、爆発の原因になることがあります。	浴室、厨房など大量の湯気が発生するところには据付けない。 壁が結露するような場所は避けてください。 感電、故障の原因になることがあります。
特殊環境には、使用しない。 油（機械油を含む）、蒸気、硫化ガスなどの多い場所で使用しますと性能を著しく低下させたり、部品が破損したりする場合があります。	酸性、アルカリ性の溶液、特殊なスプレー等頻繁に使用するところへ据付けない。 感電、故障の原因になることがあります。
病院、通信事務所などに据付けされる場合は、ノイズに対する備えを充分に行なう。 インバータ機器、自家発電機、高周波医療機器、無線通信機器等の影響による本機の誤作動や故障の原因になったり、本機側から医療機器あるいは通信機器へ影響を与え、人体の医療行為を妨げたり映像放送の乱れや雑音などの弊害の原因になることがあります。	基板を手や工具などで触ったり、ほこりを付着させない。 火災、故障の原因になることがあります。
配線は張力がかからないように配線工事をこなう。 断線したり、発熱、火災の原因になることがあります。	濡れた手でボタンを操作しない。 感電、故障の原因になることがあります。
リモコンコード引き込み口を、パテで確実にシールする。 露、水、ゴキブリ、虫等の侵入のため、感電、故障の原因になることがあります。	ボタンを先のとがった物で押さない。 感電、故障の原因になることがあります。
本機を水洗いしない。 感電、故障の原因になることがあります。	A C 100V や A C 200V は絶対に印加しない。 破壊、発火、火災の原因になることがあります。
本機を据付ける付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光のあたる場所には据付けない。 変形、故障の原因になることがあります。	

2 部品確認

箱の中には、この説明書の他に次の部品が入っていますのでご確認ください。

部品名称	PAR-SA90A/PAR-SA9CA	PAR-SW92A
ワイヤレスリモコン操作部	—	1
ワイヤレスリモコン受光部	1	1
リモコンホルダー	—	1
リモコンコード 5m	1	1
単4形アルカリ乾電池	—	2
十字穴付きナベネジ M4 ×30	2	2
木ネジ 4.1×16	2	4
取扱説明書	—	1

3 据付方法

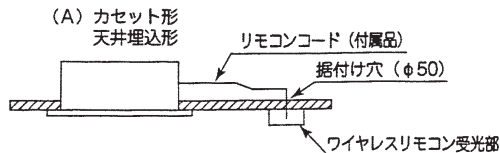
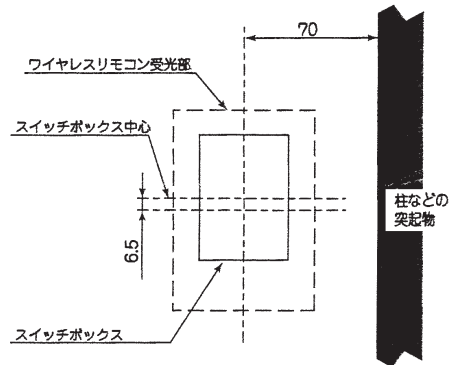
1. ワイヤレスリモコン受光部

ワイヤレスリモコン受光部は据付ける位置によって据付方法が異なります。

天井に据付ける時は **天井に据付ける場合** を、スイッチボックスまたは壁に据付ける時は **スイッチボックスまたは壁に据付ける場合** をご覧ください。

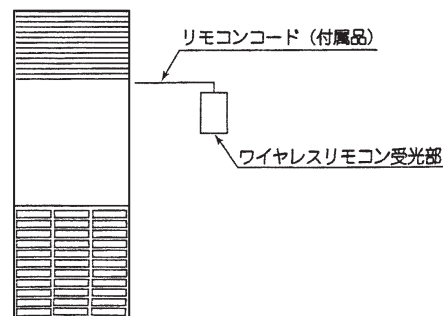
天井に据付ける場合 , スwitchボックスまたは壁に据付ける場合 共通事項

- (1) 据付位置を決めてください。
但し下記の事項を必ず守ってください。
- ① ワイヤレスリモコン受光部は付属のリモコンコードで室内ユニットと接続しますが、リモコンコードが5mのため据付位置はリモコンコードが届く範囲で決めてください。
- ② 天井、スイッチボックス、壁のいずれに据付ける場合でも、右図で示すスペースを確保してください。
(間隔が十分でない、柱などの突起物により据付けられない場合があります)
- ③ ワイヤレスリモコン受光部はスイッチボックスに据付けた時、右図のように下方に 6.5mm ずれますのでご注意ください。
- ④ 下記の部品に必要な物は現地にて調達してください。
・ 1 個用スイッチボックス (JIS C8340)
・ 薄鋼電線管 25 (JIS C8305)
・ ロックナット、フッシング (JIS C8330)
・ モール (JIS C8425)
- ⑤ 天井に据付ける場合の板厚の条件は 9mm 以上で 25mm 以下の板に限りです。
- ⑥ 天井面または壁面でワイヤレスリモコン操作部の信号が受信可能な位置に据付けてください。
なお、ワイヤレスリモコン操作部の信号の届く範囲の目安はワイヤレスリモコン受光部の正面から 45° の範囲で距離は約 7m です。
- ⑦ ワイヤレスリモコン受光部を室内ユニットの機種に応じて下記の位置に据付けてください。



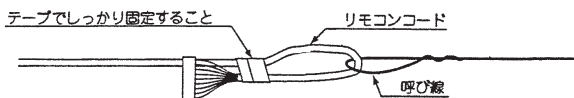
※天井据付けの場合、据付け穴φ50の穴加工が必要となります。

(B) 床置形



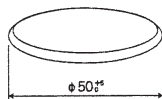
お願い ・室内ユニットの機種に応じてリモコンコードを接続させる位置が異なります。
リモコンコードは延長することができませんので据付位置は十分に注意して決めてください。
・蛍光灯 (特にインバータタイプ) の近くにワイヤレスリモコン受光部を据付けますと、信号を受信できないことがありますので、ワイヤレスリモコン受光部据付け時、蛍光灯買換え時には注意してください。

- ⑧ リモコンコードを電線管に通すときは下図のようにリモコンコードと呼び線をしっかりとつなげてください。

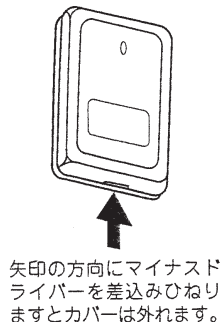


天井に据付ける場合

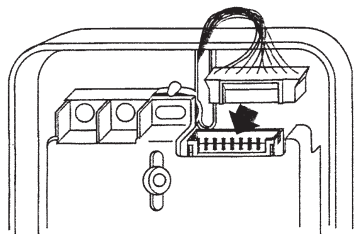
(2) 天井にワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の据付け穴を開けます。



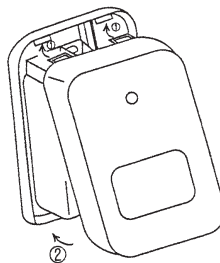
(3) リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。



矢印の方向にマイナスドライバーを差し込みひねりますとカバーは外れます。



カバーをはめ込むとき



①上部爪(2ヶ所)を掛けます。



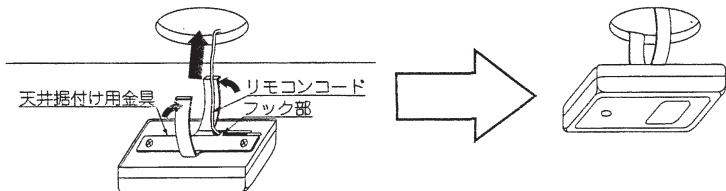
上部爪の断面図

②カバーを下ケースにはめ込みます。

△注意 “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

(4) リモコンコードを室内ユニットへ引回し、室内ユニット制御基板上的コネクタ (C N90) に接続させます。

(5) ワイヤレスリモコン受光部を天井に据付けます。



取り外す時はワイヤレスリモコン受光部を下へ引っぱって天井とワイヤレスリモコン受光部の筒に指が入るようにスペースを確保してから天井据付け用金具をつかんで取り外してください。

- ・リモコンコードはフック部にしっかりと掛けてから天井に挿入してください。
- ・天井へ挿入する手順は天井据付け用金具のパネ部を天井に掛けてからワイヤレスリモコン受光部を下から押してください。

△注意

- ・天井据付け用金具のパネ部を持ったまま天井に挿入しない。
- ・手をはさんでケガをする場合があります。
- ・リモコンコード接続後、ワイヤレスリモコン受光部を天井よりぶら下げた状態にしない。
- ・コード断線、故障の原因となります。

お願い ・ワイヤレスリモコン受光部を据付ける時、向きを確認してから据付けてください。

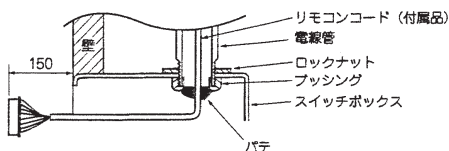
スイッチボックスまたは壁に据付ける場合

(2) リモコンコードを室内ユニットへ引回し、室内ユニット制御基板上的コネクタ (C N90) に接続させます。

(3) 露、水滴、ゴキブリ、虫等の侵入防止のためリモコンコード引込口をパテで確実にシールしてください。

スイッチボックスを使用する場合

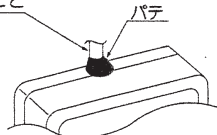
- ・スイッチボックスと電線管の結合部をパテでシールします。



壁に直接取付ける場合

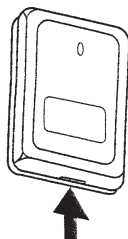
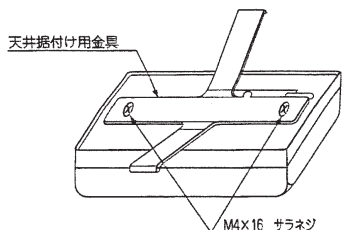
- ・下ケースの切取った部分をパテでシールします。
- ・リモコンコードを壁面で引回す場合はモールを使用して下さい。

モール使用のこと



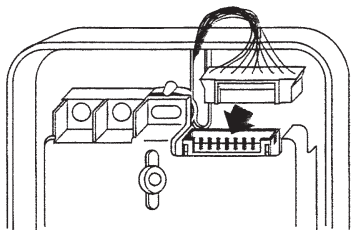
(4) 天井据付け用金具を取り外します。

- ・天井据付け用金具を固定しているM4×16サラネジを取り外してください。
- ・M4×16サラネジは内側からナットで固定していますのでカバーを外しナットが回らない様に固定してから取り外してください。



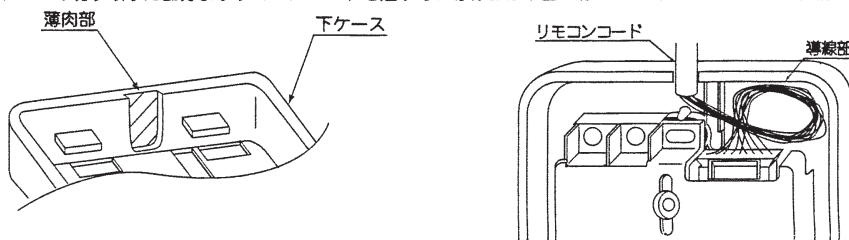
矢印の方向にマイナスドライバーを差し込みひねりますとカバーは外れます。

(5) リモコンコードをワイヤレスリモコン受光部のコネクタに接続させます。



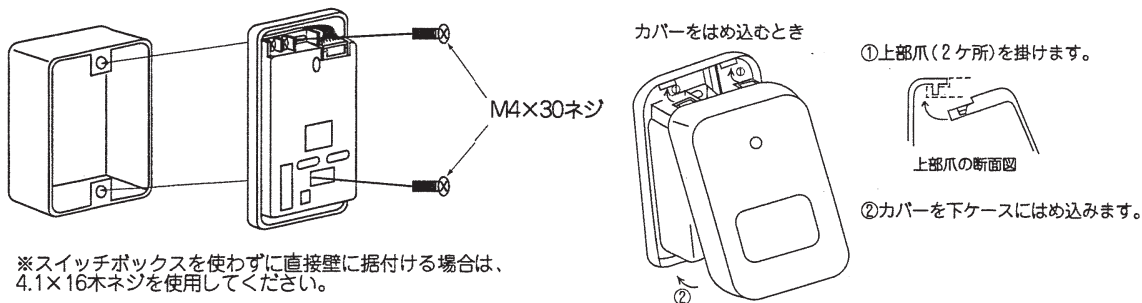
(6) 壁などに直接ワイヤレスリモコン受光部を据付ける場合の配線穴を確保する。

- ・下ケース内側の薄肉部 (斜線部) をナイフ、ニッパーなどで切取ってください。
- ・接続したリモコンコードをこの部分より出します。
- ・下ケースの切り取った部分よりリモコンコードを通す時、導線部は下図の様にあいているスペースに収納してください。



(7) ワイヤレスリモコン受光部をスイッチボックスまたは壁に据付けます。

下ケースを先に据付けてからカバーをはめてください。

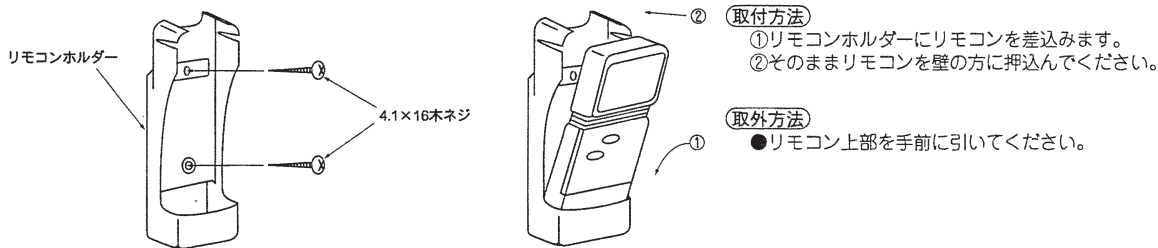


※スイッチボックスを使わずに直接壁に据付ける場合は、4.1×16木ネジを使用してください。

△注意 “パチッ”と音がするまで確実にはめ込んでください。確実にはめ込んでいない場合、落下の恐れがあります。

2. リモコンホルダー

ワイヤレスリモコン操作部を壁面に設置する場合、リモコンホルダーを据付けます。



ワイヤレスリモコンの据付説明書は PAR-SL9MA をご参照ください。

昇降パネルリモコン

● PAC-SF93RC

使用目的 / 用途



- “昇降パネルリモコン” は、パネルの自動昇降操作をするワイヤレスリモコンです。
- パネルの自動昇降は、ワイヤードリモコンからでもできますが、ワイヤードリモコンの位置からエアコンが見えない場合などに本品をご使用ください。

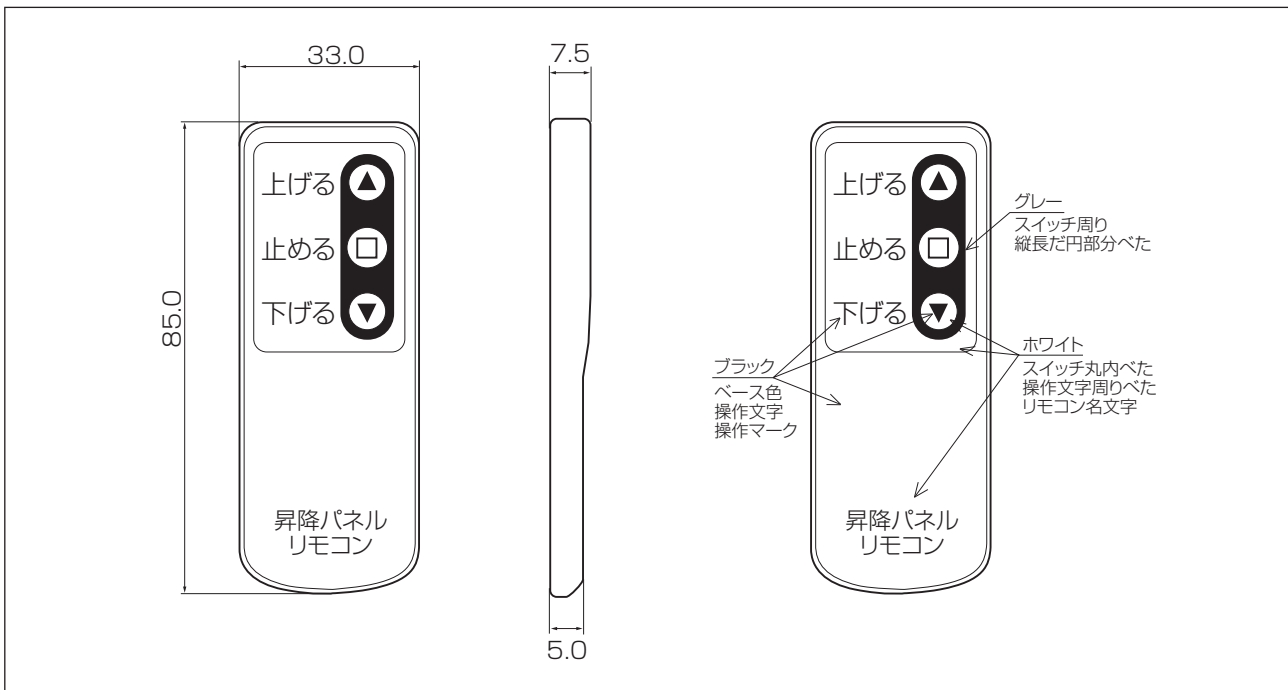
対象ユニット

- MPL(Z)-RP40 ~ 160BA3
 - ・ MPLP-P160BJWE3 (ムーブアイカンタン自動パネル)
 - ・ MPLP-P160BJWH3 (標準パネルカンタン自動パネル)
- MPL-RP40 ~ 56LA3
 - ・ MCMP-P45ALWH-E1 (自動昇降パネル)
- MPL-RP63 ~ 80LA3
 - ・ MCMP-P71ALWH-E1 (自動昇降パネル)
- MPL-RP112 ~ 160LA3
 - ・ MCMP-P112ALWH-E1 (自動昇降パネル)
- MPC-RP40 ~ 160KA3
 - ・ PAR-SA9GA (ワイヤレス受光部) と自動昇降キット使用時

仕様

形名	PAC-SF93RC
外装色	ブラック
マンセルNo	N2

外形図 (単位: mm)



MITSUBISHI
三菱電機パッケージエアコン別売部品 昇降パネルリモコン取付説明書 PAC-SF93RC

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実にこなしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- 警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
- 注意** 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

●取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付要領書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付けは、この取付要領書に従って確実にこなす。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け（移設）・電気工事をする前に

注意

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

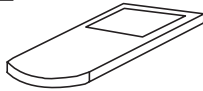

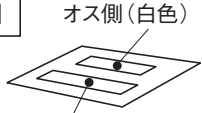
冷媒配管工事がある場合は結露しないように確実にこなす。

- 不完全な断熱施工を行なうとは配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管工事がある場合は、据付点検要領書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう保温すること。

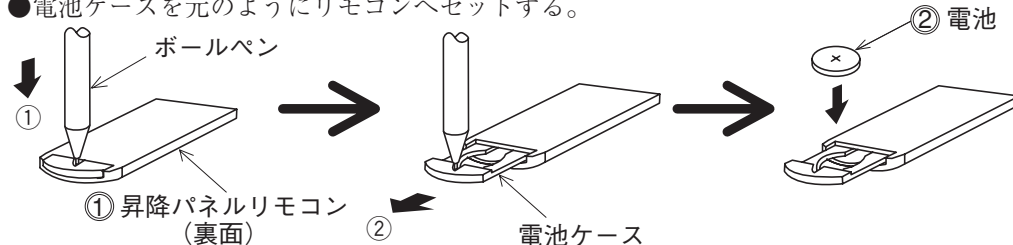
- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

1. **部品の確認** (この箱の中には本説明書と下記部品が入っています。)

品番 品名	① 昇降パネルリモコン	② 電池	③ マジックテープ
個数	1	1	1
形状		 リチウム電池 CR2025 3V	 オス側（白色） メス側（黒色）

2. **電池の入れ方**

- ボールペン等の先端で矢印①のように下へ押しつけながら矢印②の方向にスライドし、電池ケースを外します。
- 電池②は、プラス表示面を上にして電池ケースに入れる。※逆さでは入りません。
- 電池ケースを元のようにリモコンへセットする。



3. **リモコンの取付**

- リモコンを壁等に取り付ける場合は、付属のマジックテープ③のオス側（白色）をリモコンの背面へ貼り、メス側（黒色）を取付場所へ貼り付けする。

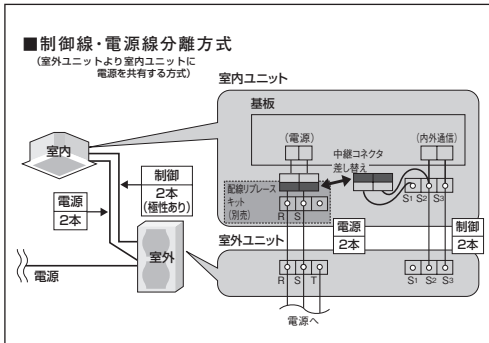
4. **確認**

- このリモコンにて、正常に作動するか確認します。操作方法については化粧パネルの据付工事説明書もしくは取扱説明書に記載してあります。

配線リプレースキット

● PAC-SH52HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット” は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

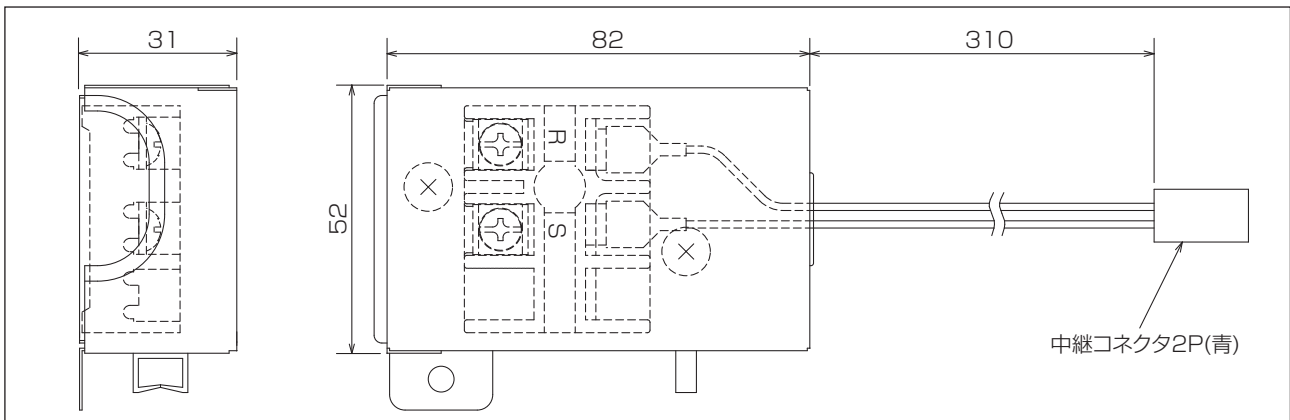
対象ユニット

- MPL(Z)-RP40 ~ 160BA3

仕様

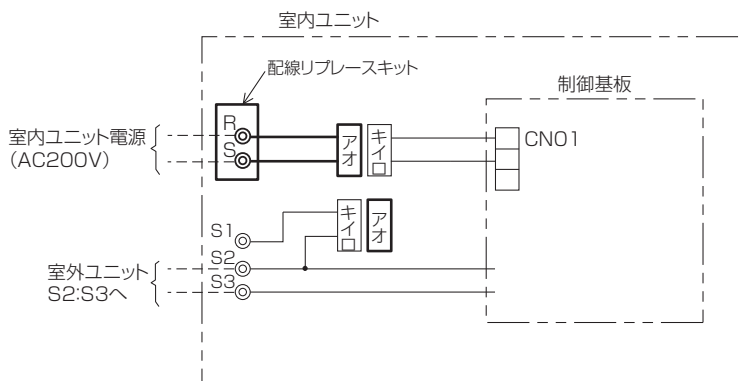
形名	PAC-SH52HR
端子盤定格	5A・250V
端子盤材質	変性メラニン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 3、ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図 (単位: mm)



電気配線図

配線リプレースキット接続後の配線図(内外別受電方式等とする場合)



- ・ 室内ユニット制御基板のCNO1から出ているキイロのコネクタを外し配線リプレースキットのアオのコネクタを接続してください。
- ・ S1, S2側のキイロのコネクタに配線リプレースキットから外したコネクタを取り付けてください。

MITSUBISHI

三菱電機パッケージエアコン別売部品 配線リプレースキット

形名: PAC-SH52HR / MPL(Z)-RP・BAシリーズ用

BH79G286H02

取付説明書

配線リプレースキット : PAC-SH52HR

安全のために必ず守ること

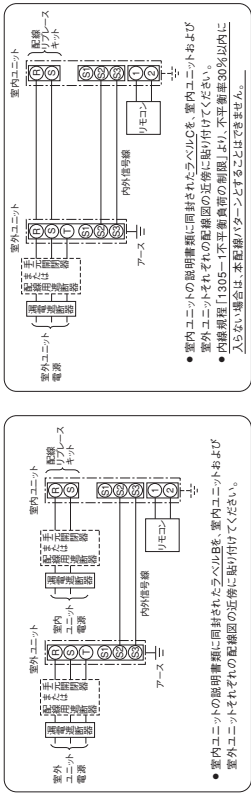
- 警告** 取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。
- 警告** 取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。
- 警告** 取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。

- 取付は、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みください。
- ここに示した取付方法は、安全に取付する手順を記載していますので、必ず守ってください。
- 取付に取付したときに生じる危険やその他の程度を、次の表示で区別して説明しています。
- △注意 誤った取付をしたときに、燃焼または燃焼・発熱などの燃焼に結びつくもの。
- 取付完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくようお願いいたします。

1. 概要

この部品は、室内ユニットMPL(Z)-RP・BAシリーズにおいて、下記配線パターンのように室内ユニットに電源 (AC200V) を給電する際に使用します。
取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

一内外別受電方式



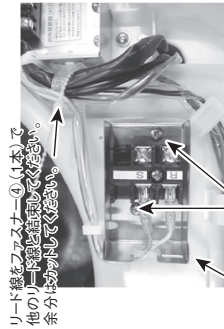
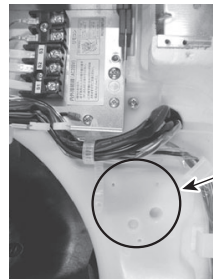
2. 同梱部品

この箱の中には、本取付説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認ください。

- ①端子盤 (箱金に配線リッド接続済み) ……1個
- ②フタ ……2個
- ③ネジ ……3本
- ④フタスカー（リッド線結束用）……2本
- ⑤ラベル ……1枚

3. 取付方法

- ※電気品カバーなどの取外し方法は、室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。
- 2. 端子盤①をネジ③ (2本) にて図の向きに取付け、リード線を電気品ボックス内に配線します。



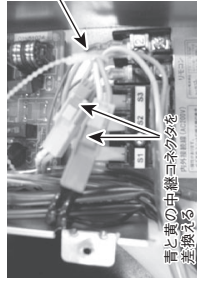
端子盤取付位置

端子盤① (2本)
ネジ③ (2本)

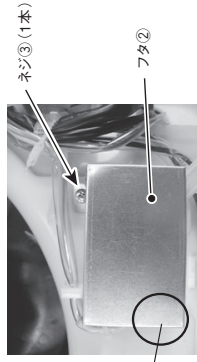
右上へ続く

- △警告 取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。
- △警告 取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。
- △警告 取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。取付は、販売店または専門業者による。

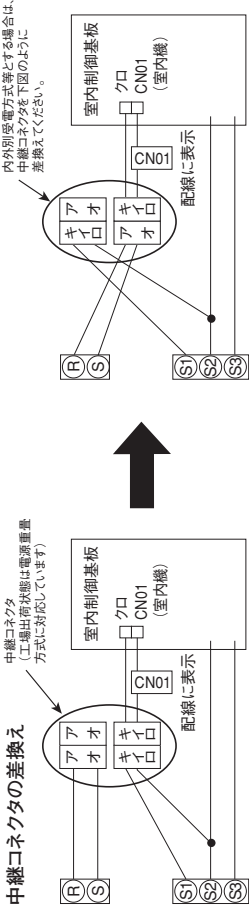
3. リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、フタスカー④ (1本) にてリード線を結束します。



4. 端子盤①にフタ②を引掛けてフタをし、ネジ③ (1本) にて室内ユニット本体に固定します。



中継コネクタの差換え



4. 電気配線

必ず室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. 室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。

貼り付けラベルは3種類 (ラベルA~ラベルC) 付属しています。配線パターンに合わせてラベルを貼り付けてください。
内外別受電方式 ……ラベルB
室外ユニットより、室内ユニットの電源を供給する方式 ……ラベルC

6. 電気品カバーの表側にシール⑤を必ず貼ってください。

7. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。

室外制御基板 ディップスイッチの設定	室外ユニットが ・MPU (Z) - (WR) P40~280形 ・MPUH-P224・280形 の場合 ⇒SW8-3をONに設定する	室外ユニットが ・MPUH-P40~160形 の場合 ⇒SW7-2をONに設定する
※室外ユニットの据付説明書を 確認してください。	ON OFF 3 1 2 1 2 (SW8)	ON OFF 2 1 1 2 (SW7)

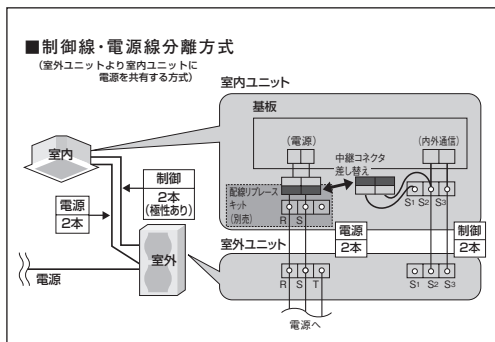
8. 試運転

室内機の据付工事説明書に従って、試運転を行なってください。

配線リプレースキット

● PAC-SG96HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット” は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

- ・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

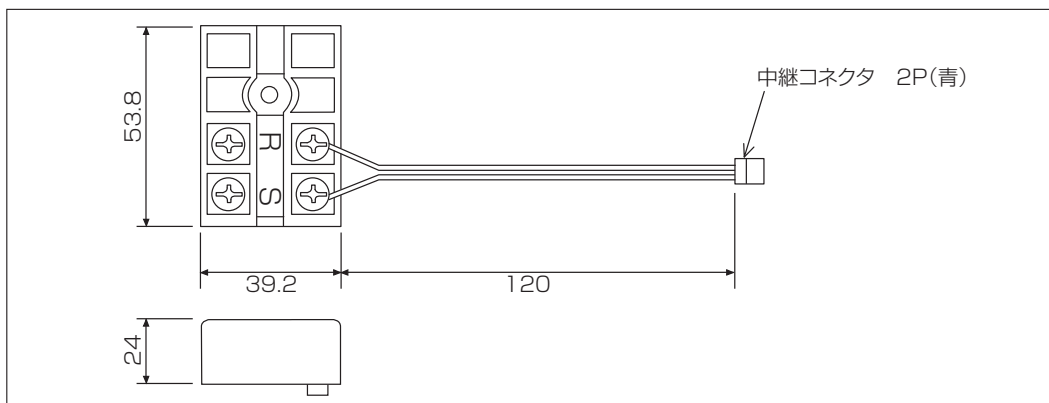
対象ユニット

- MPL(Z)-RP40 ~ 80JA3
- MPM-RP50 ~ 80EA3
- MPD-RP40 ~ 160FA4
- MPE-RP50 ~ 160CA3
- MPC-RP40 ~ 160KA3
- MPC-RP224・280BA3/CA3
- MPS-RP50 ~ 160KA3
- MPF-RP224・280BA3
- MPS-RP50 ~ 160GA3

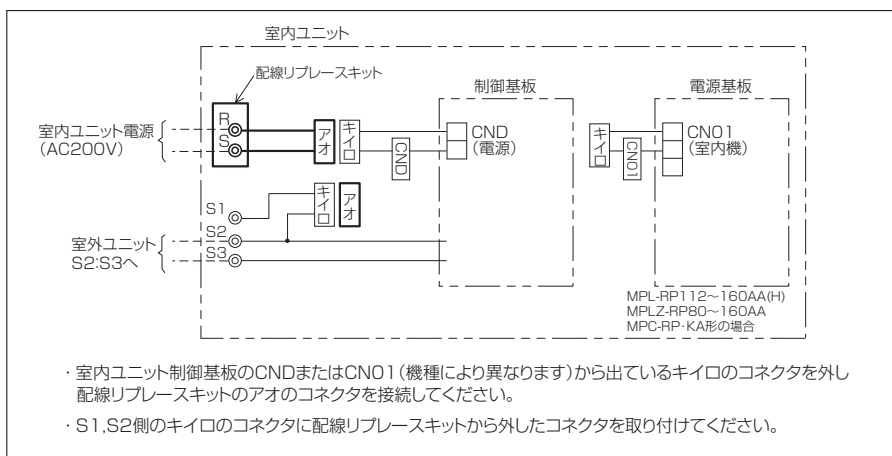
仕様

形名	PAC-SG96HR
端子盤定格	30A・330V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



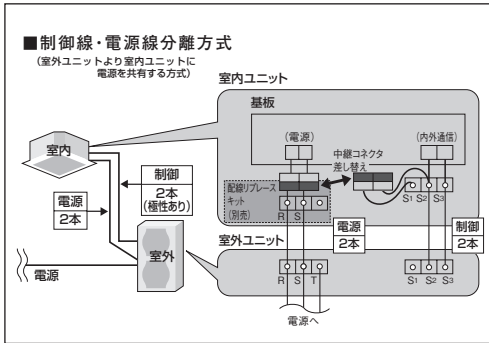
配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）



配線リプレースキット

● PAC-SG97HR

使用目的 / 用途



- “配線リプレースキット” は、室外・室内間を制御線・電源線分離方式（室外ユニットより室内ユニットに電源を供給する方式）や制御線単独方式（内外別受電方式）の配線にも対応する部品です。
- 本品は、室内ユニットに電源（AC200V）を給電する際に使用します。
- 空調機のリニューアルをする際、既設の配線方式を有効に再利用できます。※線径・線種により制約を受ける場合があります。

注意

・ 室外ユニット制御基板のディップスイッチの設定変更が必要です。

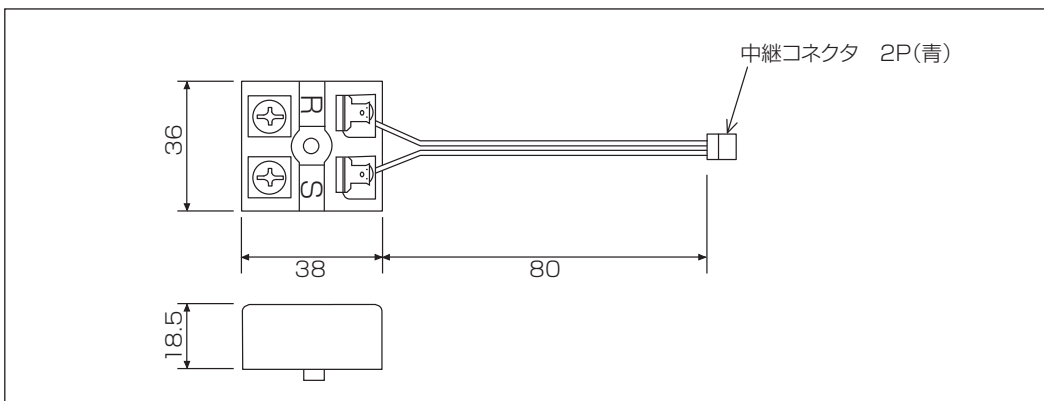
対象ユニット

- MPL-RP40 ~ 160LA3
- MPC-RP80・140HA3

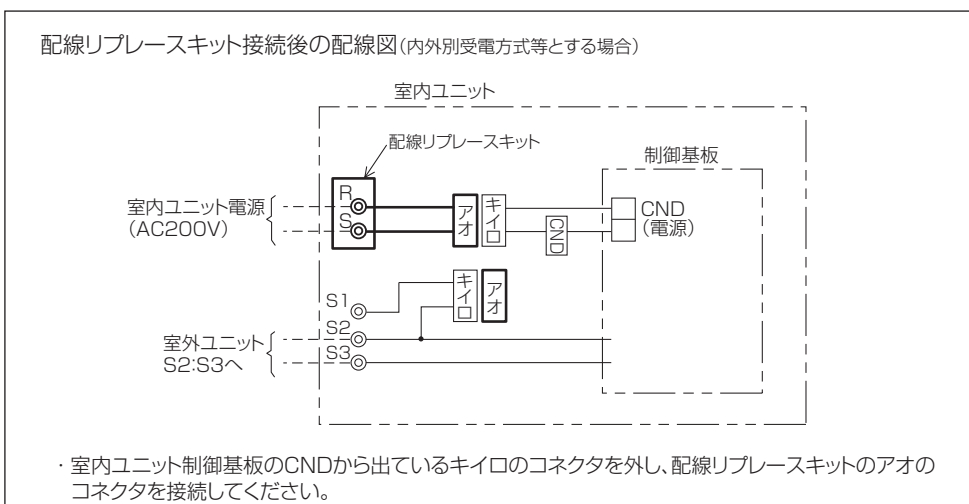
仕様

形名	PAC-SG97HR
端子盤定格	15A・264V
端子盤材質	変性メラミン
構成部品	端子盤（リード線結束済）× 1、ネジ× 1 ファスナー（リード線結束用）× 1

外形図（単位：mm）



配線図（配線リプレースキット接続後・内外別受電方式等とする場合）



MITSUBISHI

三菱電機 パッケージエアコン別売部品 配線リプレースキット取付説明書

形名: PAC-SG96HR / MP*(Z)-RP・*A(L)シリーズ用
PAC-SG97HR / MP*-RP・*Aシリーズ用

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

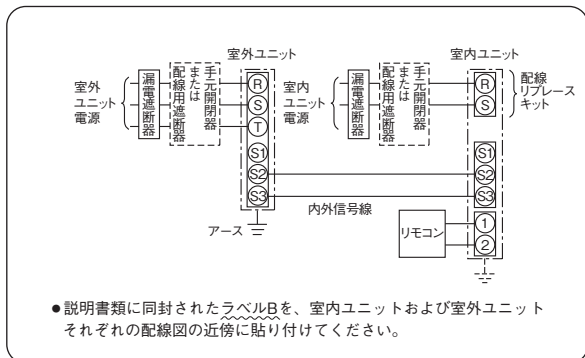
- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。	⚠警告	充電部に触れる前に、必ず室内ユニット・室外ユニット全ての電源を切ってください。 感電・火災の原因になります。
⚠警告	取付けは、この説明書に従って確実に行なう。 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。	⚠注意	電気配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電源を使用すること。 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。
⚠警告	電気工事は、電気工事士の資格がある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、本説明書に従って施工し必ず専用回路とし、かつ定格の電圧、ブレーカーを使用する。 電源回路容量不足や施工不備があると、感電・火災の原因になります。	⚠注意	各配線は、張力が掛からないように配線工事をする。 断線したり、発熱・火災等の原因になります。

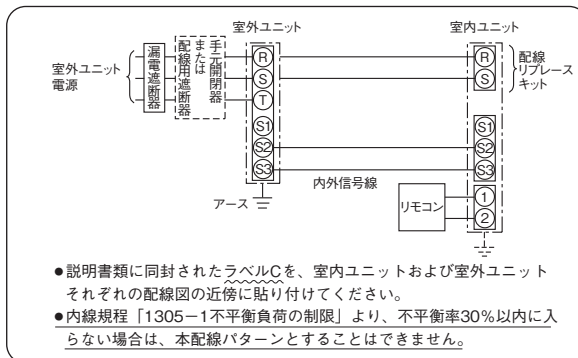
1. 概要

この部品は、配線リプレース対応の室内ユニット(ヒータレス)において、下記配線パターンのように室内ユニットに電源(AC200V)を給電する際に使用します。取付けには、室内ユニットの据付工事説明書も併せてご覧ください。

ー内外別受電方式ー



ー室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式ー



2. 同梱部品

この箱の中には、本取付説明書の他に下記部品が同梱されていますので、ご確認願います。

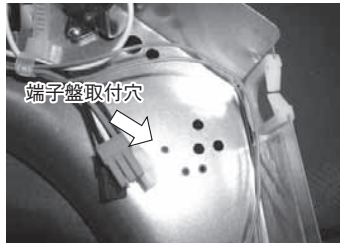
①端子盤(リード線結線済み).....1個	②ネジ.....1本	③ファスナー(リード線結束用).....1本	④シール.....1枚

3. 取付方法 ※電気品カバー等の取外し方法は、各々の室内ユニット据付工事説明書の電気配線工事の項目を参照願います。

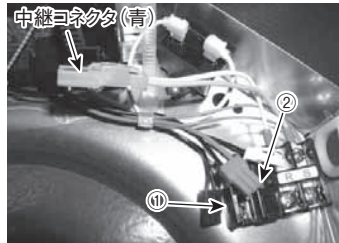
■PAC-SG96HR

4方向カセット形 MPL(Z)-JAタイプの場合

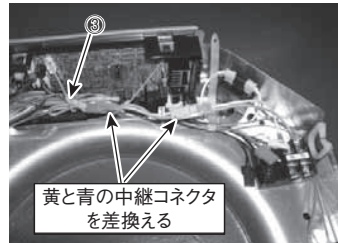
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

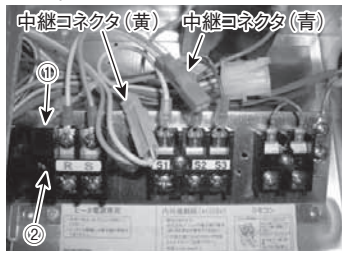


1方向カセット形 MPM-EAタイプの場合

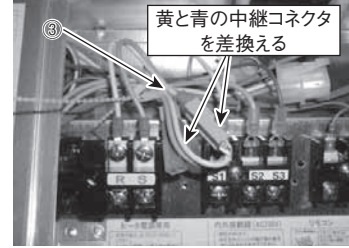
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



壁掛形 MPK(Z)-GAタイプの場合

1.電気品ボックスの端子盤カバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

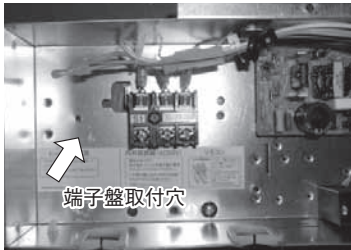


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



床置形 MPS-GAタイプの場合

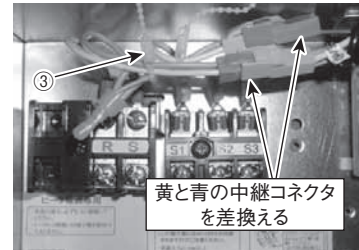
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

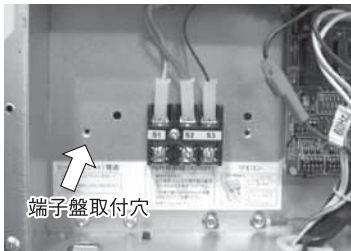


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

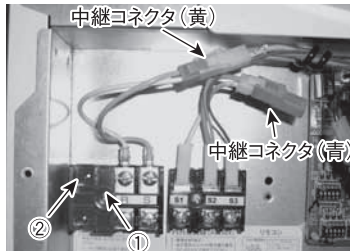


床置形 MPS-50~80KAタイプの場合

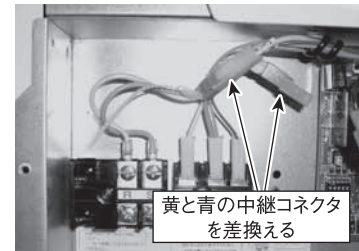
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

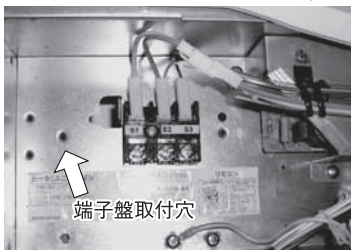


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

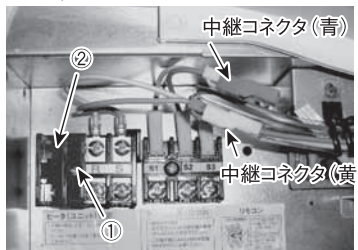


床置形 MPS-112~160KAタイプの場合

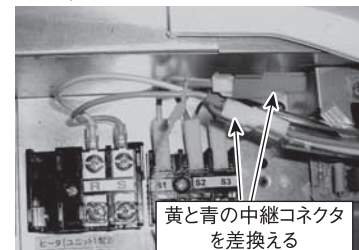
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

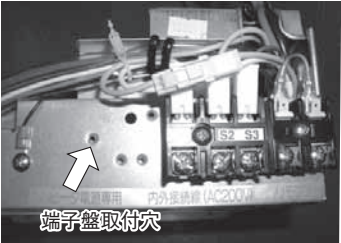


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

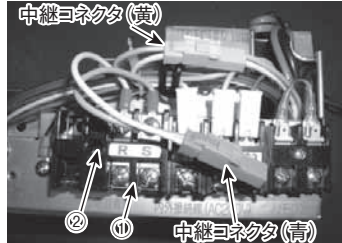


壁掛形 MPK-FA(L)タイプの場合

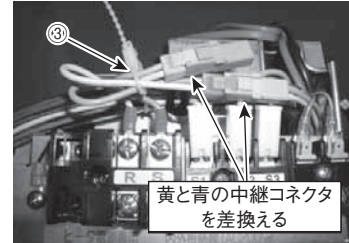
1.電気品ボックスの端子盤カバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



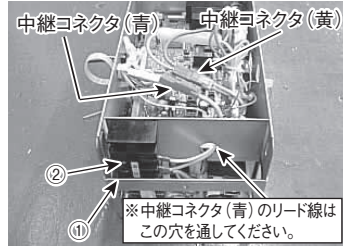
■ PAC-SG96HR

天井ビルトイン形 MPD-FAタイプの場合

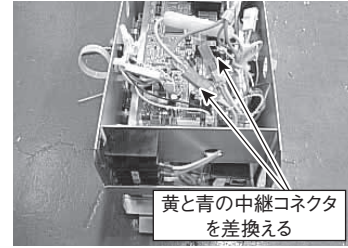
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

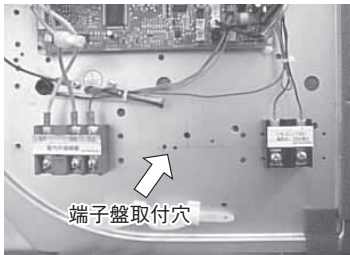


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

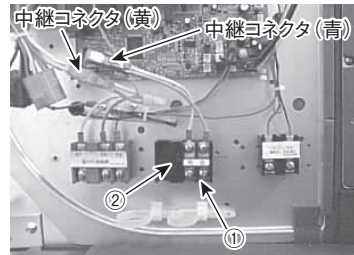


天井埋込形 MPE-CAタイプの場合

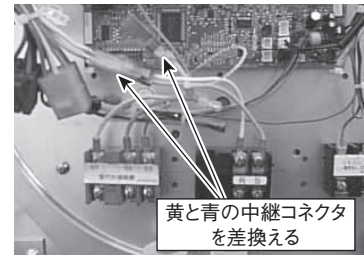
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

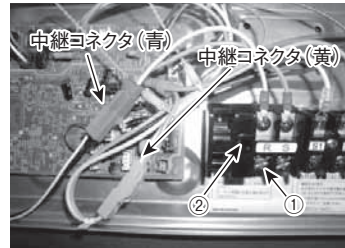


天吊形 MPC-GAタイプの場合

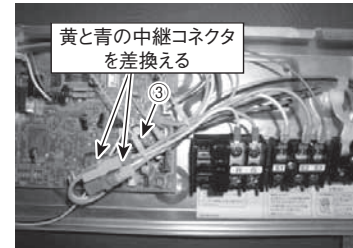
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

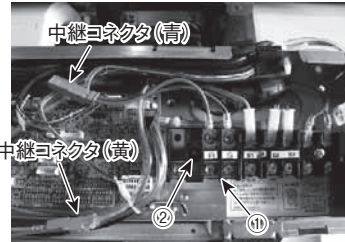


天吊形 MPC-KAタイプの場合

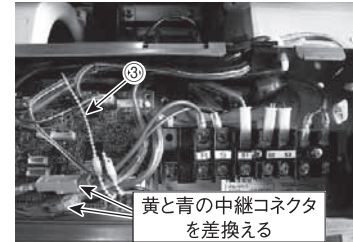
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。

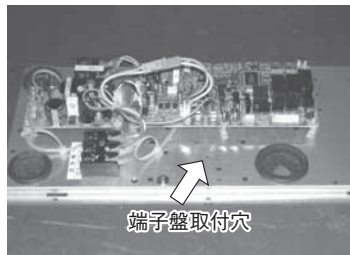


3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

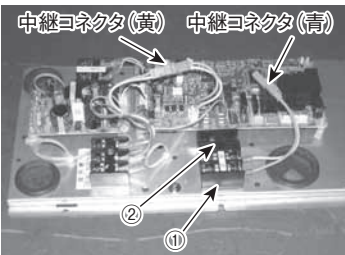


天吊形 MPC-BA/CAタイプおよび床置形MPF-BAタイプの場合

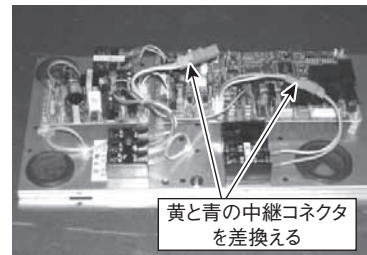
1.電気品ボックスのカバーを取外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換えます。

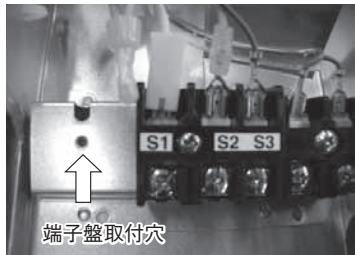


注:MPD-FAタイプ、MPE-CAタイプ、MPC-BA/CAタイプ、MPF-BAタイプで、補助電気ヒータと併用する場合は、配線リプレースキットの端子盤から配線を取り外し補助電気ヒータ端子盤の「R」と「S」に取り外した配線を接続してください。

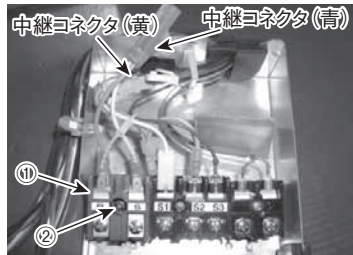
■PAC-SG97HR

厨房用天吊形の場合

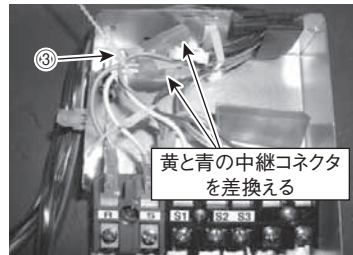
1.端子盤ボックスのカバーを外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。

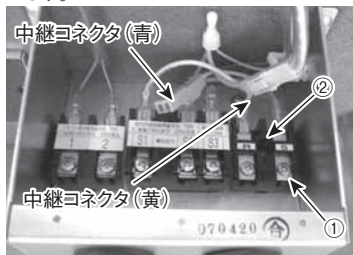


2方向カセット形 MPL-RP・LAタイプの場合

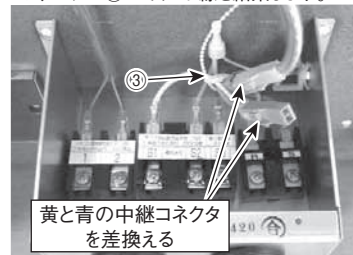
1.電気品ボックスのカバーを外します。



2.端子盤①をネジ②にて図の向きに取付けます。



3.リード線の青と黄の中継コネクタを差換え、ファスナー③にてリード線を結束します。



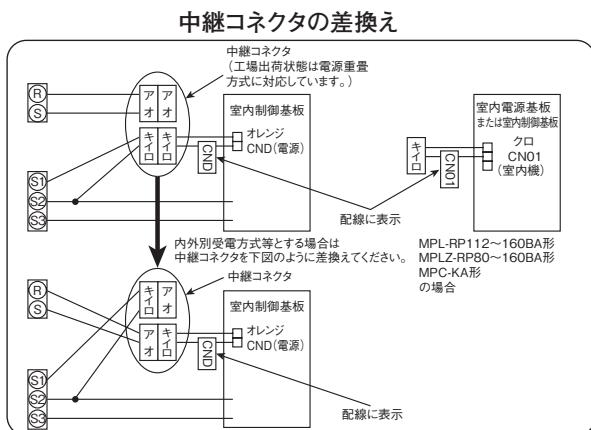
4. 電気配線

必ず各々の室内ユニット据付工事説明書に従って、電気配線工事を施工してください。

5. 室内ユニットの説明書類に同封されているラベルを、室内ユニットおよび室外ユニットそれぞれの電気配線図近傍に貼り付けてください。

貼り付けラベルは3種類(ラベルA～ラベルC)付属しています。配線パターンに合わせたラベルを貼り付けてください。
 内外別受電方式 ……ラベルB 室外ユニットより、室内ユニットに電源を供給する方式 ……ラベルC

6. 電気品カバーの表側にシール④を必ず貼ってください。



7. 室外制御基板のディップスイッチの設定変更

室外機制御基板上のディップスイッチの設定変更が必要です。



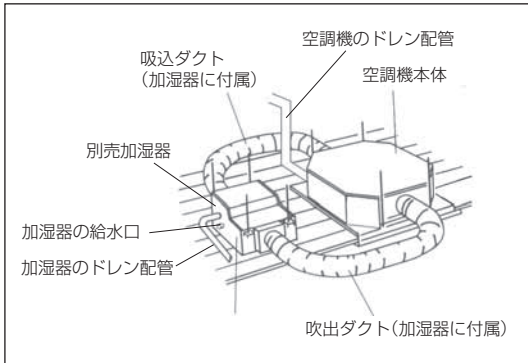
8. 試運転

室内機の据付工事説明書に従って、試運転を行なってください。

加湿器 (別吊方式)

● PAC-SF10HU

使用目的 / 用途



- “加湿器” は、冬期に室内の湿度を高め乾燥を防ぐための部品で、別吊タイプです。
- 暖房運転に連動して作動します。
- 必ず加湿器用の自然排水式ドレン管を設けてください。
- 加湿量は空気条件によって変わります。

注意

・別吊式ですので、天井を貼る前に取付けてください。

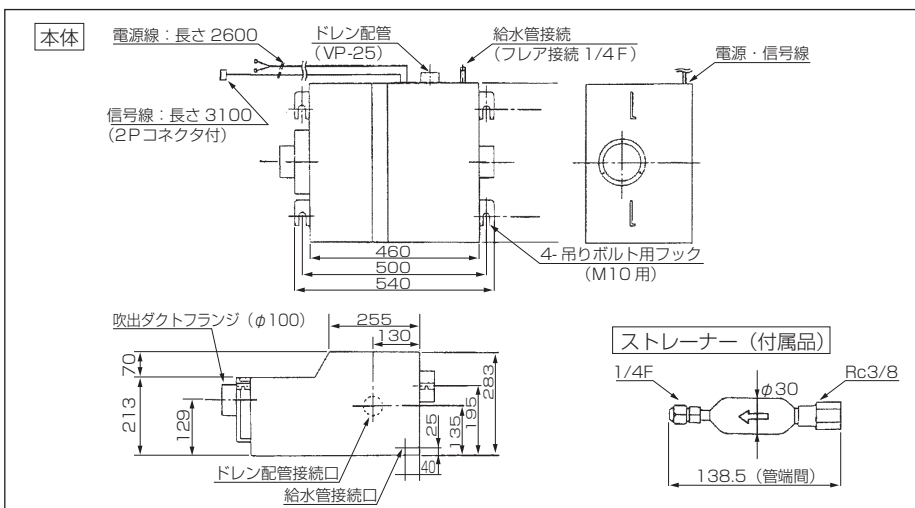
対象ユニット

- MPL(Z)-RP40 ~ 160BA3
- MPL(Z)-RP40 ~ 80JA3

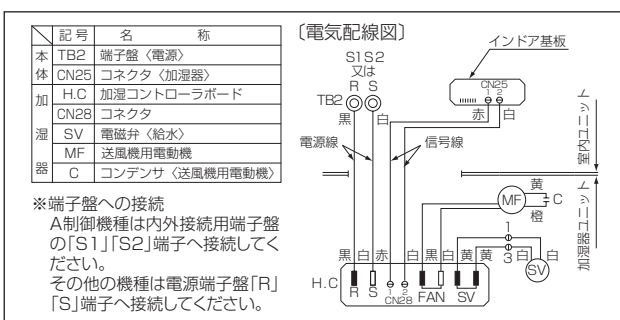
仕様

形名	PAC-SF10HU	加湿エレメント材質	親水性プラスチック多孔質焼結体
定格加湿量	1.0ℓ/h	給水配管径	銅管φ6.35またはφ6.0(本体・ストレーナ間)[現地手配]
定格電源	AC200V 50/60Hz	給水圧力	0.1MPa[減圧弁現地手配]
定格消費電力	32/32W	供給水条件	市水・上水または同等以上のもの 温度5~40℃
運転電流	0.18/0.17A	ドレン配管径	PVC管 VP25[現地手配]
運転力率	89/94%	付属品	断熱材×4個、ダクトフランジφ100×2個、フレキシブルダクトφ100×1.5m×2本、ダクト用バンド×4個、ストレーナ(1.4F・Rc3/8)×1個
送風機風量	1.9m³/min		
質量	12.0kg		

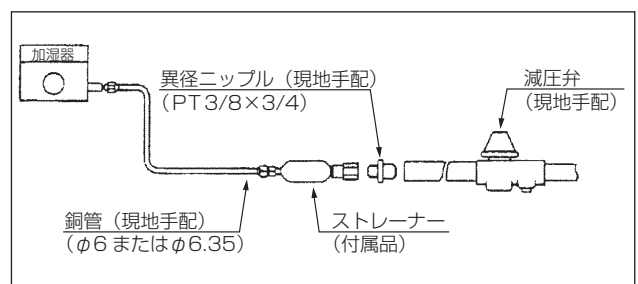
外形図 (単位: mm)



電気配線図



給水配管図



BG79N844H06

MITSUBISHI

三菱パッケージエアコン別売部品
加湿器取付説明書

PAC-SF10HU

適用機種	カセット2方向吹出しEタイプ
	カセット2方向吹出しPタイプ
	カセット4方向吹出しKタイプ
	カセット4方向吹出しJタイプ
	カセット4方向吹出しGタイプ
	カセット4方向吹出しFタイプ
	カセット4方向吹出しAタイプ
	カセット4方向吹出しBタイプ

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

- | | |
|-----------|--------------------------------------|
| 警告 | 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。 |
| 注意 | 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。 |

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼してください。

警告

- | | |
|---|---|
| 取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 | 取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。 |
| ●お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。 | ●取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。 |

取付け (移設) ・電気工事をする前に

注意

- | | |
|---|---|
| ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。 | 電源配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。 |
| ●頭がからがぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。 | ●漏電や発熱・火災の原因になることがあります。 |
| 冷媒配管工事がある場合の断熱は結露しないように確実に行なう。 | ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するように施工し、結露が生じないよう保温すること。 |
| ●不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等が発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。 | ●配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。 |

1 部品の確認

この箱の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。

①加湿器本体	②タッピングネジ 4×10 6ヶ	③配管用断熱材 (大) t6×80×220 (小) t3×120×250 各1枚	④バンド 2本	⑤ストレーナ 1ヶ
⑥ダクトフランジ 2ヶ	⑦ダクトフランジ用断熱材 2ヶ	⑧フレックス・ダクト 内径φ100,長さ1500 2ヶ	⑨ダクト用バンド 4ヶ	⑩ダクト用断熱材 t20×460×160 2ヶ
				⑪ダクトフランジ用断熱材 t3×314×60 2ヶ

2 取付スペース

図1-1 カセット2方向吹出しEタイプ/Pタイプ配置図 (上から見る)

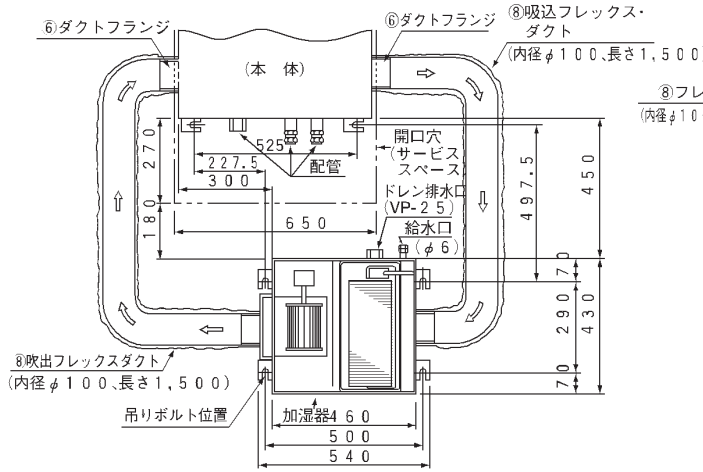
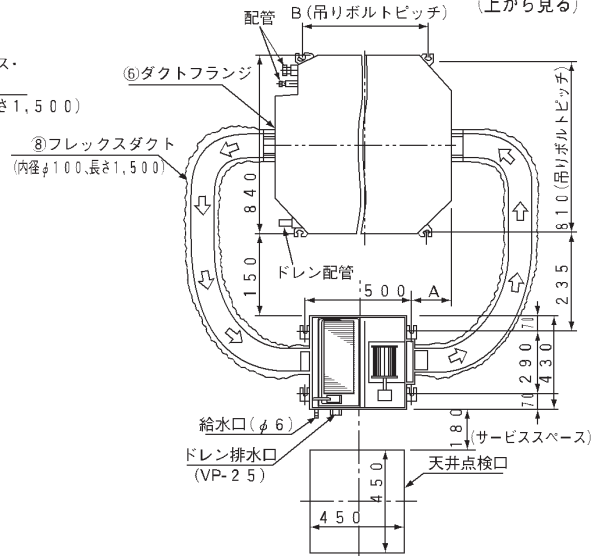


図1-2 カセット4方向吹出しKタイプ/Aタイプ/Bタイプ配置図 (上から見る)



区分	機種	A	B
Kタイプ	J56~J125形	170	605
	J140・J160形	430	1125
A, Bタイプ	全機種	170	605

図1-3 カセット4方向吹出しJタイプ配置図 (上から見る)

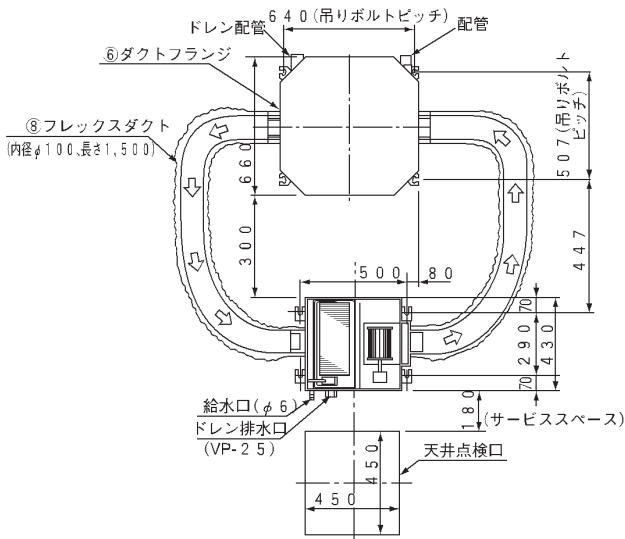
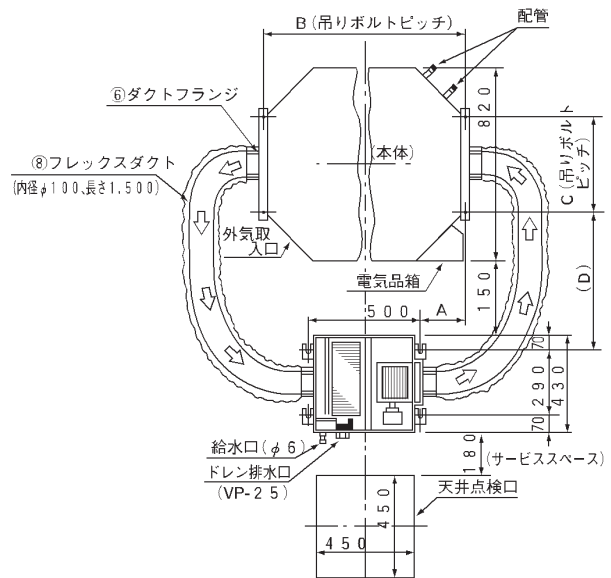
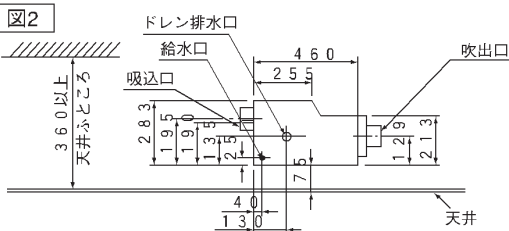


図1-4 カセット4方向吹出しFタイプ/Gタイプ配置図 (上から見る)



※カセット2方向吹出し機種と4方向吹出し機種は室内ユニット本体に対して加湿器の取付方向が逆になります。

(図1-1、図1-2、図1-3、図1-4 参照)



※電気品箱並び吊りボルト足形状は、FタイプとGタイプは異なります。

上図はFタイプのものを示しています。詳細は本体の据付説明書を参照ください。

機種	A	B	C	D
Fタイプ/32~80形、J36~J90形	185	870	420	420
Fタイプ/90~140形、J100~J160形	445	1390	420	420
Gタイプ/35~90形、J36~J100形	140	785	530	365
Gタイプ/100~140形、J112~J160形	400	1305	530	365

3 注意事項

1. 加湿器の組込みは、天井材を張る前に必ず行なってください。
2. 供給水質……市水、上水またはこれと同等以上の水を使用してください。
3. 供給水温度……5℃～40℃
4. 供給水圧力……電磁弁の入口圧力が0.1MPaになる様に必ず減圧弁を設けてください。(現地手配)

〈推奨減圧弁〉

メーカー	形名
ヨシタケ	GD-56H (0.1MPa)
サギノミヤ	CRV-2006GL@21 (0.1MPa)

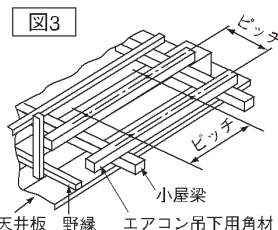
5. 減圧弁の付近に必ず付属のストレーナを接続します。
6. 止水用バルブ…シーズンオフ、または緊急時等の為に加湿器の配管上流側に止水用バルブを必ず設けてください。(現地手配)
7. シスターンタンク…給水は公共の水道管に直接接続することはできません。公共の水道管から給水しなければならない場合は、必ずご使用ください。(現地手配)
8. 加湿器の長寿命化の為、軟水器または純水器の使用を推奨します。
9. 本体吊り下げ時は必ず水準器にて水平となるように調整してください。(両端の高低差が10mm以上の場合、ドレンパンよりオーバーフローします。)
10. 加湿器のドレン配管と、室内ユニットのドレン配管は必ず別配管としてください。
11. カセット4方向吹出しA、Bタイプの場合は室内ユニットの機能設定を行ってください。 12 室内ユニットの機能設定 参照

4 吊りボルトの設置

- 吊りボルトの位置は2項取付スペースを参照します。
- 天井の処理……建物の構造により異なりますので、くわしくは建築、内装業者とご相談ください。

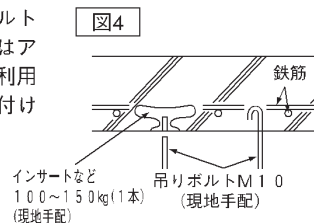
木造の場合

- 小屋梁 (平屋建) 又は二階梁 (二階建) を強度メンバーとします。
- エアコン吊下用角材は梁間が90cm以下の時は6cm角以上180cm以下の時は9cm角以上のじょうぶな角材を用います。

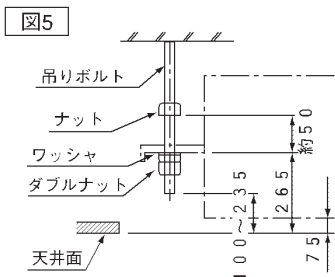


鉄筋の場合

- 右図の方法で吊りボルトを固定するか、またはアングル・角材などを利用して吊りボルトを取付けます。



- 吊りボルトの長さ及びナット位置は、下図のようにします。

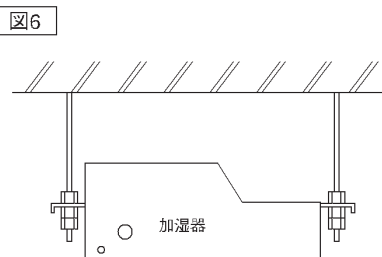


〈現地手配部品〉

- 吊りボルト (M10) …… 4 本
- ナット (M10) …… 12 個
- ワッシャ (M10) …… 4 個

5 加湿器取付

- ダブルナットの上のワッシャーに加湿器を乗せて上側のナットで締め付けます。



※水準器等で加湿器が水平に付いているかを確認します。
 (両端で10mm以上の高低差があるとドレンがオーバーフローします。)

6 ダクト取付

- 室内ユニット本体の取付用ノックアウト穴をあけます。

カセット2方向吹出しEタイプ/Pタイプ、4方向吹出しFタイプ/Gタイプの場合

- 室内ユニット本体の両側面の断熱材にφ140のミシン目がありますのでφ140の部分をはがします。
(図1-1, 図1-4 参照より、ノックアウト穴位置を確認します。)
- はがした部分にφ100のノックアウト穴がありますのでφ100の穴をあけます。

カセット4方向吹出しJタイプ/Kタイプ/Aタイプ/Bタイプの場合

- 室内ユニット本体の両側面にφ100のスリットがついていますのでスリットを切り落としてφ100の穴をあけます。
 - つづいてφ100の穴にあわせてスチロールを切り落としφ100の穴をあけます。
- ダクトフランジ⑥を上記ノックアウト部にタッピングネジ②を使って固定します。
 - ダクトフランジ⑥を固定したタッピングネジ②の上からダクトフランジ用断熱材⑦を貼り付けフランジ部にダクトフランジ用断熱材⑩を巻き付けるように貼ります。(スキマが出ないように貼ってください。) 図7 参照
 - フレックス・ダクト⑧を加湿器のダクトフランジと室内ユニット本体に取り付けたダクトフランジ⑥に継ぎ、ダクト用バンド⑨にて締め付けます。 図8 参照
 - ダクト用バンド⑨にダクト用断熱材⑩を巻き付けるように貼ります。

注：フレックス・ダクト⑧はゆるやかなカーブを持たせ、また垂れ下がらないように上から吊る等の処置を施してください。

図8 ダクト用バンド⑨の締め付方

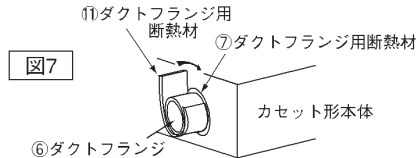
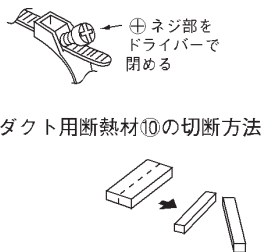
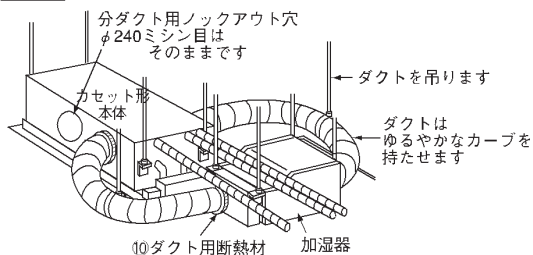
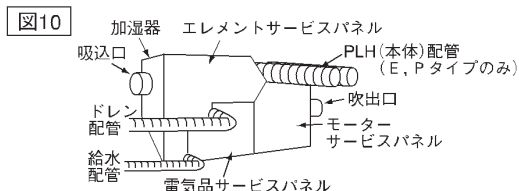


図9 (Eタイプ/Pタイプを示す)



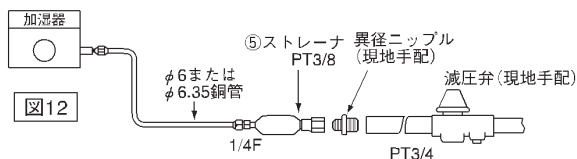
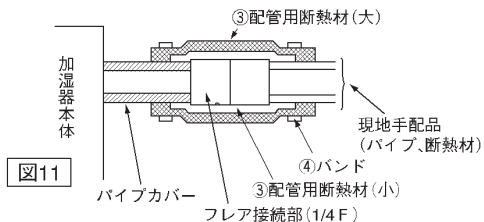
7 配管方向

- 加湿器の給水管・ドレン配管はサービス・メンテナンスを容易にする為に図10のように加湿器を見て左方向に出します。
- カセット2方向吹出し機種ときの配管は加湿器の上方を通します。



8 給水管工事

- 配管材は現地手配になりますので銅管外径φ6またはφ6.35を用意します。
- 加湿器への接続は1/4F フレア接続です。
- 加湿器と給水管の接続はダブルスパナでしっかり締め付けます。
- 付属の配管用断熱材③とバンド④を使って配管接続部の断熱を行ないます。
それ以降につきまちは現地手配にて露タレ、冬期の凍結破損等ないよう充分な断熱を行ないます。
- 付属のストレーナ⑤を加湿器と減圧弁 (現地手配) との間に必ず設置します。
- ストレーナ⑤は出口側のみ1/4F フレア接続となっています。
- 入口側の接続には現地配管に合った異径ニップルを現地手配にて用意します。
- ストレーナはサービスできる所へ設置します。
- ストレーナ及び現地の配管部分には、充分な断熱を行ないます。(発泡ポリエチレン比重0.03肉厚9mm以上)
不十分な場合は、露タレ、冬期の凍結破損の要因になります。



9 ドレン配管工事

- ドレン配管サイズはVP-25です。
- ドレン配管は下り勾配 (1/100以上) になるようにします。
- ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。
- 配管後、排水が確実に行われていることと、接続部からの水漏れのないことを確認します。
- 屋内を通るドレン配管は、必ず市販の断熱材 (発泡ポリエチレン比重0.03肉厚9mm以上) を巻きます。
- 室内ユニットのドレン配管とは別配管とします。
- ドレン配管を上から吊って固定等する場合は、本体より1m以上離れた位置で固定します。
(エレメントサービス時にドレンパンを15mm程、下にさげるための余裕を持たせます。)

10 室内ユニット本体への配線接続準備

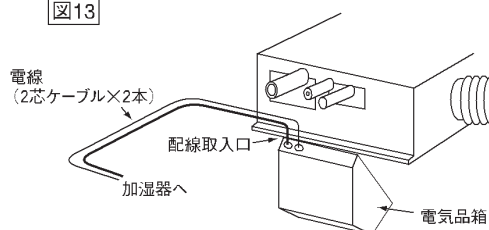
- 加湿器に接続されている電源線と信号線を室内ユニット本体取り入れます。

1. Eタイプの場合

- (1) 電気品箱の吊りヒモを外して下に下げます。
- (2) 電気品箱のフタを取外します。
- (3) 電気品箱の裏側から電線を通し接続します。
- (4) 取外した部品を元通りに取付け

注：電気品箱を下に下げないで配線しますとサービス時において電気品箱が下がらないことがあります。作業完了後は再び室内ユニット本体よりヒモを吊っておきます。

図13



2. Kタイプの場合

図14-1 56~125形

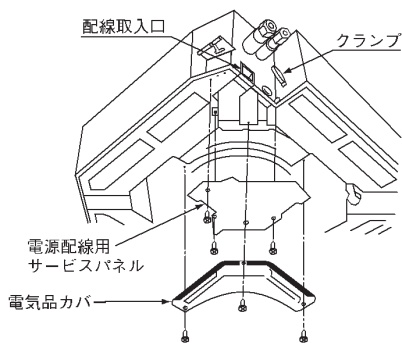
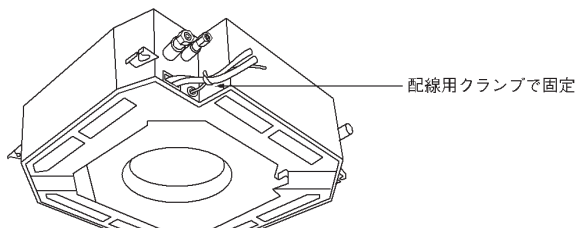
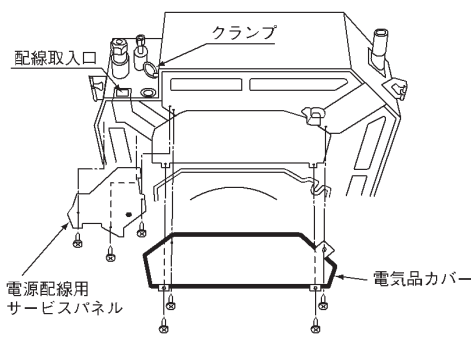


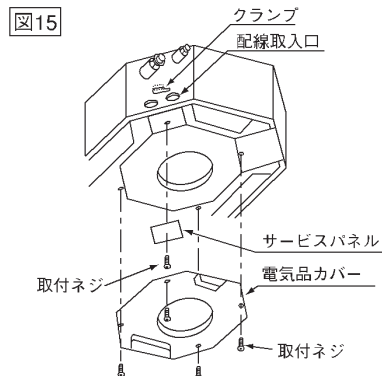
図14-2 140,160形



- (1) 電気品カバーを取外す (56~125形：ネジ3本, 140,160形：ネジ4本) [仮掛け可能]
- (2) 電気配線用サービスパネルを取外す (ネジ3本) [仮掛け可能]
- (3) 配線を配線取入口からユニット内に入れる
※サービス時を考慮して、電気品箱をユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (4) 配線を、ユニット側面の現地配線用クランプで固定
- (5) 取外した部品を元通りに取付け

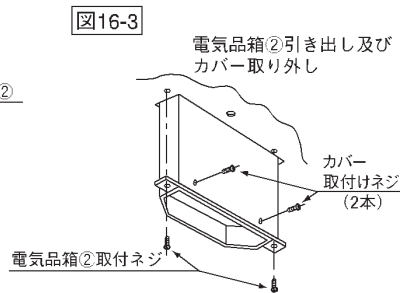
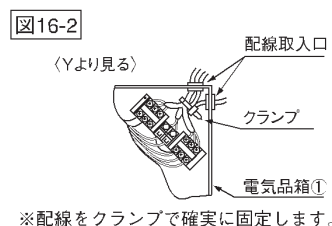
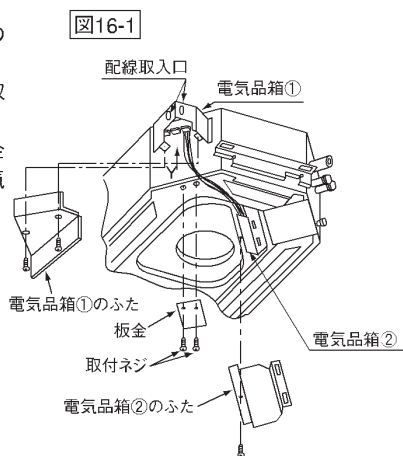
3. Jタイプの場合

- (1)電気品カバーとサービスパネルを外します。
- (2)配線を配線取入口からユニット内に入れる
※サービス時を考慮して、電気品箱をユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (3)配線を、ユニット側面の現地配線用クランプで固定
- (4)取外した部品を元通りに取付け



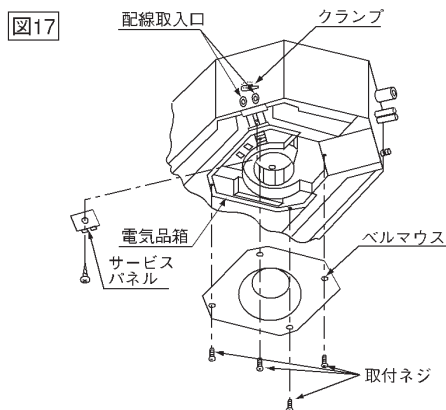
4. Fタイプの場合

- (1) 図16-1 のように電気品箱①のふたを外します。
- (2) 図16-2 のように配線を配線取入口からユニット内に入れる。
- (3)信号線は 図16-1 のように板金を外し、 図16-3 のように電気品箱を引き出して接続します。
- (4)取外した部品を元通りに取付け



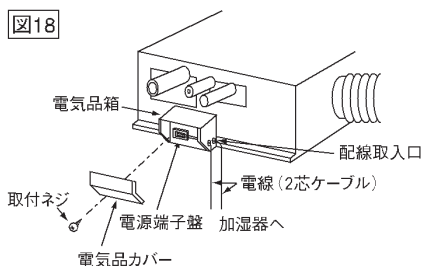
5. Gタイプの場合

- (1)サービスパネルとベルマウスを外します。
- (2)配線を配線取入口からユニット内に入れる
※サービス時を考慮して、電気品箱をユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (3)配線を、ユニット側面の現地配線用クランプで固定
- (4)取外した部品を元通りに取付け



6. Pタイプの場合

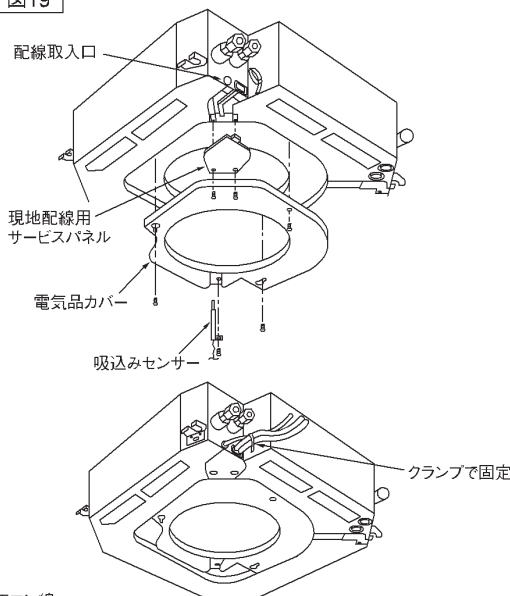
- (1)電気品カバーを外します。
- (2)図18のように電気品箱側面の配線取入口から配線を通します。
- (3)取外した部品を元通りに取付け



7. Aタイプの場合 [図19]

- (1) 現地配線用サービスパネルを取外す (ネジ2本)
- (2) 吸い込みセンサーを取外す (ネジ1本)
- (3) 電気品カバーを取外す (ネジ3本) [仮掛け可能]
- (4) 配線を、配線取入口からユニット内に入れる
※サービス時を考慮して、電気品箱をユニットの下に降ろすための余裕を配線に持たせてください。
- (5) 配線を、ユニット側面および電気品箱内のクランプで固定
- (6) 取外した部品を元通りに取付け

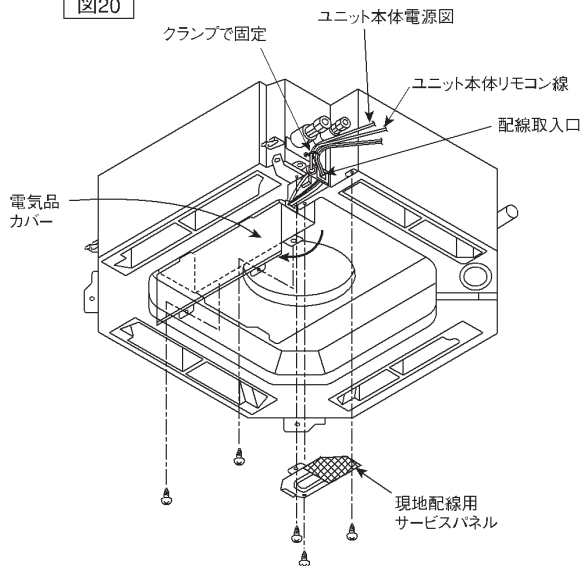
図19



8. Bタイプの場合 [図20]

- (1) 現地配線用サービスパネルを取外す (ネジ3本)
- (2) 電気品カバーを取外す [仮掛け可能]
- (3) 配線を、配線取入口からユニット内に入れる
- (4) 配線をユニット側面のクランプで固定
- (5) 取外した部品を元通りに取付け

図20



11 室内ユニット本体への配線接続

●電気配線図に基づいて配線接続をします。[室内ユニット側のみ]

記号	名称
本体 TB2/TB4	端子盤 (ヒータ (ユニット) 電源 (内外接続線))
本体 CN25	コネクタ (加湿器)
加湿器 H.C	加湿コントローラボード
加湿器 CN28	コネクタ
加湿器 SV	電磁弁 (給水)
加湿器 MF	送風機用電動機
加湿器 C	コンデンサ (送風機用電動機)

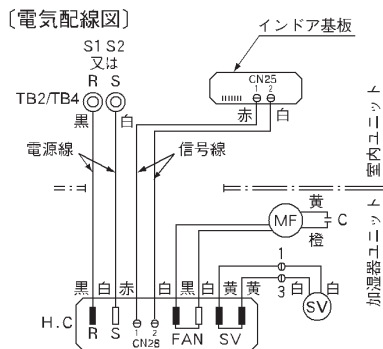
※端子盤への接続

(1) A制御機種は内外接続用端子盤の「S1」「S2」端子へ接続してください。

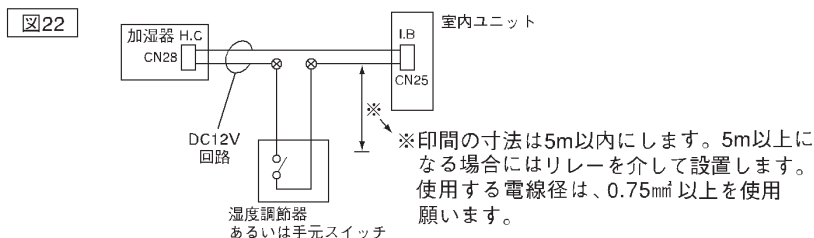
※電源が室内ユニット・室外ユニットで別受電等の場合は、ヒータ (ユニット) 電源端子盤「R」「S」へ接続してください。

(2) その他の機種は電源端子盤「R」「S」端子へ接続してください。

図21



- 湿度調節器あるいは手元スイッチを使用する場合の配線変更 (現地手配)
 図22 においてコネクタCN25とCN28に接続している線間に直列に入れます。



12 室内ユニットの機能設定

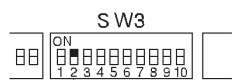
カセット4方向吹出しA、Bタイプに加湿器を取付けた場合、リモコンまたは室内制御基板で室内ユニットの機能設定をしてください。

(1)A制御機種 (AA形/BA形)の場合

リモコンからの設定となりますので、設定の手順、操作方法は、リモコンに付属の説明書に従って“加湿器あり”の設定 (モード番号: 13, 設定番号: 02) をしてください。

(2)フリープラン機種 (AM形/BM形)の場合

室内制御基板のディップスイッチを下図のように設定します。



“2”をONにしてください。(出荷時状態はOFF)

(3)カセット4方向吹出しA、Bタイプ以外の場合

設定変更の必要はありません。

13 再組立

- 作業終了後元通り組立てます。

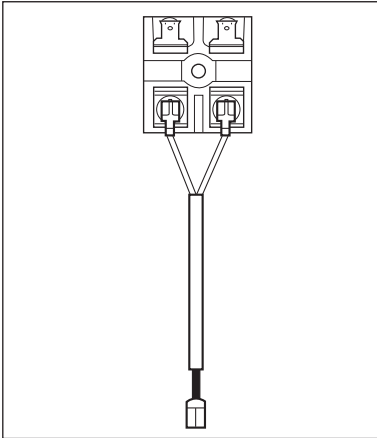
14 試運転

- 室内ユニット側の据付工事説明書に従って試運転 (暖房) を行ない、水洩れ等のないことを確認します。

リモコン端子盤キット

● PAC-SH29TC

使用目的 / 用途



- “リモコン端子盤キット” は、リモコン接続用端子盤を有しない室内ユニットにおいて、2リモコン方式の結線、またはグループ制御の結線を行う場合にリモコンの伝送線を接続するための中継端子盤として使用するものです。

注意

- ・ 1 グループに 2 台までのリモコンとしてください。
- ・ グループ制御一括運転の場合、室外ユニットの冷媒アドレス設定が必要となります。

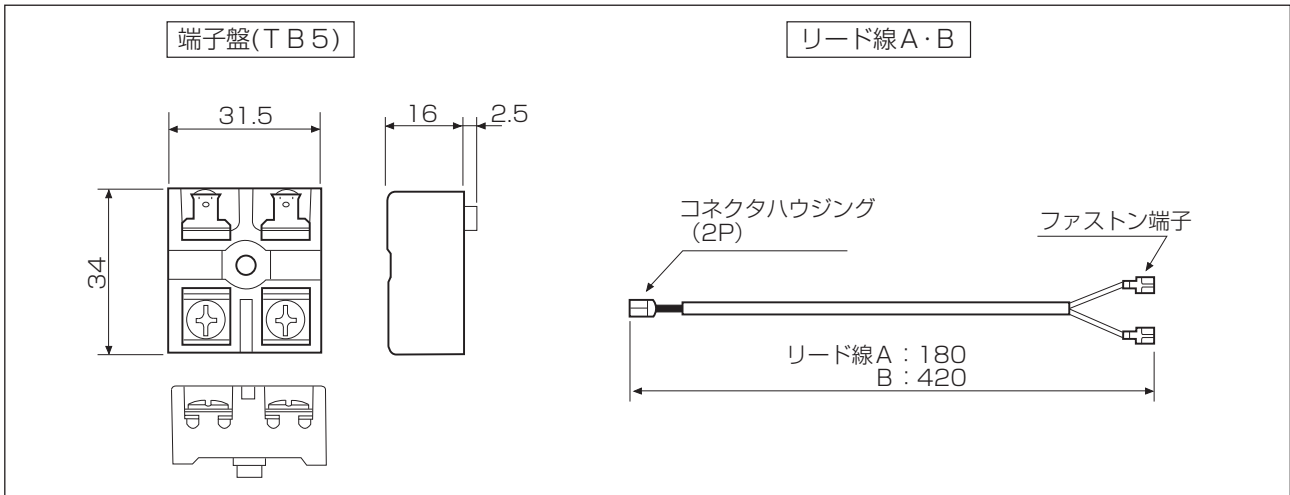
対象ユニット

- MPS-RP50 ~ 160KA3
- MPS-RP50 ~ 160GA3

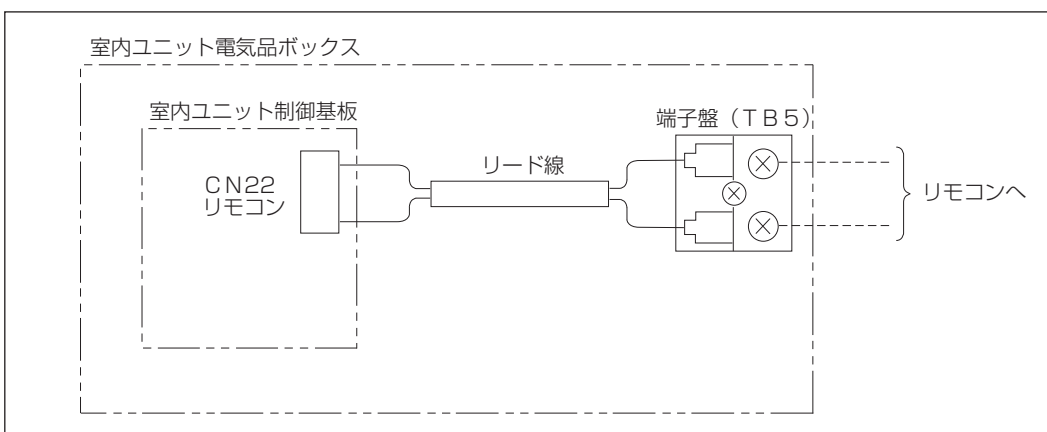
仕様

形名	PAC-SH29TC
端子盤容量	10A / 250V
適用電線	φ 1.6mm以下
端子盤材質	フェノール樹脂
構成部品	端子盤 (TB5) × 1、取付ネジ × 1、リード線 A × 1、リード線 B × 1

外形図 (組立図) (単位: mm)



電気配線図



mitsubishi

三菱パッケージエアコン別売部品

形名:PAC-SH29TC

リモコン端子盤キット取付説明書

安全のために必ず守ること

- ・取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ確実に行ってください。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ・誤って取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取付けをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
注意	誤った取付けをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

・取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認すると共に、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管していただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

警告	取付けは、販売店または専門業者に依頼する。 お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。
-----------	---

注意	電気配線工事がある場合は、電流量に合った規格品の電線を使用すること。 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。
-----------	--

警告	取付けは、この取付説明書に従って確実にこなう。 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災等の原因になることがあります。
-----------	---

1.概要

この部品は2リモコン方式の結線または、グループ制御の結線を行なう場合にリモコンの伝送線を接続するための中継端子盤として使用するものです。

2.適用機種

床置形、壁掛形

3.部品の確認

- ①端子盤(TB5)…1個 ②ネジ…1個 ③リード線(A)…1本(壁掛形用180) ④リード線(B)…1本(床置形用420)

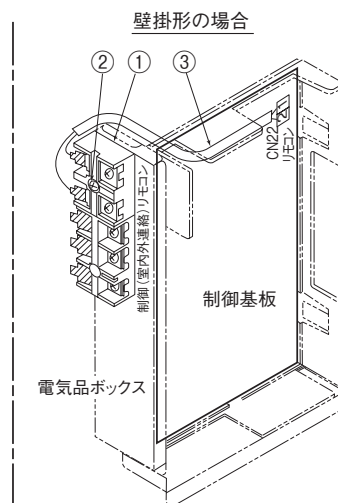
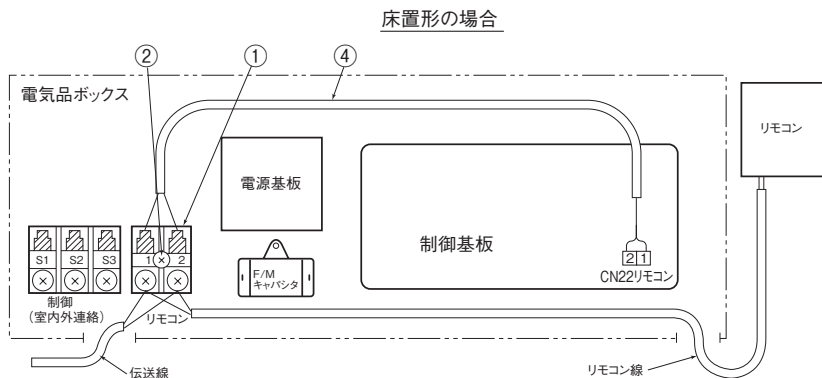
4.取付要領

床置形の場合

- 1). 電気品箱内に端子盤①をネジ②で固定してください。
 - 2). 本体付属のリモコン線を室内基板のコネクター(CN22)より取り外してください。
 - 3). リード線(B)④を端子盤①と室内基板のコネクター(CN22)に接続してください。
 - 4). 先ほど取り外したリモコン線の先端部(コネクター)を切り落して、適宜リード線の被覆を皮ムキしてください。
 - 5). 2リモコンあるいはグループ制御の伝送線と前記リモコン線を端子盤①の下側(ネジ端子)に接続してください。
- 注. 2リモコンあるいはグループ制御の結線方法詳細は、製品本体付属の据付説明書を参照ください。

壁掛形の場合

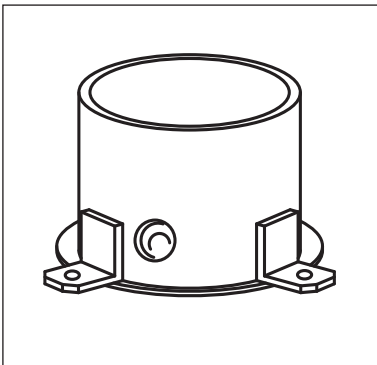
- 1). 端子盤カバー、基板カバーをそれぞれ取り外します。(本体の据付説明書をご覧ください。)
 - 2). 電気品箱に端子盤①をネジ②で固定してください。
 - 3). リード線(A)③を端子盤①と室内基板のコネクター(CN22)に接続してください。
 - 4). 2リモコンあるいはグループ制御の伝送線を端子盤①の下側(ネジ端子)に接続してください。
- 注. 2リモコンあるいはグループ制御の結線方法詳細は、製品本体付属の据付説明書を参照ください。



外気取入ダクトフランジ

● PAC-SH650F

使用目的 / 用途



- “外気取入ダクトフランジ” は、外気取入用の $\phi 100$ ダクトを接続する部品です。
- 新鮮な外気取入れを行うことにより、室内環境のフレッシュアップを実現します。
- 室内ユニット本体に取付ける場合と、多機能ケースメントに取付ける場合があります。

注意

・多機能ケースメントに取付ける場合は、外気取入ダクトフランジの凹面を必ずパネル取付面側に向けて取付けてください。

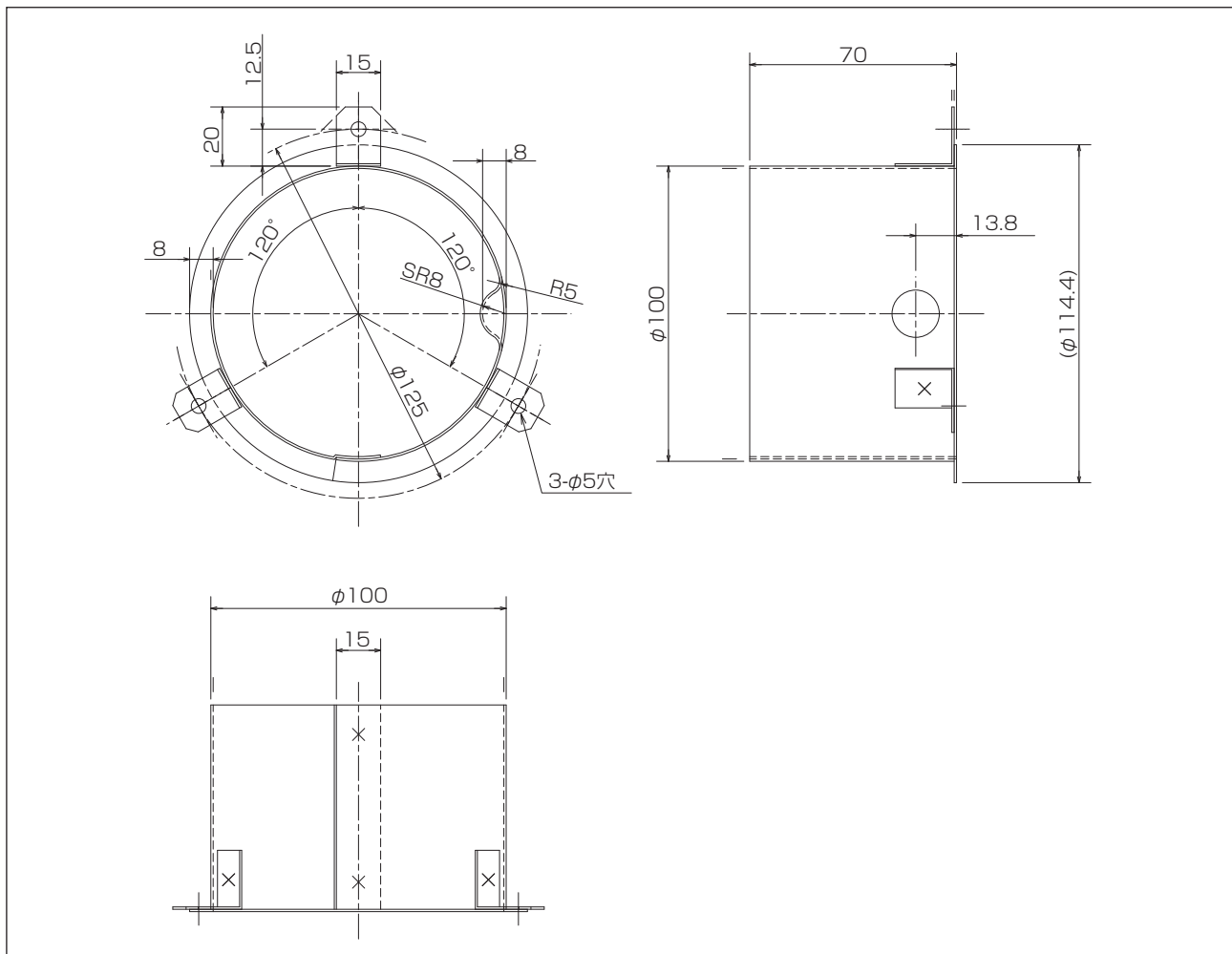
対象ユニット

- MPL(Z)-RP40 ~ 160BA3
- MPC-RP40 ~ 160KA3

仕様

形名	PAC-SH650F
接続ダクト径	$\phi 100$
材質	溶融亜鉛メッキ鋼板 t0.8
構成部品	ダクトフランジ、断熱材、ネジ

外形図 (取付図) (単位: mm)



※取付説明書は〈1〉4方向天井カセット形《ワイドパワーカセット》の《分ダクトフランジ/PAC-SH66BF》を参照してください。

室外ユニット耐風金具 ネミー(株)製

● SW-MHG15

取扱説明書

■ MITSUBISHI 店舗用室外機耐風金具 SW-MHG15

製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。下記説明にしたがってご利用下さい。

安全上のご注意

- 取付工事前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ取付けしてください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- 取付工事完了後、試験運転を行い異常がないことを確認して下さい。
またこの説明書は空調機器の取扱い説明書と共にお客様で保管頂くように依頼して下さい。

△ 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
△ 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害又は家屋、家財などの損害に結びつくもの。

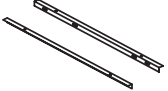
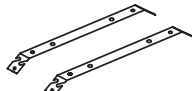

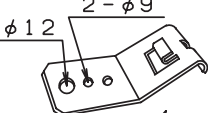
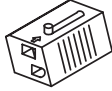


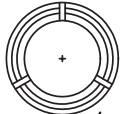
△ 警告	△ 注意
<ul style="list-style-type: none"> ●取付工事は、販売店または専門業者に依頼してください。 (作業ミス等でケガの原因になります) ●目印カラーチューブは人の接触、衝突を防ぐ為のものですので各ワイヤーに必ず取り付けてください。(4ヶ所) ●棚がない屋上等(高所)でワイヤーを張る場合は、端を避け安全な場所に設置してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ●取付工事は、この説明書に従って確実に行うこと。 ●取付加工ミス及び取付ミス等により冷媒ガス漏れ、けがの原因になります。 ●下穴加工の際にはドリル線元にカラーを付け作業すること。 ●加工作業は熱交換器のフィン、パイプを傷つけないよう注意すること。 ●下穴加工時に発生した切粉は取り除くこと。又加工後は防錆処理を行うこと。

*本品は、アンカー施工された室外機が台風などによる転倒を防止する為の、耐風の補強用に使用する為のものです。

■ 対象機種

- HAシリーズ 幅950×高さ740×奥行330mmの室外ユニット
幅950×高さ943×奥行330mmの室外ユニット
幅950×高さ1350×奥行330mmの室外ユニット
GAシリーズ 幅900×高さ855×奥行330mmの室外ユニット
幅900×高さ1260×奥行330mmの室外ユニット
幅1050×高さ1350×奥行330mmの室外ユニット

■ 部品構成 (梱包の中には、この説明書のほかに下記部品が入っていますのでご確認ください。)

① 機器取付金具  2本	② ワイヤー通し金具  2本	③ ワイヤー (SUS)  φ2 20m	④ アンカー金具 (溶融亜鉛メッキ)  4ヶ	⑤ リーズロック  φ2用1セット: 4ヶ
⑥ 六角ボルトナット W×2, SW付き  M6×25 6セット (予備2セット含む)	⑦ エスタイトネジ  M5×14 10本	⑧ 目印カラーチューブ  1m×4本	<< 準備工具 >> ドライバー、スパナ ワイヤーカッター、ペンチ ビニールテープ 等	

<< 取付要領 >>

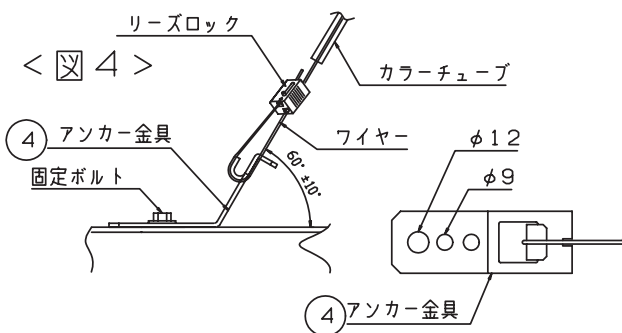
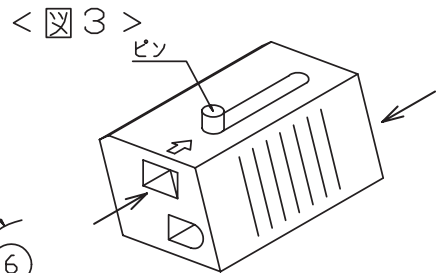
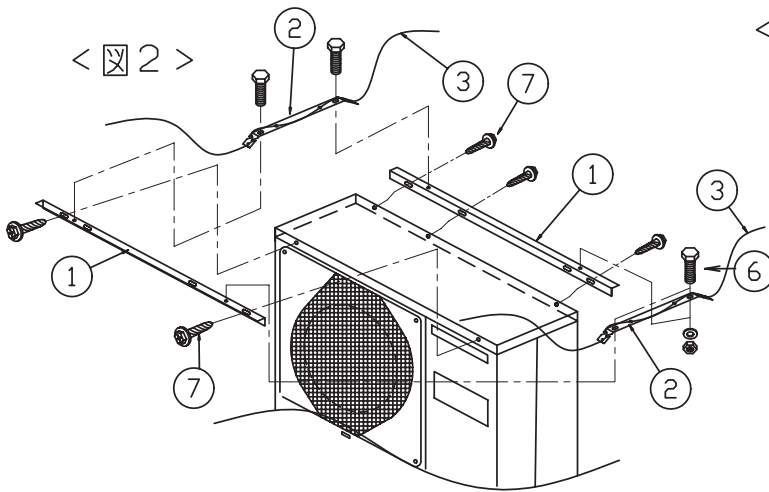
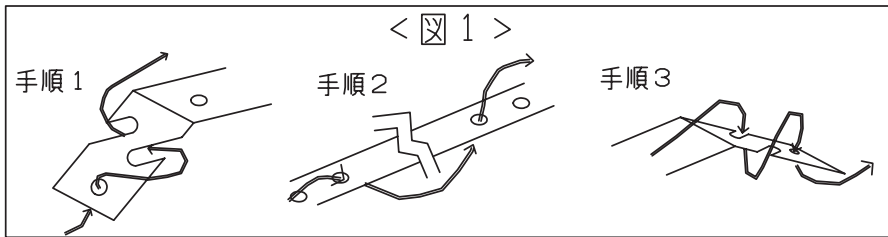
- ③ワイヤーを専用工具(ワイヤーカッター等)にて2等分に切断してください。
切断したワイヤーそれぞれを②ワイヤー通し金具にワイヤーを<図1>の手順1~3の様に取り付けてください。
*ワイヤーほつれ防止の為、切断する部分にあらかじめビニールテープを巻いて切断してください。
- <図2>を参考に機器の天板の正背面のネジをはずし、付属の⑦エスタイトネジに取替えて①機器取付金具を共締めし取付けてください。

*HA、GAタイプ共通部品ですので機器取付金具がセンターで合う長穴を使用してください。

3. 機器に取付けた①機器取付金具にワイヤーを通した②ワイヤー通し金具を付属の⑥六角ボルトナットで取り付けてください。
4. ①機器取付金具は基礎又は、支持材に固定してください。(アンカー固定穴φ12、φ9) 使用状況によりアンカーボルトはM10又はM8で固定してください。(アンカーボルトは先様にて御手配願います)
5. ワイヤーに⑧カラーチューブを通し、次に⑤リリースロックの矢印方向にワイヤーを差込み<図3>参照、固定した④アンカー金具に通してからリリースロックの反対の穴にワイヤーを通しペンチ等でワイヤーを引っ張りテンションをかけます。<図4>参照
※リリースロックのピンを矢印方向にスライドさせるとロックが解除され長さ調節ができます。

△ 警告	ワイヤーと取付床面との角度は $60^{\circ} \pm 10^{\circ}$ を厳守してください。 これ以外の角度で施工されますと十分な保持力が得られず転倒する恐れがあります。
------	---

6. 締付け完了しましたらリリースロックより余分にでたワイヤーは専用工具(ワイヤーカッター等)で切断してください。
※ワイヤーほつれ防止の為、切断する部分にあらかじめビニールテープを巻いて切断してください。



< 完成図 >

